

抄ひとられる。

カナンガ油は大部分輸出され、香料工業に用ひられ、又よくジャスミン油の代用とされる。同種類の油としてはイラン・イラン (Ylang-Ylang Oil) 油がよく知られてゐる。レ・ユニオン及マダガスカル産のブルボン (Bourbon) イラン・イランとマニラ産イラン・イランはすぐ區別出来る。而してマニラ・イラン・イランは現地では殆んど商業用目的を以ては製造されてゐない。尙イラン・イラン油はカナンガ油よりも高價である。又數年以前から蘭印にもマニラから樹が移植され栽培され始めた。

カナンガ油世界主要國輸出量 (單位斤)

	一九三九年	一九三八年	一九三七年	一九三六年	一九三五年
蘭 印	一、四八五	一、五三二	二、七六八	一、九〇三	一、七〇五
ヒリッピン	八六	三九七	二八八	九六八	八六一
マダガスカル	三、〇九〇	二、八四〇	三、七八四	三、七三三	三、三九七
レ・ユニオン	?	?	一九四	一九八	六九

蘭印からの輸出は一九四〇年に於て一萬三千二百八十九担約五萬盾で、主要仕向國は米國が大部分であつた。

蘭印カナンガ油輸出 (統計番號二〇五)

主要仕向國	盾		外 領	
	一九四〇年計	一九三九年計	一九三八年計	計
英 國	二七〇	一、〇三〇		
米 國	八八六	三、五五九		
計	一、一五六	四、五八九		
計	一、四八五	一、五三二		
計	一、五三二	一、五三二		

17、カユ・プティ油 Kajoepeeth, Cajuput.

カユ・プティ油は Melaleuca Leucadendra と稱する樹の葉から大變原始的な蒸溜器具を用ひて抽出される。

この樹は多島海各地に見られるがブルウ島 (Boeroe) (モルツカス) に於けるもののみが搾油に適するもの如くである。

銅器を用ひて搾油するので綠色を呈してゐる。カユ・プティ油は土民達にとつては風邪薬及其他の小疫病の家庭薬としてよく普及してゐる。又歐人薬局に於てもシネオール (Cineol) と同様に用ひられてゐる。

新嘉坡が輸出中心地となつてをり歐洲へも向けられるが、其の九〇%は東洋市場向である。然し生産量の大部分は家庭で消費され、又石油に混ぜられる。ユーカリフタス (Eucalyptus) 油は安價である爲カユ・プテイの強敵である。

カユ・プテイ世界主要國輸出量 (單位斤)

蘭印	一九四〇年	一九三八年	一九三七年	一九三六年	一九三五年
佛印	七、三三三	四、八三三	四、七三三	七、三三三	五、三三三
	?	一、〇〇〇	三、三〇〇	七、九〇〇	三、三〇〇

一九四〇年蘭印のカユ・プテイ輸出は七萬二千斤、八萬一千斤で主要仕向國は香港、新嘉坡、米、英であつた。

蘭印カユ・プテイ輸出 (統計番號二〇七)

主要仕向國	一九四〇年計	一九三九年計	一九三七年
英國	三、三〇斤	九、九〇	一、二〇斤
米國	九、九〇	八、三三	九、九〇
新嘉坡	八、三三	九、九〇	一、八七三
香港	九、九〇	一、〇六六	六、二九八
計	一九三三	二、二二五	四、六九九

モルツケン (Molukken) カリのカユ・プテイ輸出 (斤)

輸出向	一九三九年	一九三八年	一九三七年
ジャワ向	三、五三三	五、六八二	四、三〇一
其他外領向	一、八七三	一、一三三	三、六九六
計	一、五二二	二、八〇三	一、七〇一

18、ゴンドプロ油 (冬綠油) Gondopoero, Wintergeen-Olie, -Oil.

中部ジャワのウォノソボ (Wonosobo) に於て *Gaultheria fragrantissima var punctata* と稱する灌木の葉から搾油される。此の木は高地に於てのみ生育する。元來この油は布への香付及リウマチの外用藥並に髮油として用ひられ、九〇%或は夫れ以上のメチール・シリケートを含んでゐる。

此の油は少量ではあるが主として米國へ輸出される。米國に於ては *Gaultheria procumbens* から採つた冬綠油を米國土民が内用外用の家庭藥として愛用してゐる。

蘭印ゴンドプロ油輸出 (斤)

一九三九年	一九三八年	一九三七年	一九三六年	一九三五年
一六	二六	一	一七	一

19、ラワン油 Lawang.

西ニウ・ギニアに於て或種の木の皮から搾油されてゐる。この樹は科學的には何に屬するか確定してゐないが、多分肉桂の類に屬するものであらう。生産量は不明であるが數年前一―二千疋が毎月輸出されてゐた。然し其の後値下りの爲生産は減少してゐる。

この油は七〇―八五%のイウゲノール (eugenol) を含み、香料工業には無價値である。

蘭印ラワン油輸出 (疋)

一九三九年	一九三八年	一九三七年	一九三六年	一九三五年
250	381	156	97	2

五、香料、藥味 Rempah rempah, Sdecerijen, Speices.

20、胡椒 Lada (Meritja), Paper, Pepper.

白及黒胡椒は同一の蔓性植物 Piper nigrum. L. から採られ、唯其の製法が異なるのである。即ち黒胡椒は果實を殻、パルプ等の付いた儘乾燥するが白胡椒は醱酵工程の際に外殻とパルプが取り除かれるのである。

胡椒の栽培は主として支那人及住民により行はれ、外領ではスマトラが最重要栽培地で其の中心地は南部ではランボン地方及バレンバン州であり、北部ではアチーンである。バンカ島にも産し、又ボルネオ南部及東部地方並に西ボルネオに於ても栽られ、ジャワに於てはスマラン、スラカルタ及バンタムに栽培されてゐる。バンカ島では白胡椒が専門に栽られてをり、白ムントク (White Muntok) は世界市場に於ける標準品として有名である。バンカに於ては胡椒の蔓は蔭樹の代りに木の棒が用ひられ、施肥、灌漑にはよく注意が拂はれる。特に支那人は上手に栽ることである。

ランボン地方は主として黒胡椒を生産する。蔓は蔭樹に絡みつかず、この地方の栽培者はバンカに於ける程は栽培に注意を拂はぬ。

ランボン地方とバンカ島とは蘭印の胡椒生産量の夫々七五%及二〇%を占めてゐる。而して蘭印は世界總生産量の約七〇%を占めてゐる。

胡椒世界主要國輸出量 (疋)

	一九三九年	一九三八年	一九三七年	一九三六年
マダガスカル	248	181	113	14
ニヂエリア	?	3	3	5
シエラ・レオネ	56	23	2	元
アフリカ				

一九四〇年に於ける蘭印の胡椒輸出は次表の如く合計三百七十六萬盾で、其の主要仕向國は新嘉坡の百四十二萬盾、米國の百十八萬盾等である。

蘭印胡椒輸出 (一九四〇年)

總計	白胡椒	黑胡椒	蕃胡椒
	萬盾	萬盾	萬盾
以上	1,100	952	3,100
蘭	6,963	5,450	3,947
以	8,062	6,404	8,502
ア			
ジ			
ア			
北	2,937	3,011	3,309
ボ			
ル			
ネ			
オ			
ク	4,585	5,502	3,851
サ			
ワ			
ラ			
ク			
佛	?	7	2
泰			
計	1,100	952	3,100
印	6,963	5,450	3,947
計	8,062	6,404	8,502
英			
イ			
ロ			
ン	1,846	3	865
來			
マ			
セ			
イ			
ロ			
ン			
印	1,131	703	1,115

國別輸出は次表に詳記することとする。

蘭印胡椒國別輸出

(a) 白胡椒 Witte (統計番號101)

主要仕向地	計	外
	盾	領
和	1,905	
英	1,000	4,036
伊	2,533	1,337
ス	3,262	
イ		
ス	2,152	1,006
ノ		
ル		
ウ		
エ		
イ	5,003	8,554
ス		
エ		
ー		
デ		
ン		
カ		
ナ		
ダ		
米國(大西洋)	7,741	10,420
米國(太平洋)		18,850
南		
阿		
聯		
邦		
アル		
ゼ		
ン		
チ		
ン		
ブラ		
ヂ		
ル		
新		
嘉		
坡	2,927	5,306

香港	1,040	190	6,272	1,258
一九四〇年計	5,683	9,209	843,169	15,570
一九三九年計	3,265	2,457	140,951	285,463

(b) 黒胡椒 Zwarte (統計番號一〇二)

獨逸	148,673	13,300	—	—
佛蘭西	5,600	502	2,003	187
同屬領	1,000	895	2,500	230
伊太利	9,781	6,289	96,927	8,761
バルカン諸國	—	—	9,700	877
カナダ	—	—	3,701	2,600
米國(大西岸)	201,566	2,856	69,000	49,774
〃(太平洋)	3,759	375	12,658	9,387
ブラジル	835	708	37,075	12,986
埃及	9,218	562	8,670	779
イラク	—	—	3,435	2,455
イラン	1,349	106	48,708	4,378
英印	4,000	246	12,533	9,673

彼南	—	—	16,306	1,359
新嘉坡	1,506	175	68,700	48,288
香港	5,137	446	2,507	271
支那	4,550	402	11,673	8,644
一九四〇年計	463,453	35,858	196,234	153,483
一九三九年計	33,575	4,980	52,940	63,632

(c) 蕃椒 Spansche (統計番號一〇五)

彼南	8,468	1,353	34,790	6,062
新嘉坡	93,707	17,356	610	102
一九四〇年計	101,175	18,719	35,350	6,164
一九三九年計	22,144	3,672	13,395	1,833

21、丁香(チロウ) Tjengkih, Kruidnagelen, Cloves.

丁香は丁香樹 *Eugenia aromatica* の蕾を乾燥したものである。香料として丁香油 (Eugenol) 製造に用ひられる。そしてそれはワニリン (Vaniline) の一混合物とせられる。蘭印に於ては丁香は土人たばこ (Sheroots) に混ぜられる。然るに蘭印産丁香はこの目的に適當しないので含油量の少い丁香がザンジバルから可成の量輸入されてゐる。ザンジバルでは世界の八〇%を生産し、マダガスカルは一四%、蘭印は六%となつてゐる。

丁香世界主要國輸出量 (噸)

	一九三九年	一九三八年	一九三七年	一九三六年	一九三五年
ザンジバル	一、三九八	七九六	六二五	一、〇四九	九六〇
マダガスカル	六五〇	四二九	二九四	三三九	三六八
蘭印	一〇〇	九三	一〇〇	一六九	七五

蘭印に於ける主要生産地は外領方面で、アムボン、メナド、スマトラ西海岸、ベンクーレン及アチーン等である。元來此の樹はモルツカスが原産地であつたが、東印度會社開設當初に於て獨占としなかつたので佛、英人により他國へ持ち出され、現在の如く主客顛倒の有様となつたものである。一九四〇年蘭印丁香輸出は四十三萬二千盾、二十二萬二千盾で主要仕向先は米國であつた。

蘭印丁香國別輸出

主要仕向國	ジャバワ		外領	
	肝アルト	盾	肝アルト	盾
伊太利	五三〇	二六三	二、七九九	一、五七六
米國(大西洋岸)	—	—	三〇、八八三	一〇、六九三
〃(太平洋岸)	一、三三六	六四六	六、六九一	三、四四五

彼南	一九四〇年計	一九三九年計	一九三九年	一九三八年	一九三七年
新嘉坡	八二七	三、七六八	四、〇三〇	一、九七三	—
一九四〇年計	—	—	三、七六八	—	—
一九三九年計	—	—	—	—	—

尙、外領各生産地からの輸出狀況は次表の如くである。

蘭印丁香生産地別輸移出 (噸)

生産州	ワジャ	其他ノ移出	計		
			一九三九年	一九三八年	一九三七年
アチエー	—	—	一五	三〇	一四
ベンクーレン	一〇八	—	三三	一六	一〇
ラムボン	七三	—	七四	—	一
メナド	一七	—	二九	一六	一七
モルツケン	五	—	一五	一七	三三
セレベス	二〇	—	一三	九	一八
スマトラ西岸	四	—	二八	二七	二二
其他	—	—	六	六	四
合計	一〇三	—	一七三	一〇〇	一〇〇

22、肉豆蔻(ニクツク)

Pala dan Bcnga pala, Nootmuskaat en Foeli, Nutmegs and Mace.

ナットメツグはナットメツグ樹 (Myristica fragrans) の種子の核であり、メースは果實内にある種子の外被である。果實其のものも亦ジャム等に作り食用とせられる。

蘭印はナットメツグ世界總産量の約四分の三を産出し、他は西印度のグレナダに産する。即ち一九三九年兩國の輸出に就いて見れば蘭印は四千二百吨、グレナダは一千八百吨弱であつた。

ナットメツグ及メース世界主要國輸出量 (吨)

	一九三九年	一九三六年	一九三七年	一九三八年	一九三九年
蘭印	4,200	4,192	4,115	4,077	4,065
メ	1,766	1,833	1,646	1,606	1,494
グレナダ	307	333	333	333	360

ジャワに於けるナットメツグ栽培面積は約一千五百ヘクタール、バンドラ島では二千八百ha、其他外領一千ha、合計五千三百haとなつてゐる。

生産に就いて見れば北スマトラのアアーンが約三%、スマトラ西岸八%、中部及東部ジャワ

六%、メナド州三六%、モルツカ四七%となつてゐる。メナド物は主としてサンギル及タラウド島から齎らされる Siau nut であり、モルツカスはバンドラ島が中心地である。

此の樹には雌雄の別があり、植付後六―八年で結實し、五十年間續いて收穫せられる。

ナットメツグは脱殻又は殻付で市場に出される。脱殻物は大きさによつて格付される(一ポンドにつき何個)、殻付のものは破損を防ぐために石灰をかける。

メースは天日乾燥して輸出される。この乾燥によつて赤色から明るいオレンジ色に變色する。ナットメツグ及メースは共に香料として用ひられ、ナットメツグは時には薬用(薬用石鹼等)とせられる。

蘭印ナットメツグ一九四〇年の輸出は、三千四百八十四吨、九十七萬九千盾、同じくメースは七百四十九吨、六十八萬五千盾であつた。主要仕向國は米國及新嘉坡である。

蘭印ナットメツグ及メース輸出

(a)	一九四〇年	一九三九年
ナットメツグ殻付	3,484	3,484
脱殻	1,766	1,766
メ	307	307
盾	9,790,000	9,790,000

(b) ナットメツグ(殻付) (統計番號九七)

主要仕向國	計	外領
米國(大西洋)	二〇〇二	二四、八七二
埃及	四六五	—
新嘉坡	七六	二、八四〇
一九四〇年計	二、三三二	一六、四八三
一九三九年計	二、九四三	一七、七九二
和蘭	三、四四四	—
英國	—	一、八〇五
獨逸	—	一、五七〇
伊太利	—	九、六六八
同(屬領)	—	九八四
米國(大西洋)	六、五七六	八五、八六三
同(太平洋)	—	三、八二六
埃及	一、一八〇	一、七六二
計	二、五八八	一、七六二

(c) ナットメツグ(脱殻) (統計番號九八)

主要仕向國	計	外領
米國(大西洋)	二〇〇二	二四、八七二
埃及	四六五	—
新嘉坡	七六	二、八四〇
一九四〇年計	二、三三二	一六、四八三
一九三九年計	二、九四三	一七、七九二
和蘭	三、四四四	—
英國	—	一、八〇五
獨逸	—	一、五七〇
伊太利	—	九、六六八
同(屬領)	—	九八四
米國(大西洋)	六、五七六	八五、八六三
同(太平洋)	—	三、八二六
埃及	一、一八〇	一、七六二
計	二、五八八	一、七六二

(d) メース (統計番號八七)

主要仕向國	計	外領
新嘉坡	二、五八〇	一〇、四四五
一九四〇年計	一、五、四二六	五〇、七七五
一九三九年計	二、三九七	六、五二三
和蘭	—	八〇八
獨逸	—	五九四三
伊太利	—	九五〇七
同(屬領)	—	二九七六
米國(大西洋)	九、四七三	四八、三八四
同(太平洋)	—	四、三六六
彼南	—	一、五二七
新嘉坡	一、〇一五	一四、七五〇
一九四〇年計	二、〇三三	七、九一七
一九三九年計	一、八四七	六、一九六

23、萼澄茄 Kemoekoes, Startpeper, Cubebs.

キューベブ或は尾付胡椒は Piper Cubeba Linn と稱する蔓性植物で馬來多島海の西部地方

に於て野生し、或は栽培されてゐる。

乾燥した果實は、唯軸が尖つてゐる外は、全く黒胡椒と同様の外觀を有してゐる。房状花の漿果が明黄色となつた時收穫され、天日乾燥を行ふ。キューベブは芳香を有し、料理用とせられる外香料として薬品に種々の方法を以て使用されてゐる。

蘭印キューベブの輸出は一九四〇年に於て二百七十一噸、四萬四千盾餘で主要仕向國は新嘉坡、主要輸出港はチェリボンである。

蘭印キューベブ輸出 (統計番號一〇三)

年	ジャワ		外領	
	貯ネット	貯	貯ネット	盾
一九四〇年	二五、八七〇	四、〇一六	一、三〇五	四、九三三
一九三九年	一三、〇三三	五、六七二	一、〇八三	二、九四〇

24、肉桂 Koelit Manis, Kanel, Cinnamon.

肉桂は Cinnamomum 類に屬する樹皮を乾燥したものである。乾燥は天日で行ひ、完全に乾燥されると、長さ及色によつて分けられ、小さな束として市場に出される。

世界市場に於ける肉桂の種類はセイロン、支那及バダン或はバタビア肉桂である。之等三種

は樹種の相違によるものであるが總て Cinnamomum 類に屬する樹である。

即ちセイロン肉桂は Cinnamomum Zeylanicum Nees から採られる。この樹はセイロンが本場であるがアフリカ東海岸の島 Seychells にもあり、又ジャワに於ても極めて小規模乍ら栽培されてゐる。従つてセイロン肉桂は其の大部分はセイロンに於て生産されてゐるが、時々市場に現れるジャワ産のものは少量乍ら非常に上質である。

支那肉桂は Cinnamomum Cassia Bl. 樹皮の商業名であり、南支那及印度支那に於ける土生のものである。輸出は盛であるが、値が安い爲に生産は自然的制限を受けてゐる。尤も印度支那産肉桂(サイゴン肉桂)は高價ではあるが、數量も少いと云ふ例外もある。

バダン或はバタビア肉桂は (Cassia Vera) Cinnamomum Burmanni Bl. から採られる。之は蘭印にとつて最も重要な種類であり、スマトラ西海岸の特産で、主として住民により栽培されてゐる。

蘭印の肉桂輸出はセイロンを凌ぎ、例年世界總輸出の二〇%前後を占めてゐる。

肉桂世界主要國輸出量 (噸)

	一九三九年	一九三八年	一九三七年	一九三六年	一九三五年
蘭印	三〇七	二五二	三七三	二七四	三六八
セイロン	二六三	二九〇	二六五	二七四	二五八

支那	1,004	5,774	1,319	1,056	1,165
印度支那	1,633	1,117	1,331	1,311	1,071
計	2,637	6,891	2,650	2,367	2,236

蘭印に於ける主要生産地はスマトラ西海岸で、例年蘭印輸出の八五%はバダンから積み出されてゐる。一九四〇年蘭印の肉桂輸出は二千六百七十八吨、八十四萬六千盾で、其の大部分は米國に向けられてゐる。

肉桂は主として料理用の薬味として用ひられる。

(a) 蘭印肉桂輸出 (統計番號九〇) Vera.

主要仕向國	肝アルト	盾	外領	盾
伊太利	5,400	2,363	3,974	1,559
丁抹利	—	—	1,852	733
諾威	—	—	2,699	906
加奈陀	2,479	397	10,794	2,756
米國(大西洋)	40,053	11,703	192,345	62,842
同(太平洋)	—	—	4,635	1,435
一九四〇年計	46,530	13,888	230,336	70,343
一九三九年計	8,154	1,706	29,806	9,238

(a) echte kaneel (Cinn. zeyl) (統計番號八九)

一九四〇年計	906	465	—	—
一九三九年計	1,721	1,222	—	—

25、唐辛子 Lombok (Tjabai), Spaansche peper, Chillies.

唐辛子は Capsicum annuum Linn. と稱する高さ約一米の灌木である。原産地はブラジルであるが、温帯及熱帯の至る處に生育してゐる。ジャワに於ては米田の間に間作物として植ゑられてゐる。

果實は明赤色となつた時摘みとられるが、熟しても緑のままのものもある。

ジャワに於ける唐辛子栽培は、重要性を加へつゝあり。主要栽培地は中部及東部ジャワである。外領方面に於てはアチーンが輸出向栽培地として、特に重要視されてゐる。

唐辛子は住民料理にとり重要薬味となつてをり、住民の食事には必須のものである。

一九四〇年蘭印の唐辛子輸出は一千三百七十六吨、二十四萬九千盾で、主要仕向國は新嘉坡、彼南である。

蘭印唐辛子輸出 (統計番號一〇五)

主要仕向國	盾	外領	盾
彼南	8,468	1,313	3,750
計	9,781	2,626	6,061

新嘉坡	九、七六〇	一七、三三六	六一九〇	二〇、三三
一九四〇役計	一〇一、七五五	一八、七〇九	三五、三五〇	六一、七六四
一九三九年計	二二、一四四	三、六七三	三、三九五	一、八九三

26、ジンジャー Sipedas (Djahé), Gember, Ginger.

ジンジャーは Zingiber Officinale と稱する草の根である。この草は四〇—六〇寸の高さで、熱帯及亞熱帯地方に栽培されてゐる。最上等品はジャマイカ産で、

蘭印に於てはジンジャーは唯地方用に栽られてゐるに過ぎない。

其の他の産地は支那、マラバル海岸及西アフリカのシエラ・レオネ並リベリアである。ジンジャーの製法には數種あるが、最も簡単な方法は先づ根莖から根及塵を取り除き、熱湯に約十五分間浸して後、天日乾燥を行ふ。外皮を除いた製品は高價に賣れる。ジンジャーは生のまゝ或は乾燥して、及び結晶體或は砂糖漬として市場に出される。生或は乾燥した根は一般に食物の香付に用ひられるが、同様に住民達の藥として各種の治療用とされてゐる。

27、ヴァニラ Panili, Vanille, Vanilla

ヴァニラは Vanilla Planifolia と稱する蘭の實である。中米が原産地であり、開花時間が短いので昆蟲により受粉が行はれ難く、人工授粉を必要とする。

蘭印に於ける主要産地はケドウ(Kedoe)、ガルー(Garoet)、ペカロンガン(Pekalongan)及マラン(Malang)である。

世界總産量に對する蘭印の割合は僅かに一・五%に過ぎず、メキシコが一九%、マダガスカル三四%、レ・ユニオン一〇%、Comores Nossi-Béが二六%となつてゐる。

一九四〇年蘭印からの輸出はジャワのみで、外領は無く、二十二噸、三十四萬八千盾、主要仕向國は米國が大部分で其他濠洲、日本等であつた。

ヴァニラはアイスクリームの香付けとしてよく知られてゐるが其他、強壯劑としても用ひられる。

蘭印(ジャワ)ヴァニラ輸出 (統計番號一〇八)

主要仕向國	數量(噸)	價額(盾)	主要仕向國	數量(噸)	價額(盾)
米國(大西洋)	一、九五二	三、九二五	日本	一七五	三、三三
濠洲	二、六四	二、五九六	一九四〇年計	二、三〇五	三、八四三
一九三九年計	五、七四	六、七九六	一九三八年計	一、三四一	二、八五八

六、煙

草 *Tembakau, Tabak, Tobacco.*

194

28、農園煙草

蘭印に於ける農園煙草生産地は次の三地方に分ち得る。即ちスマトラ東海岸(デリー)、中部ジャワ王領地(ソロ、ジョクジャ)及東部ジャワ(ブスキ)が之である。其の他の地方に於ても栽られてはゐるが、歐洲市場向としては極めて小規模である。

デリーは世界的に有名なデリー・タバコを生産し、それは専ら葉巻の外巻用とせられる。デリーに於ける農園は土侯からの永租借権を有してゐる。この事は煙草が同一の土地では八年に一度しか栽り得ない。即ち一度タバコが栽られると其の土地は後の七年は他の林とせられ、従つて大面積を長期に借りる必要があるのである。

中部ジャワに於ては歐人農園は二年作として土人の耕地を借りる。故に煙草は隔年毎に同一の土地で栽られる。王領地タバコは一般は葉巻の芯(fillers)、巻(binders)及包(wappers)に用ひられ、小部分がパイプ・タバコとせられる。

ブスキ(Besoeki)に於ては土地は短期(五年)の借地権を土人から得て、土人は煙草の種

子と肥料とを歐人農園から支給される。收穫物の大部分は生の儘で農園の乾燥小屋に引渡され、そこで乾燥し、葉煙草及吊クロックに作られる。残部は住民貸地人により乾燥され、カンボン・クロック或はクロック(Krosok)とせられる。ブスキ・タバコは葉巻の巻並に芯及パイプ・タバコとせられ、僅か乍ら葉巻の包用にも供される。

葉煙草の收穫は、葉の熟するに従ひ、下部から始まり、順次上部に一葉づゝ摘み取られる。デリーに於ては最上部の葉は残される。葉は乾燥小屋に運ばれ、薄い竹或は紐でくゝり、吊り下けて乾燥する。約三週間の乾燥工程後、葉は長さ、色によつて區別され、束ねられ、醗酵の爲に堆積される。醗酵には二―四ヶ月間を要し、最も重要な工程で、内部的にも外部的にも變化されると同時に所用の香と性質が得られる。この工程後、更に葉煙草は長さ、色、厚さ等に從つて分けられ、八〇―一〇〇趾の包に壓縮されて船積される。

蘭印農園葉煙草の生産は毎年約二萬八千趾で、この外に約一萬趾のクロックの生産がある。之を一九三九年に就いて見れば、王領地煙草一萬一千趾、ブスキ約三千趾、デリー一萬四千趾、合計二萬八千趾の葉煙草と一萬一千趾のクロックとを生産してゐる。

蘭印農園葉煙草生産量 (趾)

一九三九年	一九三八年	一九三七年	一九三六年	一九三五年
九三三	九六〇	八九九	九三六	九三三

デヨクジャ	一、二九六	七四九	五八五	五九五	七一八
王領地	一、二二九	一、〇四三	九五四	九八一	一、〇〇一
ブスキ	二八〇	二七〇	三九六	三八三	二〇九四
其他ジャワ	二二六	一七一	五四八	四〇二	四三〇
ジャワ計	一、四〇六	一、三三八	一、四六一	一、四七六	一、二八八
スマトラ東海岸	一、七三三	一、七〇六	一、四一五	一、三七二	一、二九四
蘭印計	二、一三九	二、〇四四	二、八八〇	二、八四八	二、五八二

蘭印に於ける煙草専門農園は一九三九年に於てジャワに三四、外領に三七、合計七一で其の收穫面積は三萬六千五百二十ヘクタール(ジャワ二、四三七六ha、外領一、二一四四ha)であつた。

29、住民煙草

蘭印に於ける住民煙草栽培はジャワ、特に中部及東部ジャワに多い。外領方面では住民煙草の栽培はあまり重要視されてゐないが、スマトラ西海岸、バリ島、ロムボク島、セレベス及同管内及パレンバン等が其の中心地である。

住民煙草は殆んど總て刻煙草の製造に用ひられ、噛み煙草及葉巻煙草として消費される。住民刻煙草の製法は、葉の中央脈の最も厚い部分を剥ぎ、小さな束とし、數日後葉が黄色になる

と原始的な道具で之を裂き、この細片は天日又は火によつて乾燥される。最下部の葉は一般に刻煙草にせられず、竹線ではばり、乾燥してクロソクとする。

ジャワの或る地方即ちブスキ、ルマジヤン、バニユマス等に於ては住民は刻煙草に不適當な煙草を栽つてゐる。この煙草はクロソクにせられる。このクロソクは歐人及支那人により買ひ取られ、醱酵工程を経て、區分され、多く歐洲方面へ輸出される。歐洲では、このクロソクはパイプ・タバコ及葉巻の芯及小部分は捲煙草に用ひられる。

クロソク製造は蘭印の葉巻、捲煙草、刻煙草工業の發展を促し。之により東部ジャワのボヂヨネゴロに於てはジャワに於ける大煙草會社の手によりヴァーヂニア・タバコの土人栽培が擴張された事は見逃し得ない事實である。

蘭印一九四〇年タバコ輸出は三千七百十六萬盾で、この内デリー葉煙草が二千九百八十一萬盾に上り大部分を占め、他はクロソクの三百六十四萬盾、王領地葉煙草二百八十五萬盾等である。主要仕向國は和蘭及米國であつた。

蘭印煙草輸出

統計 番號	品種	一九四〇年		一九三九年	
		盾	担	盾	担
三二	デリー(ジャワ)	一、〇八四	六四六	四五四	三六

(外領)		二五五、八四九	二九〇、八四九	八五五、〇〇〇	一六五、三七六
三三	王領地(ジャワ)	六三三、〇八三	二八五、三三三	九八一、七一四九	六八五、四一四七
三三	ジャワ、クロックを除く、其他葉	一七、八七四三	六四、五三八五	一九五、六三六	九七、八三三
三四	クロック(ジャワ)	八三七、九四〇五	三六四、〇三三	一三四九、五四八七	二四二、九三五
三五	其他葉(ジャワ)	一七、五〇五	七、四九三	三八、〇〇一	四、四八四八
	(外領)				三
三六	刻 (ジャワ)	一、六四七	三、九七〇	二、三九〇	二、三九〇
	(外領)	一八、二五四	二、八八三	三三、五〇六	一八、三三三

七、纖維及編物材料
 Benang dan Benda jang terpakai,
 Vezels en Vlechtmaterialen, Fibres
 and plaiting materials.

30、藤 Rotan, Rotan, Rattan.

藤は強靱な可曲莖で、主として Calamus 及 Daemonorops 類に屬する蔓性棕櫚であり、百米の長さには達するものもある。主として熱帯及亞熱帯に野生してゐるが時には栽培されるものともある。

世界供給の殆んど總ては東部アジアから生産され、其の九〇%は蘭印が占めてゐる。之に次ぐものは馬來、英印、比律賓及泰である。

蘭印に於ける主要産地は南部及東部ボルネオ、セレベス及南スマトラである。主要積出港はマカッサであり、又藤製品の最も活潑な商業中心地でもある。其他バレンバン、バンジャルマシン、サマリングダ及パダンも輸出港である。

取引は三種類に分けられてゐる。即ち表面に薄い光澤のある硅質膜の有無に従ひ、光澤、半光澤及蠟或は脂藤の三種が之である。光澤及半光澤のものは艶無しのものに比し高價である。製品が輸出される以前に硅質膜は一部分又は全部表面から取り除かれる。蠟藤の場合はこの膜が缺けてをり、多少脂の感じがある。光澤及半光澤藤は主としてボルネオ及南スマトラに産し、艶無藤は専らセレベスに集る。上記の三類は更に太さ、外皮の色及髓により、又特別用途のものも可曲度、堅度、弾力等によつて分類され、格付される。

輸出向の美しい白色物を得る爲にはよく硫黄燻を以て晒される。

藤工業に於ては外皮と髓とは別々に取扱はれる。即ち、外皮が細い線に割られると非常に堅牢な辯み材料となり、髓は細い或は粗い、線にそがれる。歐洲では藤家具及バスケットに自然色のまゝ、よく用ひるので白髓が多く需要される。

籐は全世界至る處に用ひられ、又其の利用度は近年愈々増加しつゝある。蘭印領内に於ても亦籐は各種の用途に向けられてゐる。住民工業に於ては強靱な永持ちする纖維は緊搏の爲には理想的の材料であり、又家庭用の各種辨み物に用ひられると共に住民航海用網具、漁具附屬品等に用ひられる。

更に大きな工業に於ても、國內、外國共に籐は利用されてゐる。即ち、家具工業は既述の通りであり、堅くて太い籐は椅子、ベンチ、机等の骨組とせられ、細くて弾力のあるものは汽車、電車、自動車、飛行機等の座序や脊に用ひられる。尙一層細くて弾力のあるものは精巧な辨み物、例へば家具やトランク、バスケット等には最上必須のもので、多く需要されてゐる。

艶無籐は之よりも粗大なもの、例へば石炭、瓶等を入れるバスケットに用ひられる。この用途の爲にはセレス産のもの及バレンバン赤、並に之等と同格のものが用ひられ、厚さ七耗のものが最適とされてゐる。

他の重要産品はステッキ (Malacca canes) と傘の柄である。之には節と節との間の長いものが要求され Semambu 籐が最適とされてゐる。

米國に於ては籐箒が鐵道線路上の雪掻に用ひられてをり、この用途には *datu* 籐或は *salutan* 籐が適當してゐる。

蘭印産籐の主要仕向先は積替港としての新嘉坡が第一であり、香港、獨、米、和、英、佛、日等へも出されてゐるが、歐米が上等品の主要顧客である。一九四〇年蘭印未製品籐の輸出は約二萬盾、百四十五萬盾であつた。

蘭印籐(未製品)輸出 (統計番號二六六)

主要仕向國	數量(担)	價額(盾)	主要仕向國	數量(担)	價額(盾)
英國	一九五	三、七五五	獨逸	三三	一、四三三
伊太利	四〇八	二、三三二	伊太利屬領	二六	一、五七一
米國(大西洋)	二、二六	一〇、八〇六	米國(太平洋)	五	二、六四七
南阿聯邦	三三七	一、二七六	彼南	六一	五、二六八
新嘉坡	六九五	五〇、五九六	香港	五九	三、九七三
支那	四〇二	二、八四四	日本	六五	四、八七三
濠洲	五九九	三、五七三	日	二、一七六	一、四〇八
一九四〇年ジャワ計	二、四一	一、四一三	一九四〇年蘭印計	二、一七二	一、四三二
一九四〇年外領計	三、三三五	一九、八二六	一九四〇年ジャワ計	七四	四、五九
一九三九年蘭印計	三、三九九	二〇、二六五			

硬質網纖維 Benang koekat oentock tali, Harde Touwvezels, Hard rope fibres.

31、アガブ Agave, Agabe, Agabe.

蘭印に於ては唯二種類のアガブが栽培されてゐる。即ちサイザル繊維となる Agave sisalana とカンタラ繊維となる Agave Cantala とが之である。

ジャワ・サイザル及カンタラ繊維と同類の他國産品とを區別する爲に次の如く稱へられてゐる。即ちメキシコ・サイザル (Agave fourcroydes から得られる) はヘネケン (henequen) として知られ、比律賓産のアガブ・カンタラはマニラ・マゲイ (Manila magney) と稱する市場名を有してゐる。

ジャワ・サイザルは一般に長さ約一米二〇種あり、明黄色を呈し、強度大で大索、粗括紐、テニス網、及強度を必要とする袋と同様の網細工を作るのに適してゐる。又最近では床敷物及クラフト・ペーパーの製造原料ともされてゐる。

ジャワ・カンタラは一米を超すものは稀である。サイザルよりは細くしなやかで白色を誇つてゐる。故にこの繊維は強さと嬌さとを有し、然も外觀の美を要求する製品、即ち綴紐、網袋、ハンモック等に適してゐるが、強さのみを目的とする製品には不適當である。

アガブは殆んど總てジャワ及スマトラにある農園に於て栽られてゐる。住民のアガブ栽培はマドウラ島及中部並東部ジャワの小面積に限られてゐて、大した重要性を有してゐない。

蘭印アガブ農園植付面積及生産高

(a) サイザル		農園數	植付面積 (ha)	生産高 (噸)
ジャ	ワ	九	九八五	二、三〇九
外	領	二	三、五五八	七、六一三
	計	二	一、三六〇	三、〇九二
	計	二	一、三九〇	二、八三〇
(b) カンタラ				
ジャ	ワ (一九三九年)	二	六四一三	五、二六二
	(一九三八年)	三	六、九七	五、二一〇

32、マニラ・ヘンペ Manila-hennep, Manila-hemp (Abaca).

アバカは Musa Textilis から採られる。之はバナハの一種の繊維であり、スマトラ (ラムボン地方及東海岸地方) に栽られてゐる。このバナハは又、サンギル及タラウド島に野生してをり、同地方の住民には Kobbo と呼ばれてゐる。

南スマトラのタンジョン・カラン (Tandjong Karang) の一工場に於てこの繊維はロープに作られてゐる。

均質である事、自然の光澤、及美しい外觀、又特に海水に對する抵抗力の大なる爲この繊維は綱具及大索の製造の優秀材料とせられる。

蘭印マニラ・ヘンプ農園植付面積及生産量

外領のみ	農園數	植付面積(ha)	生産高(噸)
一九三九年	5	592	250
一九三八年	2	57	250
一九三七年	2	53	300

33、ココヤシ纖維 Benga saboet kelapa, Klapper-vezel, Coconut-fibre.

コ、ヤシ纖維はコ、ヤシ(Cocos nucifera)の實の外殻から得られる。主要生産國は英印、セイロン、英領馬來である。セイロンに於てはコ、ナット殻は三ヶ月間水に浸す。蘭印に於ては各種の方法が用ひられてゐるが、之を組織化して、外國産と同様の纖維を作り得る様になつた。

蘭印に於ける主要生産地は中部ジャワの南部地方である。

蘭印からは毎年少量ではあるが輸出されてゐる。領内ではマット、ブラシ、及綱に作られてゐる。而して、最近新應用方法が発見された。即ち、細く粗い織物にして、地下油輸送管の裡附けとして用ひられてゐる。

34、アレンガ纖維 Idjoek, Aren-vezel, Arenga-fibre.

アレンガ椰子(Arenga pinnata)は蘭印多島海全般にわたり、海岸から四千呎の高度まで至る處に栽培され、又野生しゐる。特に西部ジャワに於ては多く栽培されてゐる。然し其の目的は椰子糖を採ることにある。

幹及葉柄の間に馬毛に似た黒い纖維を生じ、之は大變硬くて強いのでブラシや箒を作るのに適してゐる。又かなりの強度と太さを有する綱を作るのにも用ひられる。住民は又、敷物に使用。更に又水に對抗力が強く、排水管の裡附けやダム石垣の間への詰物として漏水を防ぐ。

この纖維も毎年少量乍ら輸出されてゐる。

以上各種硬質纖維の一九三九年世界輸出量は合計五十一萬五千噸と推算され、内、蘭印が首位にあり、總量の二〇%に當る十萬八千噸を示してゐる。次位はタンガニカの九萬四千噸、メキシコ五萬二千噸、ケニヤ及ウガンダの二萬八千噸、其他東アフリカ、玖馬、ハイチ、比律賓、マダガスカル、ニュージラント等から輸出されてゐる。

硬質纖維世界主要國輸出量 (噸)

蘭	印(總ての種類)	一九三九年	一九三八年	比律賓(マゲイ)	一九三九年	一九三八年
		二〇、八三二	九、〇七六		二、五二〇	六、三三一

比 律 賓 (サイザル)	三	一〇元	(ア ジ ア 洲) 計	一、一三四	九、六五〇
西アフリカ(アンゴラ)	五〇〇	五〇〇	タ ン ガ ニ カ	九、四六〇	一〇、〇三三
ケ ー ン ヤ	二、七九八	二、八三三	ニ ャ ヅ サ ラ ン ド	五五三	一三
ウ ガ ン ダ	一八三六	一八三六	東 ア フ リ カ	一、七七一	二、一七四
マダガスカル	二、五八	二、四六七	セネガル・佛領セダン	—	二九八
アイボリー・コースト	—	一〇一七	白耳義領コンゴ	—	二〇〇
佛 領 ギ ヤ ナ	—	四七三	(アフリカ洲) 計	一五、四〇〇	一六、九一九
メ キ シ コ	五、三三三	五、七九八	サンサルバドル	—	一三三
英 領 西 印 度	—	六	キ ュ ー ベ	七六九	三五〇
ハ イ チ	六九七	六三三	(アメリカ洲) 計	六、七〇〇	六、七八三
アガヴ合 計	三、三〇〇	三、一五三	マニラ・ヘンプ	一七、七六元	一四、一三三
モリスヤス・ヘンプ	一四〇	一四〇	ニュージランド・ヘンプ	四四〇	四四〇
總 計	五二、五五元	四七、八七八			

蘭印の硬質纖維輸出は一九四〇年に於て九萬二千噸、一千二十八萬盾であり、主要仕向國は米國で、總量の七一%、六萬六千噸餘に上つてゐる。其他は濠洲、露國、大連、カナダ、オランダ、伊太利等であつた。

蘭印硬質纖維

(アガヴ、サイザル、カン) (タラ、マニラ、ヘンプ等)

輸出 (統計番號二五五)

主要仕向國	ジ ャ ヲ		外 領	
	貯ネット	盾	貯ネット	盾
和 蘭	七、〇一九	五三〇	一三、八五二	一六、〇六七
英 國	八三、八〇六	一〇、七六三	四三、三三六	五、五四一八
佛 蘭 西	一五、〇九一	一、九三三	一七、八〇九	一、八二八
伊 太 利	三、五二四	三、九六三	一四、九三四	一六、五二四
丁 抹	七、五七六	一、〇〇一	—	—
諾 威	二四、八五八	二、九八八	四九、七六八	七、一〇一
瑞 典	—	—	六二、四四〇	八、八三四
加 奈 陀	三三、九八九	三、八二六	一三六、二〇三	二二、四五六
米 國(大西洋)	一九六、八〇三	三三、一六六	四七八、五五〇	四六、九五七
同 (太平洋)	一五、五七五	一八、六三六	二四〇、九六六	二四、四七七
アルゼンチン	六、六〇三	八、二五三	一三、二四六	一、七三〇
埃 及	一、五〇〇	三、八五〇	一三、〇九六	一、七四八
南 阿 聯 邦	四、一三六	四、五九元	一三、九七五	一、二五〇
英 印	一一九	一三	一〇、七九〇	一、三七〇

露西亞	—	—	五四八、三〇九	四三、八四四
大連	—	—	一九、三七八	二一、〇三二
濠洲	七八、七五二	八八、六二一	五〇、九六一	六、九八五
サバ	—	—	二八、三三二	四、〇二六
新西蘭	九一、三五六	二一、二四六	—	—
一九四〇年計	三三五、六五九	三八二、七六一	五四〇、八六三	六四三、四五一
一九三九年計	三五六、〇五八	三六七、一八四	七〇一、七五九	六六〇、五八九

尙この外にジャワからは屑として二千六百二十二吨、十九萬八千盾が大部分米國に輸出されてゐる。

35、ジャワ・チユート及ローゼン

Java-jute en Roselle, Java-jute and Rozelle.

ジャワ・チユートは *Hidiscus Cannabinus* から、ローゼンは *Hibiscus sabdarifa* var. *altissima* から得られる纖維である。

一九〇六年英印から種子を得て、ジャワに於てチユート栽培が始められた。当初はジャワ・チユートは品質優良で有望であつたが、間もなく病氣が流行し、更に栽培費と纖維處理費の増嵩等により、不成功に終つた。然るに最近小規模乍ら更に栽培が再開された。

ローゼルの栽培はチユートよりも有望で、最近數人の關係業者がジャワに於て栽培を擴張した。ローゼルは強い絹様の纖維で主として袋に用ひられる。
ジャワ・チユート及ローゼルの蘭印からの輸出は一九四〇年に於て約二千七百吨、二十萬盾弱であつた。

蘭印ジャワ・チユート及ローゼル輸出 (統計番號二五七)

	ジャワ		外領	
	斤	盾	斤	盾
一九四〇年計	二六、四六七	一九、六〇五	三、四八五	二六三
一九三九年計	一七、九二九	一三、四九一	—	—

36、ウイドリ Benang Baidoeri (Bidoeri), Widoeri-vezel, Widuri.

ウイドリ纖維は *Calotropis gigantea* の樹皮から採られる。この樹は眞直な灌木で見事な幹と明色の樹皮並に羊毛質の嫩枝とを有してゐる。

ジャワに於ては海岸及低高度の山麓にある乾燥した草原地に生育してゐる。
樹皮から採られる纖維はマドラス (Madras) に於てはヘルクム (Yerkum) と呼ばれ土人により網が作られる。この網は丈夫で海水によく堪へる。種子からは美しい銀光を有する絹様の

穀綿がとれる。之は所謂、植物性絹の内、最も重要な種類に属するものである。充填料としては弾復力に缺る爲カボックに劣る。蘭印からの此の穀綿の輸出は *akund* 或は *akon* の名で知られてゐるが大變不規則的である。

ウイドリの蘭印一九四〇年輸出は僅かに二千八百疋ブルト、五百二十九盾（一九三九年五百九十六疋、八十七盾）に過ぎず、ジャワのみで、外領は無い。（統計番號二六三）

37、**メンドン** Mansiang (Mendong), Mendong-vezel, Mendong.

メンドン纖維は濕地に生育する一種の蘭 (*Fimbrystiis globulosa*) から採られる。住民は之を二種に分けてゐる。即ち植付後六ヶ月で刈取つたものを *Mendong genja*. 同じく九ヶ月で刈取つたものを *Mendong dalem* と稱し、後者は前者よりも長く強い。

刈取後、天日乾燥し、灰を以て薄く覆ふ。之により弾力と復彈性とが大となり、同時に變色を防ぐ、この工程は二度繰返へされる。

メendonは中部ジャワに栽培され、敷物並に其他家具用に用ひられる。

38、**プルン** Poeroen, Poeroen, Purum.

プルン纖維も一種の蘭 (*Lepironia mucronata*) で、沼澤地に野生してゐるが、ボルネオ及南スマトラに於て栽培されてゐる。

刈り取つて乾燥し、木灰でこすり、青白い黄色とせられた後、叩いて平かな可曲性纖維とせられ、敷物及タバコ、カボック、ゴム其他包装用の袋が作られる。

領内使用の外、可成の量が輸出されてゐる。而して外領に於ける辯工業の八〇%以上は南部及東部ボルネオに於けるプルン敷物製造によつて占められてゐる。

39、**ウエリンギ** Welingi (Bendoeng), Welingi-vezel, Welingi.

ウエリンギ纖維は *Scirpus grossus* から得られる處の高さ約二米に達する一種の藁スガである。この藁は蘭印では沼澤地又は淡水池によく見出される。

刈り取つて乾燥した後、鈍いナイフで掃除し、太陽と露とで晒される。蘭印に於てはウエリンギは敷物及瓶包用とせられる。

40、**竹** Bamboe, Bamboe, Bamboo.

蘭印には竹の種類は澤山あるが *Bambusa Gigantochola* と *Dendrocalamus* とが最も重要である。

住民達の生活にとつて、竹程重要で廣い用途を持つものは少い。即ち住民の家の壁及天井は竹の編んだものであり、橋、垣、家具、臺所用品、農具、漁具、工具等々竹製のものが多い。然も容易に入手出来、其の應用範圍は無限である。幹はそいで辯み物とし、バスケット、敷物、

ブラシ、網及帽子等に作られる。竹はこの様に用途が廣いが、蘭印からの輸出は専ら帽子の形でなされてゐる。

蘭印竹籬業の中心地はラヂヤ・ボラ (Radja-polah)、タシクマラヤ (Tasikmalaya) 及タンゲラン (Tangerang) であり、特にタンゲランは竹帽の海外輸出と共に、外領への移出に於て有名である。

一九四〇年蘭印からの竹帽子輸出は二百萬個、十二萬三千盾で主要仕向國は新嘉坡、埃及、蘭領西印度及英印等であつた。

蘭印竹帽輸出 (統計番號二七二)

主要仕向國	數量(個)	價額(盾)	主要仕向國	數量(個)	價額(盾)
和 蘭	1000	1500	蘭領西印度	2890	5,511
埃 及	52,200	2,2426	ポルトサイド	2,2500	2,258
英領東アフリカ	3,232	2,249	南阿 聯 邦	1,0100	922
モ ロ ッ コ	3,000	645	セ イ ロ ン	1,0250	501
英 領 印 度	20,820	7700	泰	1,8000	826
新 嘉 坡	27,168	7,972	一九四〇年 計	20,212	33,200
一九三九年 計	24,554	11,843			

41、パندان Pandan, Pandan, Pandan.

數種類の Pandanus 種から採られる纖維であり、就中 Pandanus tectorius 及 Pa. furcatus 種とが最重要品種である。之亦優秀な籬物材料として用ひられる。

葉は煮沸して後乾し、美しい色の線とし、種々の方法で染められる事が多い。パندان纖維は多くの用途がある。即ち敷物 (Bawean 島のものは特に有名である) バスケツト、袋、煙草入等が之であり、一九一六年以來パندان帽が現れ、重要輸出品となつた。竹帽と同様、パندان籬業の中心地はラヂヤボラ、タシクマラヤ、タンゲランであり、特にタンゲランが輸移出の中心地である。

一九四〇年蘭印パندان帽の輸出は一千四百六十萬個、四十五萬盾で主要仕向國は米國、濠洲、佛國であつた。又パندان敷物の輸出は四百八十三萬九千九百盾弱であつた。

(a) 蘭印パندان帽 (Split 帽) 輸出 (統計番號二七三) ジャワのみ

主要仕向國	數量(個)	價額(盾)	主要仕向國	數量(個)	價額(盾)
佛 蘭 西	4,052	266	伊 太 利	3,630	873
米 國(大西洋)	6,835	10,043	米 國(太平洋)	7,100	2,258
濠 洲	6,230	5,495	新 西 蘭	1,3021	3,310
一九四〇年 計	8,268	3,197	一九三九年 計	110,2501	13,8026
一九三八年 計	8,956	11,370			

(b) 蘭印バンタン帽(其他)輸出 (統計番號一二七三) ジャワのみ外領なし

佛 蘭 西	六、八〇〇	一、二六六	伊 太 利	六、八〇〇	三三三
加 奈 陀	五、一〇〇	五二〇	米 國(大西洋)	一〇五、四五〇	二五、九七六
米 國(太平洋)	四、八〇〇	八七四	ウ ル グ ア イ	五、三〇〇	一八六四
ア ル セ ン チ ン	三、〇〇〇	八七元	濠 洲	三三、六五三	二、四七三
新 西 蘭	一八、七〇〇	三六九	一 九 四 〇 年 計	二七六、一〇三	三、八四八六
一 九 三 九 年 計	一〇五、四五〇	一八、七四一	一 九 三 八 年 計	二二九、四七四	三、三二四

(c) 蘭印バンタン敷物輸出 (統計番號二七四)

	ジャワ		外 領	
	肝ブルト	盾	肝ブルト	盾
一 九 四 〇 年 計	五、〇五九	一七、七六六	四、三〇九	一、一六一
一 九 三 九 年 計	三、六三一	一三、一五〇	二、七二七	七五七

42、アゲル Agel, Agelvezel, Corypha.

この繊維はコリファ椰子 (Gebang-palm) (Corypha utan) の葉から採られる。生産地は西部ジャワのバンタム及マドウラ島である。

この葉繊維の最も簡単な處理法は未開の若葉から葉脈を取り除き、其の殘部を用ふるもので、

粗い袋、粗い敷物及安物の帽子の材料となる。上質品は小さな鋭利な竹ベラで葉の下部から上部を分けたものである。

セレベス産の上質コリファに較べるとバンタム・コリファは大變粗大である。セレベスに於ては此繊維はカロロ (Karoro) と呼ばれ、長型の敷物を作り、又帆にも用ひられる。ジャワ及マドウラに於てはコリファ繊維はバゴル (Bagor) と呼ばれる織物に作られ、コーヒ、米等各種製品の包装用袋及日覆、壁板、漁網、プロアの帆等に用ひられる。

コリファの葉軸はバンタル (Buntal) 繊維となり、比律賓に於ては非常に高價な帽子の材料となる。この帽子は所謂ランバン (Lumbang) 帽で、米國に於ては、バンコック帽の名によつて知られてゐる。

成育しきつた葉は丁度他の地方でサゴヤバンダンの葉が用ひられる如く、住民の小屋の屋根葺用とせられる。

43、ロントル Lontar, Lontar-vezel, Lontar.

ロントル繊維はロントル椰子 (Borassus flabellifer) から、コリファ繊維と同様に未開の若葉から得られる。品質と抵抗力はコリファ及バンタル繊維によく似てゐる。

ロントル椰子は多島海至る處に見受けられるが、特に蘭印東部地方に多い。晒或は染めた口

ンタル繊維は殆んど總て辨物及綱に用ひられる。

44、カボック Kapok, Kapok, Kapok.

ジャワ・カボックは *Ceiba pentandra*, Gaertn (*Eriodendron Anfractuosum*, D. C.) の果實から得られる。カボック樹は *Bombacaceae* の一種で、蘭印の至る處に生育するが、ジャワが中心地である。而してジャワは多島海カボック輸出の九五%を占めてゐる。

カボック樹の栽培には手数は要らぬが、特別の土壤と氣候とを必要とする。カボック栽培を擴張し、又は再新する一般の方法は挿木法である。

ジャワに於てカボック樹は主として住民所有により栽培されてゐるが、田の中や道路に沿つて各處に植えられ、農園に於ては改良種子により繁殖されてゐる。

一九三九年に於ける蘭印カボック農園は一八三園(この外に散在せるもの一〇、道路に沿つたもの一三あり)其の栽培面積は二萬三千二百二十二ヘクタール(收穫面積一、六一五一ha)其の收穫は七千一百六十一萬莢(外に三三四八萬莢買入)、之から生産された種子並カボック纖維は一、一九〇四キントルであつた。而して農園は大部分ジャワに在り、スマラン、ベカロンガン、ジャバラ、レンパン各州の生産量が多い。尙之等農園に於てはカボック樹は大抵コ、アヤコーとの間植物とされてゐる。

住民カボックは中部ジャワ及東部ジャワ、即ちジャバラ、レンパン、スマラン、ベカロンガン、マラン、ケデイリ等の各州に多く産し、一九三九年に於て工場數一六五、種子付カボック纖維生産量一、二六九〇噸であつた。

カボックは莢が收穫されて後中味はよく乾燥され種子と分けられる。其方法は手又は機械により黍鬚を叩き、種子を離すのである。この種は副産物として油が採られるが、大部分は歐洲方面に其の儘積み出される。カボックは壓縮し、普通ガニー袋に詰め、鐵帶をかけられる。この壓縮には非常に注意が拂はれる。と云ふのは、各仕向先によつて特別の要求があるからである。袋の上には普通生産地名を記す。普通五百瓦の莢から次の如き割合で精製される。

Schillen	外 殼(莢)	255 gr
Hartjes	種 殼	25 "
Kapok	カボック	80 "
Pitten	種 子	140 "
(Boengkil Olie	油	110 " 30 "

カボックの取引は次の様に格付されてゐる。第一は歐人農園産の上等物 *Fancy qualities* で種子及不純物が最高〇・三%含むものである。スマランに於ては次の如く分けられてゐる。

Contract	種子及不純物含有率	3%
A. Prime Jawa Kapok	"	5%
B. Prime Samarang K.	"	7%
C. Average	"	

又スラバヤに於ては次の如くである。

- Prime East Java quality
- " Porrong "
- " Madura "

カボツクの標準見本は毎年貿易組合によつて決められ、之によつて品質に就き意見の相違が起つた時の仲裁裁判所の基本に資される。

カボツクの用途は多岐であるが主として蒲團、クッション、枕及其他の詰物として用ひられる。即ちカボツクは他の詰物に比し、弾力と復弾力に非常に優れてゐるからである。又カボツクの浮揚性により、救命帶等に大きな用途があり、この方面に於てはコルクをしのぎつゝある。尙其の上に醫療用バンデージに用ひられる。然し紡績方面には成功してゐない。

一九四〇年蘭印カボツク輸出は一萬八千越餘、五百四十七萬盾で主要仕向國は米國で總額の約半分二百十七萬盾に上つてゐる。其他は濠洲、獨逸、英國等である。主要輸出港はスラバヤ

九千三百越、スマラン八千三百越、バニユワンギ三百六十九越、マカツサ三百六十九越等である。

(a) 蘭印カボツク(種子付)輸出 (統計番號二五八)

主要仕向國	ジヤワ		外領	
	肝アルト	盾	肝アルト	盾
日本	—	—	二、六七五	一、二八五
一九四〇年計	—	—	三、〇六一	一、三三九
一九三九年計	五〇	四	五〇、三二八	四、三〇三

(a) 同 (種子なし) 輸出 (統計番號二五九)

主要仕向國	肝ネット		盾	
	英國	一五、六三六	四、三二四	—
獨逸	二八、〇八七	八、七五三	—	—
伊太利	一四、五四六	四、二九三	—	—
加奈陀	六、七〇四	一、九〇九	—	—
米國(大西洋)	四七、一三三	一四〇、七五七	一〇、七〇七	三、一五七
米國(太平洋)	三三、一四三	六、七七五	一四、九二二	四、四〇二
南阿聯邦	七、一七五	二、一〇三	一、五九六	四七〇
新嘉坡	九、七六三	二、七二七	一、五〇一	一、三

支那	日本	大連	濠洲	大洋洲	新西蘭	一九四〇年計	一九三九年計
六、二六三	一、八四九	一、七〇八	一九、四七六	三六、四四九	七、五三四	一八、七五〇	一九、〇七七
一、八四九	五、〇七九	五、七四七	九三、三五六	二、三三三	四、八三三	五、四、九〇五	八三、七六五
—	100	—	八、九七四	—	—	三、〇三九	七、六六三
—	—	—	二、五五二	—	—	一一、三三三	三、七四六

尙第一(一)表にも示した如く蘭印のカボック輸出に於ける世界的地位は、例年全世界輸出總量の七〇%前後を占め第一位にある。即ち一九三九年に就いて見れば世界總輸出二萬九千九百五十五噸中、蘭印は七二%を占め、二萬一千四百五十噸に上つてゐる。

45、棉花 Kapas (Kaboe Kaboe) Katoenen, Cotton.

蘭印に於ては棉花は、古くから栽培されてゐたし、和蘭領有以來も種々奨励政策を採つたが、大した進展を見なかつた。

最近に於けるジャワ及マヅラのみの棉花栽培面積は次の如く年々減少してゐる。

一九三五年	一九三六年	一九三七年	一九三八年	一九三九年
一、〇七五ヘクタール	一、三六〇〃	一、六〇六〃	八、八四〃	三、九五〃

蘭印一九三九年棉花栽培面積合計は四千四百八十九ヘクタールで一九二九—三八年平均の三分の一以下である。この減少はデマク及ジャバラ・レンバンの主要部分に於ける作柄が不良であつた事、バレンバンに於ける棉作不良及び住民栽培の生産報告の不充分等によるものである。

ジャワに於ける一九三九年度、一棉花農園の生産報告によると八十五haの栽培面積で十六噸の棉花を生産してをり、外領(大東地方)に於ては二農園六百二十九haから百三十四噸の收穫成績が示されてゐる。

ジャワに於ける主要棉作地はデマク地方であり、當初三千五百haであつたが、市價安等の爲最近では五、六百haに減少してゐる。而してこの地方に於ける現在の住民棉花は機械紡績には不向であり、又手紡には高價に過ぎる爲、大部分輸出に向けてゐる。最近蘭印の工業化に關聯して、この棉花を利用する爲に政府は三十萬盾を補助し、一萬錘の住民棉處理紡績工場及毛布其の他に加工する織布工場をデマクに計畫してゐると報ぜられてゐる。若し之れが實現すれば、

デマク地方の棉花栽培は増加が見込まれてゐる。又最近、政府では東部ジャワのバニユワンギ地方に印度棉に相當する棉花の栽培を試作し、二〇乃至三〇番手絲紡出に成功したと報じてゐるが、未だ實用的の生産量には達してゐない模様である。

次に日本人により栽培が行はれてゐるニューギニアの棉作に就いて見れば、當初北沿岸モミ地方に於て一邦人(細谷十太郎氏)により試作され、其の後昭和九年三百四十五町歩が南洋興發に移管され、更に昭和十一年、二千町歩をモミに、三千五百町歩をサルミに於て永久租借權を取得し、其の内三百町歩を開墾したものである。而してモミに於ける試作は一町歩當り千五百斤乃至二千四百斤の好成績であるが、サルミに於ては不良であつた。ニューギニアに於ける其の他の棉作は住民には無く、センタコ湖畔の蘭人農園があるのみである。

終りに蘭印各港からの棉花輸出量を記せば左表の如くスマトラのパレンバンが其の主要輸出港となつてゐる。(單位・噸)

外 領 計	一九三九年		一九三八年		一九三七年	
	脱種子棉	種子棉	脱種子棉	種子棉	脱種子棉	種子棉
ジャワ計	三五三	三五八	三四一	一七七	八九七	三三
外 領 計	九	一一三	八	一〇七	一〇〇	二九九

内 譯

パレンバン	五	一一〇	一	一九六	六	二九七
バリ及ロンボク	三	一	一	三	一	一
其他外領	一	二	六	六	三	二
合 計	九	一一三	八	一二五	一〇〇	三〇〇

尙仕向地は殆んど全部日本向である。

八、飲 食 料 産 物

46、カツサバ Obi Kajoe, Cassve, Cassva.

Manihot utilisissima pohl. と稱する植物の根莖で、長さ三〇—四五糎あり、ダリアの根莖に似てゐる。

蘭印は現在世界一のカツサバ生産地であるが、今世紀の當初までは馬來半島がカツサバ製品の世界市場を獨占してゐた。然るに一九一〇年のゴム景氣の結果馬來ではカツサバ栽培は放棄され、輸出は著減したのに反し、蘭印は輸出を増加して今日の地位となつた。即ち一九三九年に於けるカツサバ製品の世界輸出量三十四萬噸中、蘭印は八一%の二十八萬噸に上り、他はマ

ダガスカルの三萬噸、馬來の二萬噸、佛印の一萬五千噸を主とする。

蘭印に於けるカツサバは主として住民により栽られ、一九三九年ジャワに於ける住民カツサバ收穫面積は九十九萬二千ヘクタール、其の生根の生産量は八百三十一萬噸、内輸出は六十三萬噸であつた。栽培中心地は中部ジャワで總面積の六〇%を占め、東部ジャワが之に次ぎ三〇%、西部ジャワ一〇%となつてゐる。而して住民栽培のカツサバは大部分自家使用の常食に供され、輸出は小部分のみであるのに反し、歐人農園産のものは専ら輸出に向けられてゐる。

タピオカ(Tapioka)はカツサバの根の皮を剥ぎ、壞いて得られる。髓質は篩にかけ、澱粉は乾燥され、粉碎機にかけ、整荷されてタピオカ粉(Four)として市場に出される。蘭印から輸出される總てのタピオカ粉はジャワに於て製造される。特に東部ジャワに於て盛であるが、西部ジャワに於ても然りである。又タピオカ粉製造は住民と同様歐人工業にとつても重要性を帯びて來た。タピオカ粉は製法により二級に差別される。即ちカンボン粉と工場粉とが之である。而して兩者共更に各種の品質で區別される。

馬來及其の他の例に倣ひ、ジャワに於けるタピオカ製造業者は濕粉からタピオカ・フレーク Flake(片)、パール(pearls)(粒)、シーズ(seeds)等を作る。最上質の純白粉のみが之等を作るのに用ひられ、黄色粉は需要少く値段も安い。

細粉機にかけた蒂はアムパス(ampas)或は工場屑と呼ばれ、歐洲方面では家畜飼料とせられる。皮を剥ぎ乾燥したまゝのカツサバ根はガブレク(gaplek)或はカスベ(kaspe)として市場に出される。製法は至つて簡單で、支那人及住民により専ら行はれてゐる。之は歐洲に於て工業用アルコールの原料、葡萄酒、家畜飼料等に用ひられる。

尙タピオカ粉はビスケット、織物用糊、キヤラメル、飴等の製造に用ひられる。

一九四〇年カツサバ製品の蘭印からの輸出は總額一千三百二十四萬盾で、内タピオカ粉が大部分の一千七十四萬盾を占め、主として米國に送られてゐる。次位はパール及シーズの八十七萬盾で之は英、米が主要市場であつた。第三位はガブレク粉の七十六萬盾で主として英國に向けられてゐる。第四位は片及シフテイングの五十五萬盾で大部分米、英へ出されてゐる。第五位はアムパスの二十萬盾で之は英國向、最後にガブレクが十二萬盾で、殆んど全部日本向となつてゐる。

ジャワ・カツサバ製品輸出 (外領はなし)

統計 番號	品名	一九〇四年		一九三九年	
		盾	噸	盾	噸
三三	タピオカ根 (ガブレク)	三、〇六九	三、〇六九	三、〇六九	三、〇六九

二四〇	タビオカ根 (ガブレク粉)	二、七八五	七、四七三	五、五七九	一四〇、三三八
二四一	タビオカ粉	一七、三三三	一〇七、七〇三	一〇、〇七五	七三、一三二
二四二	タビオカ片	五、六三三	五五、〇八二	八、六〇〇	四九、一四三
二四三	タビオカ粒	八、六六九	八七、〇三八	一、二九三	七三、一〇八
二四四	タビオカ滓 (アムパス)	一、五七〇	二〇、三九四	一、二九三 五、八五五	八、五三九

47、ココ椰子 Kalapa Cocospalmen, Coconut.

コ、椰子は學名 *Cocos nucifera* L. と稱し、蘭印至る處にあり、南洋情緒を畫くと共に、その栽培は住民の職業として重要視され、其の果實は住民の常食物として重きをなしてゐる。斯くて蘭印は世界最大のコブラ生産國であり、世界輸出市場に於ては比律賓に次いでゐる。即ち一九三八年世界コブラ總輸出は二百二萬噸と算定され、内比律賓が六十七萬噸、蘭印は之に次ぎ五十九萬噸を輸出してゐる。其他はセイロンの二十六萬噸、オセアニアの二十二萬噸、馬來の十六萬噸等を主とする。

蘭印に於けるコ、椰子栽培は主として住民により行はれてゐるが、歐人農園に於ても亦栽られてゐる。一九三九年に於ける農園數は六百五十七、其の栽培面積は五萬ヘクタール餘、内ジャワに七萬七千ヘクタール、外領に四萬三千ヘクタールとなつてゐる。然し住民の栽培に較べれば問題とならぬ。

コブラはこのコ、椰子の實の仁肉を乾燥したものである。其の方法はジャワに於ては穀から離した仁を天日乾燥する。約五日間毎日上下を替へて乾燥し、天氣の良い日に荷造りして港へ送り出す。雨季中は人工乾燥を行ふこともある。注意深く上手に人工乾燥すれば煙臭くなく仕上る。然しジャワに於ては之は例外で、雨季中でも多少日數は要するが天日乾燥が普通である。この方法は外領方面に於ても行はれてをり、ジャワ物に決して劣らぬものもある。

コブラは地方市場では *F. M. S. Fair Merc* (*hantable Sundried*) 及混合の唯二種の格付で賣買されてゐる。又賣手が責任を欲せぬ場合は *telquel* として賣られる。尙輸出コブラの條件は一般に五―六%の水分を含んでゐてもよいことになつてゐる。而してジャワ・コブラが最も高値である。

コブラは消費者に渡る時六〇%の油と四〇%の滓を含んでゐる。コブラが船積される時は普通通ガンニー袋、或はバラ荷とされるバラ荷の場合一般にその船がコブラのみを積む場合に用ひられるものである。

コブラの用途は其の油脂を搾り、オリヅ油の代用、石鹼原料、化粧品、蠟燭等の原料及人造バター等の原料等に用ひられる。又搾り粕は飼料とされる。住民の重要食料たる事は前記の通りである。更に外皮の繊維はブラシ、敷物等に用ひられ、殻は上質の炭となり、防毒面等の用途がある。

蘭印一九四〇年のコブラ輸出は二十六萬六千噸、一千二百五十八萬盾で大部分は外領、特にマカツサ、メナド、テムピライン、スバト等の各港、ジャワではスラブヤが中心地をなしてゐる。主要仕向先は新嘉坡が約三分の一、其他は和蘭、丁抹、日本、伊太利、米國支那等であつた。同じくココ椰子油の輸出は一萬四千噸、百二十一萬盾で大部分ジャワ（バニユワンギ、スラブヤ、チラチャツプ、バタバアの各港）から加奈陀、米國、伊太利等に仕向けられた。又コブラ粕は四萬七千噸弱、百十六萬盾が輸出され、之亦上記の關係でジャワが大部分を占め、主要輸出港はスラブヤ、バタバア、チラチャツプ、バニユワンギ、チエリボン等で、主要仕向地は諾威、新嘉坡、日本、和蘭、英國、丁抹等あつた。

蘭印コ、椰子製品輸出

統計 番號	品名	一九四〇年		一九三九年		
		BJジャワ 外領	總ネット 盾	總ネット 盾	盾	
一八	コブラ	J	三三九	一七,三三〇	一〇〇	八〇一

一九九	カラツバ油	計	二六,三三三	一四一,四三二	五二,八七六〇	二五四,七一一
		B	二六,三三三	一四一,四三二	五二,八七六〇	二五四,七一一
計	B	J	二六,三三三	一四一,四三二	五二,八七六〇	二五四,七一一
		計	一,三四二	一八,四七四	八九五	八五,六〇二
二〇〇	計	B	一九九	二,九四九	二二六	二,三三五
		J	一,四〇〇	三,一三三	九〇一	八七,九三七
三二	コブラ粕	計	四,一七五	一〇三,一八三	七,八二八	二四,九八九
		B	五,〇〇七	一三,八〇三	一,二七三	三六,一八四九
計	B	四,六七二	一六,〇四四	九,〇七二	二八,一八三八	

48、油椰子 Oleipalmen, Oilpalms.

油椰子 (Elaeis Guineensis) は一八四八年、原産地たる西アフリカからバイテンゾルフ植物園に試植されてゐたが、試験時代を過ぎて實際栽培の始められたのは一九一〇年頃からの事で、主としてスマトラ東海岸地方に栽られてゐる。而して一九二〇年頃までは世界市場に於ける油椰子は主として西アフリカの土人により生産されてゐたが、それは野生のものを不經濟な原始的方法により採油してゐたものであつた。然るに現在に於ては油椰子油の世界輸出總量（一九三九年）五十二萬噸中、蘭印は二十三萬噸を占め、第一位にあり、ニジュリアの十三萬噸が之に次ぎ、ベルギー領コンゴの七萬噸、馬來六萬噸、其他、アフリカの二萬五千噸等となつてゐる。

又油椰子仁の輸出に於ては總計六十一萬噸中、ニジェリアが三十八萬噸、ベルギー領コンゴ八萬四千噸、其他アフリカ八萬八千噸、蘭印は之に次ぎ四萬四千噸、馬來一萬噸となつてゐる。

油椰子世界主要輸出國 (噸)

主要輸出國	油椰子油			油椰子仁		
	一九三九年	一九三八年	一九三七年	一九三九年	一九三八年	一九三七年
ニジェリア	一三,九六元	二一,〇〇一	一四,六三〇	三八,〇六七	三三,五六〇	三四,一五〇
ベルギー・コンゴ	七,二三三	七,〇五〇	六,九二四	八,四三三	八,八六七	九,五五〇
ダホメ及 其他アフリカ	二,五〇八	一,八九六	一,五〇六	八,八三〇	一三,八四〇	一四,七二〇
アフリカ計	一〇,九四〇	一〇,〇〇二	九,〇六〇	一〇,一〇〇	一〇,五五〇	一〇,六六〇
馬來	六,〇六七	五,五三七	四,三四七	一,〇九四	九五〇	七四元
蘭印	三三,五七六	三三,〇七二	一九,六九五	四,三八〇	四,七四九	四,二四七
アジア計	二九,三三三	二七,五九四	二四,〇三七	五,四七一	五,六九九	四,八九〇
合計	五二,八八五	四九,七三三	五〇,五三四	六〇,八二六	六九,五四九	七五,六三〇

アフリカ産油は新しいものでも約三分の一の遊離脂肪酸を含み、舊いものは五分の四を含んでゐる。之はアフリカに於ては油椰子の種類が澤山あり、其の中で最も生産力の大きいものが蘭印に移植され、人工交媒及科學的農園に於て品種に改良を加へ、又近代設備と有効處理法

による等の要因が結び付いた結果である。現在スマトラに於ては食用に適する高級油椰子油が多量に生産されてゐる。因にアフリカ油の遊離脂肪酸含有量三六%に對し、スマトラ油は一二%に過ぎない。

蘭印に於ける油椰子農園は一九三九年に於て六十六、其の栽培面積は十萬五千ヘクタール、油の生産二十四萬噸餘、仁の生産五萬四千噸弱である。而して其の大部分はアチエー州及スマトラ東海岸州にあり、(四十七農園)其他はジャワのバイテンゾルフ州に四、パレンバン及ランボン州に五、ボルネオ及メナド州に五となつてゐる。

蘭印油椰子農園生産量 (一九三九年)

農園數	植付面積 (ヘクタール)	收穫面積 (ヘクタール)	生産量(噸)	
			油	仁
パレンバン	一	二九	—	—
バイテンゾルフ	三	一〇七	六九	—
アリアンガン	一	二〇	—	—
マラン及ブスキ	二	三	—	—
ジャワ計	八	一三五	六八	—
南スマトラ (パレンバン及ランボン)	五	五四八	四三二	—
北スマトラ (アチエー及スマトラ東海岸)	七	九,四五二	七,〇七六	—

其他スマトラ 一 三六八
 其他外領(ボルネオ) 五 一三〇
 外領計 六 二六八
 蘭印總計 六 二六八
 一九三八年計 六 九、三〇七

一九四〇年 七、五三七
 一九三九年 七、六二五
 一九三八年計 七、四二〇
 一九三九年計 三、六六六
 一九四〇年計 四、八〇三

蘭印油椰子一九四〇年の輸出は十七萬八千吨弱、九百五十六萬盾、仁、二萬九千吨、九十一萬二千盾であつた。油の主要仕向國は米國が第一位にあり、總量の六〇%に當る十萬七千吨に上つてゐる。其他は和蘭の一萬八千吨、英國一萬吨、玖馬八千吨、支那七千吨、南阿聯邦五千吨、加奈陀五千吨、伊太利四千吨、新嘉坡三千吨等であつた。主要輸出港はペラワンが第一位にあり、十二萬八千吨を出してゐる。其他はラブハンピリック、タンジョン・バライ等である。仁の主要仕向國も亦米國が首位にあり、總量の四〇%に當る一萬二千吨餘に上つてゐる。其他は和蘭の九千吨、丁抹、瑞典の夫々二千吨、英國の一千六百吨等である。主要輸出港は同上である。

蘭印油椰子輸出

統計品番	品名	一九四〇年		一九三九年	
		噸	盾	噸	盾
B	外領	九、三〇七	七、四二〇	三、六六六	四、八〇三
		七、五三七	七、六二五	三、六六六	四、八〇三
計	計	一七、八三四	一五、〇四五	七、三三二	八、六〇六

統計品番	品名	一九四〇年		一九三九年	
		噸	盾	噸	盾
B	油椰子仁	二、八八〇	九〇、五二五	四、三六四	一七四、〇四七
		二、九〇〇	九一、七三四	四、三〇五	一七二、七〇一〇
計	計	五、七八〇	一八二、二五九	八、六六九	三四五、七四七
B	油椰子油	一七、六〇八	九三七、九五四	三三、三九二	一五七、三九〇
		一七、七七八	九四六、〇九〇	三三、一七六	一五七、二八四
計	計	三五、三〇八	一、八七〇、三〇四	六六、五六四	三一四、六八〇

49、茶 Teh, Thee, Tea.

蘭印の茶の生産は一九三九年に於て八萬三千吨餘、其の大部分はアッサム種であり、主要栽培地はジャワに於てはスカブミを中心とするプリアンガン地方、スマトラでは東海岸州で、何れも海拔三百米乃至千米の高原地帯で栽られてゐる。農園産と住民産との割合は八五%對一五%となつてゐる。

蘭印茶植付面積及生産量 (一九三九年)

農園	植付面積 (ha)		生産 (噸)
	住	民	
計	三、二九七	八、三三九	一〇〇・〇%
農園	一三、八六八	七、〇六一	八四・九%
住	七、五五九	一、二五四	一五・一%

農園としては茶だけのものもあり、ゴム、キナ、コーヒ等と共に栽られてゐる場合もある。農園數は一九三九年に於て三百五十七園あり、其の分布はジャワに三百十九、就中バイテンゾルフ州に百六十七、ブリアンガン州の九十七、に集中されてをり、スマトラでは三十八園中、東海岸州の十六、西海岸州の十二を主とする。

住民茶はジャワのみで、同じくバイテンゾルフ州及ブリアンガン州が大部分を占めてゐる。一九三九年に於ける全世界の茶輸出量は約三十七萬噸で首位は英印の十五萬噸、次位はセイロンの十萬噸、蘭印は第三位で一八・五%を占め、七萬三千噸、第四位が日本の三萬五千噸、其他は支那、ニヤッサ、ケニヤ等である。

茶の生産は一九三三年以來、英印、セイロンと共に蘭印に於ても輸出制限により統制されてゐる。蘭印の制限要領は次表の如くである。

一九三九年四月—四〇年三月 (單位半噸)

國際協定による輸出基本量	農園茶	農園茶標準生産高	制限率
一、五七四、四〇〇	一、三三四、八〇八	一、九五二、二六四	五・〇%
輸出割當量	買上茶	買上茶	
計	一、四九〇、九〇〇	輸出數量	一、四九五、三〇九

蘭印茶の輸出は一九三九年に於て七萬一千百七十噸、四千九百六十八萬盾で其の主要仕向國は濠、英、米、和蘭、埃及、イラン、イラク等であつた。即ち次表の如くである。

主要仕向國	輸出數量	輸出價值	主要仕向國	輸出數量	輸出價值
英 國	一、七三三	一〇、三三三萬盾	伊 太 利	一〇、四四〇	九八五
和 蘭	五三三	四、四一六	米 國	一、四一〇	九八五
チ リ	一、四七五	一〇、八	イ ラ ク	二、九七二	三三六
エ ジ プ ト	三、七四	二、四六	イ ラ ン	三、〇九七	二六四
南 阿	二、〇七	一、三	濠 洲	一、四六〇	一〇、一
計	七、一七〇	四一、九六六	計	四、六三六	四一、九六六

50、**コーヒー** Kopi, Koffie, Coffee.

蘭印のコーヒー生産量は一九三九年に於て十一萬三千噸、内農園産が五萬八千噸、住民産は五萬五千噸と略相半ばしてゐる。

品種は大部分がロブスター種であるがリベリア種、アラビカ種等も栽られてゐる。栽培は領内至る處に行はれてゐるが、中部及東部ジャワ、スマトラ東海岸州及中南部スマトラの山腹及セレベスが盛である。

コーヒーの輸出は二百年以上の歴史を有し、強制栽培等により、和蘭は大いに利得したものである。

一九四〇年の輸出に就いて見れば、三萬九千八百九十四噸、七百八十萬盾であつた。其の品種は次の如くである。

	ジャワ	外領	計
アラビカ	一、五八八	四、〇五八	五、六四六
リベリア	三	一、三三	一、三六
ロブスター	二	六	九
計	一、五九三	五、四〇七	七、〇〇〇
其	三〇一	一四	三一五
他	二、一五八	一、八五八	四、〇一六
計	四二八	三六二	七九〇

輸出コーヒーの大部分を占めてゐるロブスターの主要仕向地は新嘉坡、和蘭、米國、比律賓、濠洲等である。

51、**チョコレート** Tjokolat, Cacao, Cocoa.

蘭印のコ、ア生産は一九三九年に於て、千七百三十八噸、其の大部分はジャワ殊にベカロン、ガン、スマラン州で生産されてゐる。農園数は三十六あり、内二十九はジャワにある。其の栽培面積は六千六百八十ha、内六千四百haはジャワにある。

世界のコ、ア輸出量は約七十五萬九千噸、西阿、米國が大部分を占め、サン・トメ、セイロン、オセアニア等にも産し、蘭印は僅か千三百六十八噸であるが東亞に於ては重要な地位にある。

蘭印のコ、ア豆輸出は一九四〇年に於て、千百九十噸、三十一萬八千盾で、其の半ば以上の七百二十七噸は米國に向けられ、其他蘭、英、伊、比律賓、濠洲等に輸出されてゐる。

今次歐洲大戰以來、歐洲方面からのチョコレート輸入が杜絶したため、領内でも製造が行はれつゝある。

52、**米** Boeras, Rijst, Rice.

蘭印に於ては米は住民の常食とされてをり、大部分がジャワに於て栽られてゐる。一九三九

年に於けるジャワ米の栽培面積は四百萬ha、收穫は四百十八萬噸、同じくバリでは二十萬ha 三十萬噸であるが、ジャワ住民が食べ、外領方面へ送ると、精々自給自足の範圍を出でず、輸入もされてゐるが、若干輸出も行つてゐて、結局外領方面では不足となつてゐる。

即ちジャワからは十八萬噸が輸出され、五萬噸輸入してをり、外領では十萬噸の輸出が行はれ、五十萬噸が輸入されてゐる。と云ふ事はジャワでは十三萬噸餘るが外領では四十萬噸不足してゐるのである。

ジャワに於ては至る處に栽られてゐるが、西部及中部には殊に多い。大部分は水稻で陸稻も幾分あり、海拔一千米以上の高地にさへ栽培されてゐて、常夏である爲、收穫する田の隣りでは植付をしてゐる風景がよく見られる。

53、巨蜀黍 Diagon, Mais, Maize.

メイズも住民達の食料品として、又上質澱粉原料として多く栽られてゐる。一九三九年に於てはジャワでは二百萬haの栽培面積があり、百九十八萬噸の生産量を示してゐる。

輸出も多少行はれてをり、ジャワからは五萬六千噸、外領からは三萬八千噸、合計九萬四千噸の輸出餘力を有してゐる。

54、イレス・イレス Ires-iles.

スメダン方面に多く住民又は支那人によつて栽られ、根を乾燥して粉にし、大部分日本に輸出される。用途は食用のコンニャク及び工業用としては織物の艶付及防水等である。

一九四〇年蘭印からの輸出は六百八十七噸、五萬盾で其の大部分は日本向である。

55、テンカワン Tengkawang.

ボルネオ南東部に産し、一九三九年には六十五噸(一九三五年六千九十噸)を輸出してゐる。主として歐洲方面に向けられ上質の食料油となる。

56、ケミリ Kemiri.

藥味として用ひられるもので生産地はセレベスを主とし、チモール、バリ等にも産し、大部分は領内で消費される。一九三九年に於ては五千二百噸の輸出があつた。

57、其他食料品 (一九三九年)

栽培面積 (ha)	輸出 (噸)		
	ジャワ	外領	計
馬鈴薯	七八八	四	一八三
玉葱	一、九三三	七	三三
唐辛子	七、八五五	三三	三三三
野菜	二、三〇	九〇七	一、一七七

果 物				
内	バナナ	四三六	一三二二	七四三八
	ミカン	二五八四	二九〇	三五八四
	パイナップル	一五	六八八	八四三
	マンガ	九七	五七五	五七五
	其他	六一〇	一	九九八
落	花生	二一、〇〇〇	五五八	二六八
	(生産)	一八萬噸	(輸出)	六萬八千噸
大	豆	四、四六三	(生産)	三萬噸
	(生産)	三萬噸	(輸出)	八千噸

九、薬品材料

58、キナ Kina, Cinchona.

キナはマラリアの特効薬たるキニーネの原料であると共に多くの賣薬にも用ひられてゐる。今でこそ蘭印は世界キナ需要の九〇%以上を供給してゐるのであるが、決して蘭印が其の原産地ではなく、今から約九十年以前(一八五二年)南米ペルーから移植し、失敗や苦心を重ね、撓まざる努力の結果、今日の地位を捷ち得たのである。

蘭印に於けるキナ栽培は大部分西部ジャワに集中されてゐる。特にバンドン、ガルーを含むブリアンガン州に於て六〇%以上の生産を見てをり、バイテンゾルフ州が之に次ぎ、マラン州、スマトラ西海岸等にも栽られてゐる。

一九三九年に於けるキナ農園はジャワに九十四外領に八、合計百二で其の面積は約十六萬ha乾燥キナ皮生産量は一萬二千四百噸弱であつた。

		一九三九年	
		農園數	乾燥キナ皮收量
内	ジャワ	九四	一、三六六
	内ブリアンガン州	四	七、四一〇
	バイテンゾルフ州	三	二、三三〇
外	領	八	一、四五一
合	計	一〇二	一、八八七

一九三九年に於ける世界キナ皮の生産量は一萬三千八百七十九噸と計算され、内蘭印が九〇・九%に當る一萬二千六百十九噸を生産し、其他では英印、ポリビアが夫々八百噸見當を産出するに過ぎない。

世界キナ皮生産或は輸出量

(一九三九年) (單位=噸)

蘭印生産	農園		住民		計
	一、三三二	一、九	一、九	元	
英	八六	七三			
ボリビア					
ベルギー					
マダガスカル					
佛印					
共計	一、三六九				一、三六九

其他 (エクアドル、コロンビア、ベネゼラ、臺灣、比律賓、ダンガニカ等)

共計 一、三六九

此の様に蘭印はキナの世界市場を獨占してゐるのであるが尙生産、輸出兩方面に於て統制、制限を行ふと共に種子の流出を極度に防いで世界市場の支配に努めてゐる。即ち、キナの統制機關としてはキナ・ビュローがある。之は一九二三年栽培業者とキニーネ製造業者とが集り、一種のシンヂケートを設立したもので、トラスト加入者のキナ皮は總てアムスルダムのキナ・ビュローを経て取引され、最低價格が保證されてゐた。然るに今次歐洲戦争により、歐洲向積出が不可能になつたのでバンドンにあるキニーネ工場を増産を計畫し、蘭印産キナ皮は總て領内に於てキニーネとし、それを輸出する傾向を示してゐた。キナの生産並に輸出の制限は左表の如くである。

蘭印キナ制限狀況

(單位=噸キニーネ等量)

群	區數	標準生産量	最大輸出許可量	輸出又はBKF引渡
第一群	一〇八	一三、四五〇	六七、三三三	三、九三三
第二群	三〇	四、〇九三	一一、〇三三	二、〇七〇
第三群	二四二	一、〇八三	一、〇七三	八七三
計		一三、八三〇	七〇、四〇六	六六、八九五

(註) 第一群 トラスト加入者、第二群 第一及第三に屬せぬもの、第三群 住民キナ園 BKF引渡キニーネ工場

一九四〇年蘭印のキナ皮輸出は七千百十五噸、八百四十五萬盾で其の主要仕向先は米國二千五百三十八噸和蘭一千九百四十九噸、佛國九百十噸、其他英、日、伊、英印等であつた。同じくキニーネは五百八十九噸、一千八百六十一萬盾で主要仕向國は英印百三十三噸、米百五噸、其他和蘭、英國、ビルマ、バルカン、香港、日本、支那、南阿等であつた。

蘭印キナ皮及キニーネ輸出 (一九四〇年)

	キナ皮	キニーネ
計	七二、四九五	一八〇、七七五
外	六四、九七三	一、三〇八
ジ	六四、五三二	一八九、四七五
ヤ	六八、七九六	一、三〇八
領	七六、〇九四	一八九、四七五

主要仕向國	キナ皮	主要仕向國	キノール*
和 蘭	一九、九三三	和 蘭	六、六二八
米 國	二五、八七三	英 國	四、七四三
佛 國	九、〇六六	バルカン	三、三〇〇
英 國	六、三六九	米 國	一〇、五二七
日 本	四七、八五一	南 阿	一、一三五
伊 太 利	三〇、一七五	英 印	一三、三三八
英 印	二九、四九〇	ビ ル マ	四、一三六
支 那	一、五八三	香 港	二、九五三
		日 本	二、九一七
			一〇一、三七一

59、クミス・クチン Koemis Koetjing.

腎臓病の利尿剤として用ひられるもので、蘭印からの一九三九年輸出はジャワから三萬六千噸、外領一萬三千噸、合計四萬九千噸となつてゐる。

60、コカ Coca.

麻醉劑コカインの原料とされるものである。ジャワでは主として東部及西部に農園があり、蘭印全體では一九三九年に於て農園七、道路に沿つたもの四十ヶ所、分散したもの三、合計五

十あり、其の栽培面積は七百五十四ha、コカ葉の收穫は十四萬三千二百九十噸であつた。世界に於けるコカ輸出は一九三八年に於て八百七十四噸、内ペルー二百九十九噸、ボリヴイア三百九十噸が大きなもので其他日本(含臺灣)百四十四噸、蘭印四十一噸(一九三九年百八十噸)となつてゐる。

蘭印の輸出は一九四〇年に於てはジャワのみで九十六噸、四萬盾(一九三九年は百八十噸、八萬盾)を示し、主要仕向先は英國へ五十噸、米國へ三十三噸、伊太利へ十噸等である。

61、デリス或はトバ根 Derris, Tuba.

植物の害蟲殺除劑として用ひられるもので、ジャワ、スマトラには農園が八十七あり、一九三九年の輸出は五百七十一噸(内ジャワ四百一噸)となつてゐる。

62、ジャラ Djarak.

ボジョネゴロ、スラカルタ、マデイウン、マラン、ブスキ、スマランの各州で栽られてをり、一九三九年の收穫面積は一萬ha餘、輸出は六千五百噸を示してゐる。云ふまでもなく下劑及高級潤滑油として用ひられる蓖麻で住民達は之を垣根等に植ゑて採集するものである。

十、二大輸出農産物

63、砂糖 Goera, Suiker, Sugar.

一九四〇年ジャワ糖生産量は百六十萬噸、領内消費三十四萬七千噸、輸出八十一萬四千噸で前年度持越を加へ、一九四一年初の在庫は九十一萬七千噸であつた。

蘭印に於ける甘蔗栽培はジャワに限られてをり、外領方面には栽られてゐない。ジャワに於ける甘蔗農園數は一九三九年に於て百二ヶ所。其の約半數五十六は東部ジャワにあり、中部ジャワ十七及ソロ、シヨクジャの王領地二十一が之に次ぎ、西部ジャワではチエリボン州のみで八園ある。生産量に於ても之に従ひ、東部ジャワが五四%、中部ジャワ一九%、兩王領地計一九%、西部ジャワ八%を占め、之に對する收穫面積は約九萬五千haであり、甘蔗收量は千三百萬噸（一ha當り、百三十七噸）砂糖生産量百五十六萬噸となつてゐる。

甘蔗の植付は挿木により、四月頃から開始され、十月頃に終る。纏て雨季に入り、急速に成長し、再び乾期に入つて成熟、約十三ヶ月で刈り取られ工場に運ばれる。従つて新糖の出廻りは四月下旬に始まり七、八、九月を最盛として十一月に終るのである。

蘭印に於ける糖業は和蘭人が来る以前既に支那人により行はれてゐたが、一六三七年東印度會社がバタビアに砂糖工場を創り、其の後、強制栽培及び強健種の作成等により大いに發展し、米西戦争、第一次歐洲大戦等の激動等を経て一九三三年販賣統制機關たる「ニフアス」の成立を見、政府管理の下に生産、販賣、輸出全般にわたり、強固な一貫統制を行ひ、市價の維持に努めてゐる。

蘭印輸出農産品中砂糖の占める地位は一九三三年までは、多年第一位にあつたが、其の後はコムが之に代り、一九三八年には第五位にまで下つてゐたが、一九三九年には第二位に挽回した。然るに四〇年には再び減少し、例年百萬噸以上のものが八十一萬噸に激減し、茲十年來の最低を示した。

輸出市場は年々浮動性を有し、殆んど全世界に及んでゐるが、茲數年間に就て見れば、亞洲向が約五〇%、歐洲向二五%、阿洲向一〇%と云つた見當である。

ジャワ糖主要仕向地 (單位千噸)

	一九四〇年	一九三九年
歐洲	三〇	二六
和蘭	一七	一六
英國	一四	一三
歐洲	三三	三二
和蘭	二六	二五
伊太利	一〇	一〇
亞利	一〇	一〇

蘭印農園ゴム栽培面積及生産量 (一九三三年)

	農園數	栽培面積 (ha)	生産量 (噸)	住民栽培面積 (ha)
計	二六六	六、五三七	一九、〇七四	七、三五六
外	五八	三、〇六六	七、二四七	一、〇四八
領	五八	三、五〇〇	一一、八二七	六、三二〇
ジャ	二六	一、九〇五	一、〇〇二	〇
ワ	二六	一、九〇五	一、〇〇二	〇

ゴムの生産は一九三四年以來ゴム國際生産並輸出制限協定により、世界的に統制され、市價を維持してゐたものであり、それまでの市價は次表の如く一九二五年一盾七五仙から、一九三二年八仙五厘まで甚しく高下してゐた。

蘭印ゴム市價推移 (單位盾、半斤建)

年	市價	年	市價	年	市價
一九二五年	一・七五	一九三一年	〇・二五	一九三七年	〇・七
二六〃	一・三三	三二〃	〇・八五	三八〃	〇・七
二七〃	〇・九	三三〃	〇・一一	三九〃	〇・三〇五
二八〃	〇・五五	三四〃	〇・二	四〇〃	〇
二九〃	〇・四	三五〃	〇・一八五		
三〇〃	〇・一〇五	三六〃	〇・二		

一九三九年に於ける蘭印ゴムの協定輸出基本量は六十四萬噸であり、之に對する國際制限率

は四一・三%、從て輸出割當量は三十七萬七千噸弱で之を農園十八萬九千七百噸、住民十八萬六千九百噸に割當てゐた。

蘭印に於けるゴム栽培は一九〇〇年頃ブラジルコーヒの勃興によりコーヒが不況となつた結果盛となつたものである。最初は各種のものが栽られたが產出量が少いので Hevea Brasiliensis 或は Para ゴム樹に集中され、今日ではヘヴィア・ゴムが大部分を占めてゐる。

蘭印からのゴム輸出は前述の如くであるが之を表示すれば次の如くである。

蘭印ゴム輸出 (統計番號七三一・二〇七六)

	一九四〇年	一九三九年
計	二、〇六四噸	七、三九五噸
外	四七、三三三噸	三〇、四四八噸
領	二、六四九噸	一、五五六噸
ジャ	五八、二七元	三、七九八噸
ワ	三、二二五噸	一、九四八噸

一九四〇年に於ける主要仕向國は米國が三十五萬六千噸で第一位にあり、總輸出量の六一%を占めてゐる。次位は新嘉坡の十三萬三千噸、英國三萬九千噸、日本二萬九千噸、伊太利八千噸、支那二千六百噸等であり、其他世界各國に輸出されてゐる。

主要國別輸出 (一九四〇年)

アメリカ	三、六五九	一、九七四	イギリス	三、九五五	三、八八八
伊太利	八四六	四九五	新嘉坡	一三、二八五	七六七
日本	二、八九二	一、七三三	支那	二、六三六	一、五三

世界に於けるゴムの輸出量は一九三九年に於て、百萬噸、内馬來から三十七萬七千噸、蘭印が三十七萬三千噸を占め、この兩國で全世界の七五%のゴムを輸出してゐる。其他の輸出國としては佛印の六萬五千噸、セイロンの六萬一千噸、泰の四萬一千噸、サラワクの二萬四千噸等が其の主要なものである。即ち、生産地は殆んど總て東亞に集中してゐる。

之に對して全世界の消費は一九四〇年に於て、百五萬噸、主要消費國は米國の六十二萬噸で約六〇%を占め、其他は英國が十五萬噸で十四%を占めてゐる。

二、鑛業

概説

蘭印の鑛産物中、世界市場に關係のあるものは石油、錫、ボーキサイトのみと稱してもよいのである。そしてそれだけで蘭印輸出品中、農産物に次いで的重要性を有してゐる。即ち一九四〇年蘭印輸出總額八億七千萬盾中、農産物が六億盾で六八%を占め、鑛産物は二億五千萬盾で約二九%を占めてゐるのである。

而して今次歐洲大戰以來石油、殊に錫は戰爭資材として急激に對米輸出の増加、従つて生産の増加を見たのである。

蘭印には石油、錫の外にボーキサイトの採掘が近年急激に増加し、その大部分は日本へ送られ、アルミニウムとされてゐるのであるが、其他にも石炭、鐵鑛、マンガン鑛、硫黃、磷

酸、金、銀、ダイヤモンド等を産し、之等は大部分國內消費に充てられてゐる。

尙未開發の儘残されてゐるものも多々あることゝ推察され、今後の開發が有望視されてゐる次第である。

蘭印に於ける鑛業に對する各國の投資額は次表の如くであるが、總額六億盾の内四億九千萬盾までが石油に投資されてをり、其他は石炭四千三百萬盾、錫三千四百萬盾、金銀二千萬盾等となつてゐる。之を國別に見ると、和蘭が三億六千萬盾、英國一億二千萬盾、米國一億一千萬盾、支那八十五萬盾、日本十八萬盾となつてゐる。

蘭印鑛業投資表 (萬盾)

總計	和蘭	英國	米國	支那	日本	日支總計	政府
石油	2,468	1,130	1,100	—	—	—	4,836
石炭	247	—	—	—	—	—	247
錫	175	—	—	—	—	—	175
金銀	143	—	—	—	—	—	143
其他	172	—	—	—	—	—	172
計	3,094	1,130	1,100	—	—	—	5,324
總計	—	—	—	—	—	—	4,836
政府	—	—	—	—	—	—	500
總計	—	—	—	—	—	—	4,836

(一九三七年臺灣總督府調)

以下左記の各項にわたつて略説することゝする。

石油、錫、ボーキサイト、石炭、鐵鑛、ニッケル鑛、マンガン鑛、アンチモニ鑛、銅、水銀鑛、雲母、石墨、硫黃、天然磷酸、アスファルト、沃度、金及銀、ダイヤモンド、尙其他蒼鉛、亞鉛鑛、鉛鑛、ウオルフラム、モリブデン鑛、クローム鐵鑛、白金等の産出があるが極めて僅少に過ぎない。

1、石油

蘭印石油の年産量は約八百萬噸で主としてスマトラ、ボルネオ方面から産出される。之を世界總産出量と比較すれば後表の如く、僅か二・八%に過ぎないが東亞のみの生産國に就いて見ると七二%を占め、最も重要な地位にある。

蘭印に於ける石油主要産地はスマトラのパレンバン、チャンピ地方であり、其他ボルネオのタラカン、バリツク、パパン及ジャワにも幾分産し、又ニューギニア方面でも試掘が行はれてゐる。即ち一九三九年の産出量に就いて見ればスマトラが六七%、ボルネオが二一%を占めてゐる。主要油田並に地方別産出量は次表の如くである。

蘭印に於ける石油會社は次記の三大會社が牛耳つてをり、其の資本系統は蘭、米、英によつて占められてゐる。即ち各國の投資は和蘭二億四千八百萬盾、英國一億二千四百萬盾、米國一億一千萬盾、日本十八萬盾等である。

蘭印三大石油會社

會社名	資本金	出資關係	創立	一九三八年 産額
バターフセ (B. P. M.) N. V. Bataafsche Petroleum Mij.	三億盾	和蘭六割 英國四割	一九〇七年	四、四萬噸
コロニアル (N. K. P. M.) N. V. Koloniale Petroleum Verkoop Mij.	二、四〇〇萬盾 (拂込一 千萬盾)	米國スタ ンダード 石油會社系 和蘭政府	一九三三年	二〇八萬噸
蘭印石油 N. V. Nederlandsch-Indisch Aardolie Mij.	一、五〇〇萬盾	和蘭政府 バターフセ 五割	一九三三年	一、三萬噸

又、製油所は次の如くである。

會社名	所在地	原油處理能力 (一日ペーレル)
B. P. M. (Pankalan Branden)	スマトラ東海岸州	一、〇〇〇
プラヂュー (Pladjoe)	パレンバン州	四、五〇〇
チエプー (Tjepoe)	ジャワ・レンバン州	一、〇〇〇

ウオノコロモ (Wonokromo)	スマラバヤ洲	一、五〇〇
ベリツクパパン (Balik Papan)	ボルネオ	三、〇〇〇
コロニアル (Soengei Gerong)	パレンバン	四、〇〇〇
カプアム (Kapoan)	ジャワ・レンバン州	五〇〇

之等製油所で生産されてゐる製品量は次の如くである。(單位噸)

原料	一九三七年	一九三八年
原油	七、一〇〇、〇〇〇	六、九、〇〇〇
製油原料として輸出	一、五、七、〇〇〇	一〇、九、〇〇〇
ベシシ	三、四、五、一〇〇	三、五、三、〇〇〇
ホワイト・スベリット	七、〇〇、〇〇〇	五、八、二、〇〇〇
燈油	一〇六、〇一〇	九三、二四八
殘滓、ソラル油及ディーゼル油	二七〇、六七〇	二、九、三、四八
潤滑油	三、三、三、七	二、五、三、八
バラフアイ	八、三、三、六	七、八、〇、八
アスファルト	二、一、三、三	二、四、六、三
インプレグネート油	八、四、〇	一、七、一、七
其他及損耗	三、九、二、八	四、〇、七、三
合計	七、八、五、三二	七、四、一、五五五

其の従業員及労働者は次の如くである。

	一九三七年	一九三八年	一九三九年
従業員	七〇	八六	一二三
歐人			二五
其他	七六	八六	一〇〇
労働者	一、六〇七	二、三三三	三、〇四九

蘭印の石油及同製品の輸出は一九四〇年に於て六百三十四萬噸、一億六千九百萬盾餘であり、蘭印輸出品中ゴムに次ぐ額を示してをり、總輸出額の三七%餘に上つてゐる。

主要仕向先は新嘉坡が第一位にあり、三千四百萬盾で二〇%を占めてゐる。次位は濠洲の千八百萬盾、支那六百萬盾、其他比律賓、馬來、米國、ニュージラント等世界各國に及んでゐる。

蘭印石油及同製品輸出

(統計番號三九一三〇)

年	外領	計	濠洲
一九四〇年	六六、一五七	一、七七一	一、八四四
一九三九年	八、一九九	三、四四	四、九〇
一九三八年	六四、三六六	一、六九六	四、〇〇
計	一、六〇七	一、五五五	一、六二〇

一九四〇年の主要仕向先は次の如くである。

品名	數量(噸)	價額(萬盾)
新嘉坡	三、八八	一、八四四
支那	六、六	四、九〇
馬來	四、五	四、〇〇
ニュージラント	一、一	一、六二〇
英印	二、九	三、三
埃及	一、〇	一、四七
佛印		
南阿		
英國		
米國		
比律賓		
濠洲		

品種別の輸出に就て見れば、ベンジン、モーター油、燃料油、燈油、パラフィン、潤滑油等であり、其の數字は次の如くである。

蘭印石油品種別輸出

(一九四〇年)

統計番號	品名	數量(噸)	價額(萬盾)
三九	原油	二、九	六、七
三九〇	燈油(バラ)	六、四	二〇、二
三九一	"(包裝)	一、七	一〇、〇
三九二	ベンジン(バラ)	一、五	八、三
三九三	"(包裝)	二、九	一、三
三九四	潤滑油	二、〇	一、四
三九七	パラフィン	八、一	一〇、六

三〇〇	バツ、チン、グ油	一、八三〇八	六〇
三〇〇	モーター油 (船舶用)	二五、元〇七	三〇九
三〇〇	〃 (其他)	二八、九六六	一九四〇
三〇一	燃料油 (船舶用、液體燃料)	一五、四三六	一九五
三〇二	〃 (タラカン原油)	三、六四四	四七
三〇三	〃 (其他、液體燃料)	八六、三〇四	一〇七
三〇四	〃 (タラカン原油)	六、三六六	八九

蘭印の石油に關する現状は大體以上の如くであるが、未だ全部が開發されてゐるのではなく、今後どれだけ油田が発見されるかは、從來政府が油田地區を伏せてをいた傾向が充分窺ひ得られる點から見て、多分の有望性があるものと思はれる。例へばニューギニア方面では石油會社が航空會社と契約して航空寫真による地圖を作成し、地形、地質を判斷し、油田の開発を計畫する等の事も行はれてゐた。

2、錫

蘭印に於ける錫の生産量は二萬八千噸で、バンカを主とし、ピリトン、シンケツ等にも産し、

馬來、ポリビアに次ぎ、世界第三位の錫生産國で一九三九年に於ては全世界生産量の一七%を占めてゐる。

蘭印錫生産高 (單位噸)

	一九三七年	一九三八年	一九三九年
バンカ政府開發所	二、三〇五	一、五五六	
ピリトン會社	一、三九一	八〇〇	
シンケツア會社	二〇三四	一三七三	
計	三、九三七〇	二、五五六	二、八九九

蘭印に於ては錫は酸化物、即ち錫石として採掘され、天然錫は無い。
 バンカ島の第一次鑛床にある錫鑛は殆んど處理を必要としない。
 沖積層の表層は約八十米あり、鑛層の八、九割は石英で殘部は錫石、粘土、貝殻、化石、ボーキサイト等である。錫鑛は露天掘又は堅坑から掘出され、溝の中で洗滌されて砂、粘土を流し去つて殘留せしめるのである。沖積層からの採掘には表土排除作業が最も費用を要する部分で、近來では機械化される傾向にある。
 労働者としては支那人が優秀であり、古來支那苦力が多く用ひられて來たが、近來はジャワ方面の過剩人口のはけ口としてスンダ人、ジャワ人をも使用してゐる。

錫従業員及労働者 (一九三八年)

	従業員		労働者 (支那人及住民)
	歐人	其他	
バンカ	一七三	三五六	一、六四四
ブリットン	一四	一九一	七三六
シンケツプ	四	二七	二〇九三
計	三七一	六八四	二、六〇三

バンカの錫山は政府が所有し、採掘、精錬も政府が行つてをり、ブリットン、シンケツプは協同鑛山會社が經營してゐるが、其の株の大半は政府が持つてゐる。従つて蘭印生産の八五%は政府の支配下にあり、重要な歳入財源となつてゐる。

埋藏量は豊富で數十萬噸に上り、バンカ錫は品位良好であるため、比較的生産費が安く、又製品は平均九九・九六%の純度があり、高價に賣れてゐる。

ブリットン、シンケツプの原鑛の一部は以前は和蘭に送られ精錬されてゐたが、戦争以來は馬來方面に送られ、ストレイト錫の形で市場に供給されてゐた。

錫の生産は一九三一年馬來、ボリビア、ニゼリア、蘭印間に「國際錫制限協定」が成立し其の後、シヤム、白領コンゴ、佛印、ポルトガル、コーンウォール等も加入して生産並に輸出割當を

行ひ、需給を調節し、市價の維持に努めてゐる。現行加盟國輸出基準割當は次の如くである。

	現在		新提案
	噸	(%)	
白領コンゴ	一、五〇五	(七・三%)	一、八〇〇 (七・八%)
ボリヴァイア	四、六〇七	(三二・二%)	四、〇〇〇 (二八・六%)
英領馬來	七、七三三	(三七・三%)	八、八〇〇 (三八・〇%)
蘭印	三、九〇五	(一八・九%)	五、一〇〇 (三六・一%)
ニゼリア	一、〇八〇	(五・三%)	一、四〇〇 (一〇・一%)
泰	一、八三三	(九・〇%)	一、〇〇〇 (七・五%)
計	二〇、九七〇	(一〇〇・〇%)	三三、一〇〇 (一〇〇・〇%)

この新提案が實現すれば、蘭印は馬來に次ぐ世界第二の錫生産國となるのである。又協定國の生産割當は一九二九年の實際生産高を基準として次の如く定められてゐる。

世界生産高		一八、五二八噸
馬來	六、九三六	一、〇四二
蘭印	三、五三〇	四、六三六
ニゼリア		
ボリビア		

一九三九年に於ける蘭印の國際生産割當は次記の如く、歐戰勃發と共に四五%から一二〇%に引上げられた。

一九三九年第一四半期	四五%	一九四〇年第一四半期	三〇%
"二"	四〇%	"二"	六〇%
"三"	四五% (110%)		
"四"	100%		

蘭印の錫輸出は一九四〇年に於て錫鑛三萬噸、三千六百萬盾及び錫(生)二萬噸、三千四百萬盾、兩者を合すれば七千萬盾でゴム、石油に次いで的重要輸出品である。錫鑛の主要仕向地はシンガポールが大部分でベナンへも出されてゐる。前年には和蘭が多く、英國へも積出されてゐた。生錫の仕向先は大部分が米國で其他は日、伊等であつた。即ち次表の如くである。

蘭印錫鑛及錫輸出

錫鑛 (統計番號三二八)		錫(生) (統計番號三二八)	
一九四〇年	二,九九九 萬盾	一九四〇年	二,〇九六 萬盾
ベナン	四七五	米國	一,四三〇
シンガポール	二,五二四	日本	四四八
		日	八〇〇
		伊太利	一,五〇〇
一九三九年	二,四〇六	一九三九年	一,二七三
オランダ	一,二六六	米國	五四三
			九〇七

錫の世界消費は一九三九年に於て十六萬五千七百噸で、内米國が首位の七萬噸、英國二萬七千六百噸、ドイツ一萬四千噸等を主としてゐる。而して今回の第二次歐洲大戰以來、米國の消費及貯蔵が急増したため、蘭印の錫は大部分が米國に向けられ、錫鑛をも米國に送り、精鍊する計畫を建てゝゐた。

3、ボーキサイト

蘭印一九四〇年の生産量は約二十七萬五千噸、輸出は二十八萬八千八百七十七噸、二百萬盾以上に上つた。蘭印のボーキサイトは一九三六年に一萬噸を産出して以來、急速な發展を見、世界生産の五―六%を占めるに至り、東亞の最重要生産國となつた。然も其の大部分は日本に輸出してゐるのである。

産出地はシンガポールの對岸のビンタン島で、蘭印ボーキサイト開發會社(NIBEM)によつて採掘され、埋藏量は一千萬乃至二千萬噸と見積られ、今後十年間は維持出来るものとされてゐる。又附近のコヤン、アンクートの兩島にも多量埋藏してゐる。尙西ボルネオにもあるが輸送關係で開發は困難視されてゐる。

ビンタン島産のボーキサイトは約二五%のアルミニウム含有率を有してゐる。

蘭印に於けるアルミニウム精錬工場はスマトラのアサハン川に大規模な水力發電所を設け其の電力を使用する計畫を建て、其の機械をスイスに注文してゐるが、今回の大戦で不可能となり、更に米國へ注文替してゐた模様である。

4、石 炭

蘭印一九四〇年の石炭採掘量は約二百萬噸でスマトラ、ボルネオを主とし、次表の如くである。

政府	コンセツション	産出量
(スマトラの二炭田)		
(ウムピリン及フキツト・アサム)		一四三、四五一噸

大部分をK・P・M船會社に供給してゐる
マニラ、香港、シンガポールに輸出

パラバタン會社	二八、六〇〇
東ボルネオ會社	一六、七三二
ロア・ブキト	六、四〇〇
ロア・テボ	二、〇三三
トアヤノン	一、四六〇
ボルネオ諸炭山	三、六八六
合 計	二〇、九四三
一九三九年 計	一七、〇六三

之等炭山の一九三八年に於ける従業員數は歐人一六九、其他三三八、労働者は住民及支那人を合して七六八四人であつた。

産出石炭の大部分は領内の鐵道、工業、船舶等に消費され、殘部がシンガポール、ペナン、バンコック、マニラ、香港、上海等に輸出されてゐる。

蘭印炭は一般に燃焼性に不足してゐる爲、コークス炭は無く、ガス工場用炭は濠洲からの輸入に仰いでゐる。即ち一九三九年に於ては次の如き需給關係にある。

生 産	一七五萬噸	國 内 消 費	一二五萬噸
輸 出	五〇	輸 入(ガス用)	二〇

ウムピリン(Oemblin)炭の生産費はFOBエンマハーフェンで、一九三九年に於て噸當り

六盾九六仙で其の内譯は次の如くである。

採掘費	二・五三	輸送及船積費	三・二三
利息及減價償却	一・二〇	計	六・九六

5、鐵 鑛

ボルネオ、セレベスに數億噸の鐵鑛埋藏量を有してゐる。品位は四五—五〇%で少量のクロムとニッケルをも含んでゐる。然し蘭印に於ける鐵鑛は精鍊に要する石炭の關係上か、尙ほ未開發と稱してもよいのである。鐵山としては次の如きが擧げられてゐる。

岩滓鑛床	スンガイ・ラシ (スマトラのバダン高地)	少量の磁鐵鑛
	ブキツト・スリロ (スマトラのパレンバン地方)	磁鐵鑛とチタン鐵鑛の存在判明
接觸鑛床	ローン地方 (スマトラのアチエ州)	綠石、安山岩の接觸
	タバトアン附近	花崗岩の接觸
	ムアラ・シボンギ (タバヌリ州)	同、赤鐵鑛
	グヌン・ブシ (バダン高地のバト・サンカル附近)	同

バト・ムンジュルウル (シブムブム連山中)	タイムブルン	パシリアン (オムピリン河畔)	ブキツ・ラジャ (ジャンピートバレンバンの州境)	ブキツ・ランガル (ランボン州)	アエル・ブシ河 (ボルネオ南東部州)	グヌン・ダンク (スンゲイカロン川沿)	スカロ (中央セレベスのランテ・パオ附近)	ソロ・タリムバンガン (中央セレベスのランテ・パオ附近)	グヌン・スルマル (ピリトン島)	パト・ブシ (同)	アラワ (バンカ島のコバ)	スタニン及スモグ (ピンタン島)	タルン・リガウ (アチエ州西海岸チャラン地方)	クバ島	ククサン山 (ボルネオ南東部州)
		ザクロ石中に於ける殘渣硫化鐵鑛、磁鐵鑛	磁鐵鑛及チタン鐵鑛が數百萬噸ありと見られてゐる		住民より採掘され精鍊されてゐる		鐵鑛あり	厚さ二—五米の磁鐵鑛			鐵鑛脈の露頭がある				

ス ク プ 島
 フェルベーク山 (中部セレベス)
 モルツケンのテルナテ島、オビ島
 バニユマス及バゲレン (ジャワの南海岸)
 砂鐵のコンセツション
 が下附されてゐる

數千萬噸の量ありと推
 算されてゐる

6、ニツケル 鑛

中部及東南セレベス (マタノ及トウテイ兩湖水附近) では古くから鐵礬土のニツケル鑛があつたが、品位は二〇%以下で埋藏量も百萬噸位の少量のものである。一九三八年に二萬噸を獨逸のクルツプ商會に試送して、其の翌年には東ボルネオ會社が生産を開始した。其の品位は水分十五%に乾燥して四%Niである。一九三九年の生産量は二萬三千五百噸であつた。最近セレベスのマリリ附近ポニ灣北東地區が開發されてゐる事が報じられてゐる。

7、マンガ 鑛

蘭印マンガ 鑛の生産は少量ではあるが、一九三九年に一萬二千噸を産出してゐる。其の鑛

區は西部ジャワのタシクマラヤ南方及び中部ジャワのジョクジャ西方の山脈である。

採掘の大部分は N. V. Algemeene Industriische Mijnbouwen Exploitatie Mij. (A. I. M. E.) によつて行はれてをり、クリリパン、ブンゲン、ブンガツシー、カリスバット等のコンセツションを有してゐる。

其他スマトラ、ボルネオ、チモール島等に少量産出し、西部ジャワのブリアンゲル州東部に

も相當埋藏されてゐる模様である。
 最も品位の高い原鑛は約九〇%の MnO_2 のものがあつた。その用途は化學工業用並に乾電池用である。値段は MnO_2 五〇—五五%物、適當り四五—五〇盾、同七〇—九〇%物、七五—一〇盾 (十六年四月一日) である。

8、アンチモ 二

アンチモニ及硫黃との化合物輝安鑛として産出を見受けるが少量に過ぎず、第二次鑛床たる川砂中にあるのを普通とする。

産出地はバイテンゾルフの川砂中、ナトウナ群島中のスラサン島、ボルネオ西部州サラワク

との國境附近の小川等である。
火藥原料として用ひられるので最近バイテンゾルフ西方の調査が開始された。

9、銅

蘭印に於ては銅又は銅鑛の産出は極めて少量であるが銅産地は次の如くである。
スマトラではタパヌリ州ムアラシボンギ、西海岸州フォルト・ファン・デル・カペレ附近の
グヌン・バト・プシ、シブムブム連山のティムブルン及びバト・ムンジユール。パレンバン州
スンゲイ・トウボ附近のラワス、ランボン州スバラウ等。

ジャワではチエリボン州サワル火山、マデイオン州ジャンロット、パチチャン、クシカン等。
ボルネオでは西ボルネオ州モントラード附近。

セレベスでは北部セレベス。

チモール島では古來銅の島として有名であつたが、之は誇大に傳へられてゐたものである。

10、水 銀

大した量は無いが次の様な處に發見されてゐる。

スマトラ西海岸州ではピキット・ソンボンの麓、リンケン川及其の支流。ジャムビー州ムリブ
ン川、スンガイ・サラツ川等。

ボルネオ西部州ではサムバス川上流、シヤカム川上流、マンドール川、ミル川支流及びスキ
リ川等。

11、雲 母

モルツケンのアムブルサン附近バンガイ群島中のペラン島南岸に於て住民により採掘されて
ゐる。

12、石 綿

セレベスのボニ灣パダマラン群島中の最大島の西岸、タンデヨン・ブル・リマ附近の蛇紋石
中薄い脈絡が發見されてゐるに過ぎない。

13、石 墨

蘭印に於ては黒鉛片岩として存在してゐるが、重要性を有してゐない。存在地はパダン高地

ピナガハン附近のスンゲイ・クムルー、ブンダハラ島、アルー島、リンガ島、ボルネオ西部トウング・バルー附近のモングー・バルー等である。

14、硫 黄

一九三九年蘭印の硫黄産出は一萬七千五百七十吨でバンドン附近のカワ・ブテイ火山の硫黄滲出土から採取されたものである。西部ジャワにあるテラガ・ボダスも近い将来開發されるであらう。

セレベスのミナハサでも小規模な採掘が行はれ、一九三九年に二千三十九吨の産出を見た。五〇―七〇%の硫黄を含む火山硫黄滲出土は約百萬吨あり、貧弱な硫黄滲出物をフロイイテイシヨン法で集化することも可能である。

最近ジャワでは硫安工場が計畫されてゐるが、之が實現すれば國內需要は年三萬吨を必要とし、現在調査の存在量では二十年の自給量を有してゐることとなる。

一九四〇年ジャワの硫黄輸出は三千一百三十一吨、十九萬盾で主要仕向先は英印、南阿、ニューカレドニア等であつたが、逆に精油用硫酸製造のため、一九三九年には一千八百三十四吨の硫黄を輸入してゐる。

15、天然 磷 酸

一九三九年蘭印の磷酸産出は一萬八千七百五十吨、三八年は三萬三千一百十三吨であつた。ジャワに於ける磷酸カルシウム埋藏量は約五十萬吨で蘭印に於ての肥料としての年需要三萬―三萬五千吨に對し、約十五―二十年を賄ひ得るものである。

産出地はチエリボン、クロモン山中の石灰石中及びニューギニアのスカウテン群島の北西部アヤウイ等であり、グアノ層としてはセレベスのカピア島にある。

16、アスファルト

スマトラ東海岸州ランカット及びパレンバン州のムアラ・エニム等が採掘されてゐるが、最近ではパレンバン州北部スンゲイ・バントウン川沿ひのタンジョン・ラウト附近の品位二〇―四〇%、埋藏量三萬四千吨見當のものが着手されてゐる。

セレベス東南半島端のブートン島でも産出してゐるが、蘭印最大の埋藏量を有すると云はれてをり、一九三八年には六千二百四十四吨を産出してゐる。

17、沃 度

蘭印に於ては沃度は泉水中に沃度ナトリウム、沃度マグネシウム、又稀に沃度カリウムとして存在してゐる。

所在地としてはチエリボン、スマラン、スラバヤの三州約三百軒の火山脈北側の新三紀層の泥灰石中よりの泉には何れも沃度を含んでゐる。即ちスマラン州アツシナン、スラバヤ州のグヌン・クンデン、グヌン・ワトウ、スマラン州デマク等が之である。

18、金 及 銀

蘭印一九三九年の金産量は二千五百二十五盾、三八年には二千三百七十三盾、四百八十一萬盾を産してゐる。

産地は主としてスマトラで其他メナド、ボルネオにも産出してゐる。

又最近スマトラのピナン附近アサム・クンパンにグヌン・ベチナ、グヌン・ヂヤンタンの兩山が金山としてポートルランド・セメント會社の手によつて開發準備中と報ぜられてゐる。

蘭印の採金は古來各地方で行はれ、東印度會社も着手してゐた事がある。一八九〇年から一九〇〇年頃にはゴールド・ラッシュを現出し、十年間に約百五十の會社が設立されたが、産金

を見たものは十一社に過ぎない。

一九三九年蘭印の銀産量は一萬九千二百二十三盾、三八年には一萬八千十三盾、四十四萬三千八百五十盾であつた。

産地は大部分スマトラであり、メナド、ボルネオにも少量の産出があつた。

蘭印金銀生産 (一九三八年)

採掘者	金		銀		従業員及労働者數		
	生産量 (盾)	生産額	生産量 (盾)	生産額	従業員	其他	労働者 (住民及 支那人)
スマトラ							
ルジャン・ルボン	二九二・一五	五九、四八五	一六二・三	三、九七六	三	四	一四九六
シマ	一三三・一〇	二四八、七二六	一、五〇三・一	三六、九八九	四	二七	一五〇三
ベンカリス	三五・三〇	六四、一三〇	—	—	二	二三	一五三
グヌン・アルム	一七八・七一	三六、三四八	二七五・五	三、一四七	八	二	三〇九
ブラングシ	一・〇〇	一〇四	—	—	三	二	一〇四
ムアラン・シポンギ	三五・七三	四五、九〇二	一〇〇・〇	二四三	一四	二六	五二六
メナド							
メナド鑛業會社	一五・二六	三、一〇四	五・二	一三八	一	三	一三七

ボルネオ					
・パングダン	一五・七五	三、二〇四	四・八	二八	一三
スルバツ	五・八七	一、一九四	—	—	一
	一・五五	三、一〇四	—	—	—
住民及支那人	三〇・三一	四、三九〇	—	—	不明
ブドツ・スランタツ	六八・五六	一三、九四三	三・五	六	二
計	三七三・三〇	四八〇、九三〇	一、八〇三・四	四四、三八五〇	充
一九三七年計	一七三・六〇	三四八、五五二	一、五五四・七	三九、八二〇〇	
一九三六年計	三三九・八〇	三三八、七三九	二、〇六〇・八	四五、九〇〇三	
一九三五年計	三三三・三三	三四八、八〇五			

19、ダイヤモンド

ボルネオ西部及び南東部には古くからダイヤモンドを産し、十八世紀の後半にはバタビアに送られ、著名な市場であつた。

一九三八年に於ける採掘量は千五百七十九カラット、三萬八千四百七十一盾であつた。主要産床はボルネオ南東部のスンゲイスルアン、リアム・ギリ、リアム・カナン及び西部の

スンゲイ・ランダック、スンゲイ・シカヤム等であり、諸河川の洪水線上約八—一〇米の高位にある礫石地帯である。

ボルネオ・ダイヤは普通は八面體の結晶であるが、時には他物の面と結合したものの、或は稀には稜が圓くなつたものもある。色澤は白が産出の約三〇%を占め、其の他はシトロン様黄色、黄褐、青、淡緑、赤等である。赤、青のものは産出が稀有なため高價であり、其他着色物は廉價である。大きさは一カラット以下を普通とし、二カラットに達するものは稀である。

採集には支那人及び住民が従事してをり、アラブ人等が買集めてバンジャルマシン等で研磨してゐる。又バタビアにも和蘭人の研磨工場がある。歐人側の採掘は一八八一年グヌン・ラワツ・コンセツションが下附され、チェンパカからランガンに至る地域を事業地としてゐたが、二十世紀初期に撤回され、現在ではランチャ・シラン・コンセツションが四ヶ所ある。

ボルネオ以外ではスマトラ西海岸州バンキナンの南方シアトウ川のリマ・コタに發見された事がある。

三、工業

(蘭印に於ける工業とバタビアに於ける工場)

一、蘭印工業の現勢概略

蘭印の工業品年産額は一九三〇年に於て約二億六千二百萬盾と算定され、之から推算して一九四〇年には約四億盾と云はれてゐる。

工場法下にある工場数は一九三〇年末に於て五千三百八十五之に對し、一九三九年末には七千一百九十二となつてをり、茲十年間に三三・五%の増加率を示してゐる。そして一九三七年以來の増加率が特に目立つてゐる。(第一表参照)

右の内には農園工場即ち精米、砂糖、茶、ゴム、コーヒ、タバコカ、纖維等の工場が二千三百二十三あり、總數の三二%を占めてゐて、之が蘭印輸出物産の精製を行つてゐるのである。

其他工場としては排水、揚水のポンプ・ステーションが五百二、發電所が四百五十八、シネ

マ三百二十八、印刷二百四十、製氷二百八、製油二百六、機械修繕二百二、製材百四十八、清涼水百四十一、カボック壓縮百六、其外織布、機械、セメント、製紙、煙草、花火、酸素、コ―ヒ培工場等があるが、所謂近代工業方面に於ては未だ立遅れの状態にある事は否み得ない。殊に最近の様に戦時經濟下にあつては從來の如く工業生産品の大部分を國外に仰ぐと云ふ様な事は大きな國防上の障害と見られ、近來蘭印の工業化問題が特に喧傳されてゐた次第である。(第二表参照)

蘭印の工業化問題は後に述べることとし、現實に蘭印が製造してゐる工産品年産概略と其の使用原料とを示すと第三表の如くである。

【第一表】 蘭印工場數 (工場法下にあるもの)(各年末現在)

年次	ジャワ及マツラ	外領	計
一九三〇	三四三五	一九五七	五三八五
一九三一	三五二二	二二五九	五七八一
一九三二	三五五三	三三四三	五八九六
一九三三	三六四八	三三八三	五九三一
一九三四	三六四八	三三三九	五八八七
一九三五	三七一〇	二九四四	五九〇四
一九三六	三八〇二	一九五五	五七五六

水	108	108	100	10	5	6	11	1
酸	4	3	1	1	1	1	1	1
其	190	110	76	181	6	16	29	33
他	79	55	261	57	5	5	9	7
計	79	55	261	57	5	5	9	7

(INDISCH VERSLAG 1940" に據る)

【第三表】 蘭印工業生産量並消費原料 (一九三九年) (Industrie in N. I.)

業種	生産	消費原料
1 罐詰業	罐詰 九八噸	野菜、肉、魚、米、馬鈴薯等 七九噸
2 タピオカ	粗粉三、七六二トン、AA AA、粉九、九七七トン、ガフレク粉四、九三〇トン	カツサバ根 五、七二二トン
3 精米	精米六、〇三二トン、玄米五、〇四三トン	ガフレク粉 五、五五三トン
4 植物油	椰子油一七、七五三トン、落花生油一〇、八六六トン、椰子精二〇、七五二トン、カツボツク油 三二〇トン	粗米 一四、一〇九トン、稻四、五三〇トン
5 パーム油	パーム油 二四、四〇八トン、核 五、四二〇トン	ココラ 三〇、三六三トン、花生四、五九二トン、カボツク種子 三、七二七トン
6 石鹼	固石鹼一、三六三トン、柔石鹼一、六五五トン	パーム果 二〇、九二五トン
		パーム油 三三九トン、椰子油 三三三トン、苛性曹達 二四〇五トン、樹脂 一三九トン

7 花火	十瓦以上ノモノ 二五三萬個、十瓦以下六百萬個、美術花火 九、八千個	紙及厚紙 二九八トン、硝酸鹽 三〇八トン、アルミニウム及マグネシウム 九トン、硫黄 一トン、木炭 四トン
8 ゴム製品	家庭用及工業用品	固ゴム 三九三トン、硫化材料 二九四トン、薬品 二七二トン
9 製材	チーク材…挽材三、二八七m ³ 、製材二〇二m ³ 野生材…挽材九、〇五七m ³ 、製材四、六七m ³	チーク材…未工作材五、〇八八m ³ 挽材二、八四三m ³ 野生材…未工作材一六、三三六m ³ 、挽材 七、二四m ³
10 家具	チーク材…椅子、床几、机等 四、六〇三厨 野生材…櫛、器物、箱(ベニヤ箱を含む) 三三、九萬個	未工作チーク材 八二m ³ 野生材…未工作材四、四三〇m ³ 、挽材一、五八三m ³
11 箱	椅子、床几、机等及別掲なきもの	チーク材…未工作材一五m ³ 、野生材…未工作材一八m ³ 、挽材 四二〇m ³
12 其他木製品		木質文具及印刷紙 一七三トン、新聞紙 四七二トン、厚紙 三三二トン、ブリキ 一〇三千枚
13 活版	紙印刷…普通商業印刷 三、四七千リム、新聞 三、八四三千m ² サンスフィン、普通商業印刷 七、七三三千m ² サンスフィン、アニリン印刷 八、三七千m ² サンスフィン	(20" x 28")

14	靴	皮	木皮靴…底革三枚、スプリ エクス靴…底革三枚、スプリ ット皮三枚、ジャワボツクスハ クローム靴…シエフロ皮三枚、其他 革二枚	靴用木皮一七三トン、靴エクス 脂五トン、クローム靴二〇〇トン、 牛皮三三枚、山羊皮二七枚、 羊皮三三枚
15	織	布	織物…綿、未晒、晒、染、 捺染二五三萬米、服地及ビヤマ 地(ポプリンを含む)四六五萬米、 サロン(カイン、パンチヤン)等一 毛三萬枚、サロン(燃糸)三三三 萬枚	織物…綿、未晒(染を除く) 二八八トン、スフ及半スフ 九五トン、人絹及半人絹九四トン、 藥品七三トン
16	靴		革靴五千足、サンダル及スリッ パ五五千足	木皮靴…底革九千枚、ジャワ ボツクス四千枚、裏革一萬枚、エ ツキス靴、スプリット革三六千枚
17	發電	電	三五・二百萬 KWh	
18	舗装	舗装	道路舗装アスファルト三、三三六 トン	石油アスファルト製品三、三六二 トン
19	瓦		機械型、瓦一八・七百萬個	粘土三、七〇六トン、砂二、二七七トン
20	硝子		硝子瓶 三萬個	硝子破片 二五八トン
21	硝子		非市場向石油罐六・三百萬個、ベ ンシン罐五・二百萬個	鐵及銅 三二八トン 白ブリキ板三・三萬枚 20×28、錫一九〇トン
22	ブリ			

23	ドラム		流動體用ドラム 四九千個	鐵板一、三三二トン
24	機械		機械及同部分品…工場所 三六 トン 木…鐵橋 二五四トン、電 物八三三トン、鐵道用五五トン	鐵及銅 三、八〇八トン、銅六六四トン、 酸素 四六千m ³ 、塗料 一三六トン
25	機械用工具		工場用機械及部分品 三九トン	鐵鋼 三、八五三トン、銅 五八〇トン、 塗料 二八五トン、カーバイト七九 トン、電線四〇千米、ブリキ二・五 百萬枚
26	電氣用工具		變壓器及蓄電池	鐵鋼 三六トン、銅 九トン、鉛 七〇・七 トン
27	船舶用工具		モーターボート及プラウ	鐵鋼 三六三トン、銅 一六九トン、 カーバイト 二六トン、酸素 一〇七 千m ³
28	鐵道、電車工具		鐵道用品 六五トン	鐵鋼 三三七トン、銅 三三〇トン、 カーバイト 二五トン、酸素 一〇三 千m ³ 、塗料 九六トン
29	自動車工具		(修繕を除く)	鐵鋼 六トン

次に工場の分布状態に就いて見れば第四表に示す如く、全工場数は二千五百四十四で内六五
%の一千六百六十九はジャワにある。更にジャワを西部、中部、東部に分けると西部が四三%
東部が三一%、中部が二六%となつてゐて、蘭印では西部ジャワが最も工業が盛であると云ひ

得る。然し、ジャワは中央に山脈がある關係上鐵道輸送費が高くつく爲集中的に工場が作られず、各地に分散する傾向がある。

工業従業員は十七萬二千餘人、内十四萬が男、三萬二千が女となつてゐる。又之を人種別に就いて見れば東印度人が九〇・五%、支那人及其他東洋人六・九%、歐洲人二・六%となつてゐる。従業員の最も多い工場は織布工場で三萬七千人餘、次位は精米所の二萬八千六百人、活版印刷工場一萬四千三百人、タビオカ工場の一萬九千九百人、機械用工具工場の一萬三千七百人、機械工場九千人、發電所八千人、鐵道用工具工場七千人、植物油工場六千八百人、製材、パーム油の夫々五千人等の順位となつてゐる。

勞賃の年計は約三千八百萬盾、内機械用工具工場が五百四十一萬盾、發電所五百十三萬盾、活版印刷所五百四盾、精米所三百八十七萬盾、機械工場二百九十一萬盾、鐵道用工具工場二百八十二萬盾、織布工場二百五十六萬盾、船舶用工具二百四十四萬盾、パーム油工場百三十二萬盾、植物油工場百二十五萬盾、タビオカ工場百八萬盾等の順位にあり、之により其の工業の規模を窺ひ得られる。

一人一ヶ月分の勞賃平均は十八盾三十一仙、最高は發電所の五十盾八二仙、最低は花火工場の四盾一仙であるが、之は季節的操業の爲と思はれ。織布工場は五盾七十二仙となつてゐる。

【第四表】 蘭印業種別主要工場並従業員數（一九四〇年一月一日現在）(Industrie in N. I.)

業種	工場				外領總計
	西	中	東	計	
罐詰	二	一	三	五	一
タバコ	一三	七	七	二九	一
精米	二九	一〇	一六	五五	五五
植物油	九	六	三	一八	一七
パーム油	二	一	一	四	三元
石油	二	一	一	四	三元
石灰	四	一	五	一〇	一三
花火	五	八	七	二〇	二〇
ゴム製品	五	一	三	九	一三
製材	七	五	一	一三	一五
家具	三	三	一	七	一〇
箱樽	九	一	五	一五	一九
其他木製品	一	一	八	一〇	一〇
活版	八	七	七	二二	二六

業種	従業員數		支	勞賃
	計	男		
籾詰	三二六	九二	七・一%	六・一
タバコ	一、三七一	九〇七	九・五%	一〇七・五
精米	二、八六八	二、二九四	〇・三	三六六
植物油	六七八	六〇九	一・〇	一四・五
植物油	五〇二	四六五	一・八	一三・八
石油	一七四	九三	八・八	一・一
石灰	三六九	一六八	九・六	一・七
花火	一四三	一三六	五・二	二・五
ゴム製材	五八三	五七九	一・六	八・一
製材	三九七	三九一	四・三	一・〇
家具	一九三	一八五	一・三	三・四
箱櫃	二〇六	二〇五	九・七	一・〇
其他木製品	一、四三九	一、三九三	四・二	三・〇
活版	一〇一	一〇〇	五・四	二・九
鞆皮	一〇一	一〇〇	八・六	一・四
織布	三、七四四	二、三二四	四・三	三・七

業種	従業員數		支	勞賃
	計	男		
籾皮	二〇	四	一・六	〇・三
織布	五	三	一・三	一・三
靴	四	三	一・九	一・二
電力	一八	七	三・〇	一・五
アスファルト舗装	一	一	三・〇	一・八
瓦	五	三	二・二	一・四
硝子	二	一	二・二	一・四
鑄鐵	一	一	三・五	一・四
鋸	一	一	五・五	一・四
ブキ	一〇	四	二・七	一・七
ドリ	一	一	一・七	一・四
機械	三	二	三・〇	一・八
機械用具	三	二	二・五	一・六
電氣用具	六	一	七・七	二・二
船舶用具	三	二	一・八	一・〇
鐵道用具	三	二	八・八	二・〇
自動車用具	八	四	九・九	二・七
計	七〇	四三	一、六六九	八七・五

靴	133	122	87	37	86.5	98	23	13.5
電	847	847	—	218	83.5	47	527	50.8
アスファルト舗装	240	240	—	67	93.3	—	63	2.5
瓦	173	135	37	16	95.8	26	263	21.8
硝子	89	75	14	5.9	87.1	70	103	10.5
鑄鐵	59	59	—	0.5	86.1	13.4	89	16.9
ブリキ	197	278	19	2.8	95.5	17	354	19.7
ドラム	251	250	—	3.6	92.0	4.4	104	34.5
機械	905	876	元	3.6	88.7	7.7	292	27.0
機械用工具	373	1,376	—	4.1	82.4	13.5	542	33.6
電氣用工具	66	64	—	7.4	87.3	5.3	296	40.7
船舶用工具	433	497	6	4.8	83.1	13.1	228	40.1
鐵道用工具	693	691	2	4.7	92.4	2.9	283	33.6
自動車用工具	138	133	5	6.7	79.4	13.9	54	39.6
計	17,208	15,013	3,195	26	90.5	69	3,737	18.3

(「INDUSTRIE in Nederlandsch-Indië」に據る)

二、蘭印工業化問題

蘭印は天恵豊かな農業國であり、三百年來和蘭の寶庫として重要視されて來たのであるが、人口の増加と農産物市價の激變、殊に一九二九年不況の深刻化以來近代國家としての工業化を並行せしめる政策が採られた。即ち

- 一、關稅政策
 - 原料品に對する輸入税免除
 - 完成品、加工品に對する輸入税引上
 - 一、通商政策
 - 輸入制限
 - 一、工業政策
 - 價格並に販路を保證する營業制限
- 等が之であり。一、家内工業。二、機械化せぬ小工業。三、一部機械化の小工業。四、機械化中工業。五、高度機械化大工業の順序を以て發展せしめる方針をとつた。而してこの事は織布工業に於て大體の成功例を見せてゐる。
- 斯くの如くして従來は領内既存工業保護助長並に本國工業を壓迫せぬ程度の新工業を興し、外國品輸入を防遏して來たのである。

然るに最近の工業化問題は更に國防性を加味されて一層眞剣な工業自給が目指されるに至つた。

一九四一年三月、蘭印政府は國民參議會に經濟省の工業助成費として一千萬七千九百三十盾の追加豫算を提出し、四月無投票を以て可決を見た。之によると總經費は五千萬盾で、その内四千萬盾は一般民間の投資によることとし、一千萬盾は前記政府の補助により、第五表の如く計畫されたものである。而して其の内には既に相當進工してゐるものもあるが、中には相當の困難を伴ふものもある様子である。

【第五表】 蘭印工業化計畫

業種	經費豫算	摘 要
アルミニウム	二五〇萬盾	スマトラ、アサハン河のウイルヘルミナ瀑布を利用して水力發電により、ボーキサイトより製造せんとするもので蘭印アルミニウム工業會社とピリトン錫會社（政府投資會社）との共同經營である。
鐵 鋼	三〇〇萬盾	年約三、四萬噸と見積られてゐる領内屑鐵の熔合純化により鋼を再製せんとするもので熔鑛爐は米國ブローケン・ヒル會社で起案されてをり、機械類は技師の濠洲派遣により援助さ

れる豫定。

原料は領内で入手し得られ、チエプー石油工場の油田噴出ガスを利用、B・P・Mの資本を以て年産五萬五千噸の計畫。之により、農民への肥料は勿論、硝酸、彈藥、其他爆發製造に要する強性硫酸の同時生産も可能となる。

原料は領内で入手出来、年産一萬五千噸の計畫、本品は石鹼、石油、アルミニウム其他工業の原料であり、又其の副産物たる鹽素は國防目的及織布、製紙業にとり重要なものである。更に之を基礎とし、上記硫酸と共に各種藥品の原料となるものである。

上記藥品の包装用として硝子器を必要とし、又ビール瓶等の自給をも目指してゐる。原料はトバンの海濱砂を用ひる。

現在蘭印には製紙工場が二つある。この外にセルローズ及包裝紙製造工場設立の餘地があり同時に人絹原料として輸出の可能性もある。

領内には多量の雜木材を産出し、之を利用してベニヤ板及器具材を製造せんとするものである。因に農産物、茶、ゴム等の輸出包装に用ひられてゐるベニヤ箱は二五%のみが領内生

硫 安 七〇萬盾

苛性曹達 六〇萬盾

硝 子 二〇萬盾

木材パルプ、製紙 七〇萬盾

器具、製材

紡績、織布 一五萬盾

産である。

織布業が異状な發達を遂げたのに拘らず、紡績業は跛行の狀態であり、之を至急矯正する爲デマク土人綿處理の紡績工場及之を毛布、其他に加工する織布工場を設立せんとするもので、既に八千錘の据付を終つたと報じられてゐる。尙この外にジャワ織布工場テガル紡績工場の擴張及パスルアン、ボジヨネゴロ附近に新織布工場が計畫されてゐる。

次に蘭印工業品の自給率即ち全消費に對する領内生産の割合は次の如く、政府から發表されてゐる。

【第六表】 蘭印工業自給率 (%)

業種	一九三六年	一九三九年	業種	一九三六年	一九三九年
ビスケット	四七	五三	人造タバタ	四〇	四六
糖果	六〇	六七	葉卷煙草	八〇	八四
紙卷煙草	六三	六六	綿帶	三三	四六
硫黄	三三	三〇	綠礬	三〇	三三
塗料	七五	八五	洗濯石鹼	三三	三九
アスベスト板	一六	二三	硝子	九	三

ベニヤ板	六	三	鞣革	七	七
靴	六	五	其他皮革	七	七
傘	六	六	紙	七	三
鐵鍋	六	六	自轉車	三	三
乾電池	六	六	煙草用ライター	六	三
織布	六	三			

尙参考として現在營業制限令の適用されてゐる業種を示せば次の如くである。

印刷業 (一九三五年)	倉庫業 (一九三五年)
紙捲煙草工場 (一九三五年)	金屬鑄造業 (一九三五年)
製氷工場 (一九三五年)	ゴム乾燥場 (一九四〇年)
ゴム再生業 (一九四〇年)	精米所 (一九四〇年)
機業 (織布、紡績、メリヤス、捺染) (一九四〇年)	

三、バタビアに於ける工場

一九三六年調のバタビア工場数は四百八十六で内大規模工場が百四十一、中六十三、小二百八十二となつてゐる。最も多いものはバチツクの百三十七、以下活版印刷の四十八、シロップ

二十九、鐵板二十、醬油十九、寢臺十五、石鹼十五、清涼水十四等の順位にあり、其他自動車組立、造船、乾電池、硝子、皮革、ビール、ペイント、酸素、タイル、ドラム等の工場もある。詳細は第七表によられたし。

又第二表によればバタビア州の工場法下にある工場数は一九三九年末に於て五百七十六で全蘭印の八%を占め、之を其他諸州と比較すればスマトラ東海岸州の六百七十九、ブリアンガン州の六百五十五、に次ぎ第三位にあり、バイテンゾルフ州の四百九十三、スラバヤの四百九十二が之に次いでゐる。

【第七表】 バタビアに於ける業種別工場数

業種	工場数		
	大	中	小
1 食料品			
1 ビスケット	—	—	—
2 糖菓及チョコレート	—	—	—
3 清涼水	—	—	—
4 シロップ	—	—	—
5 ビール	—	—	—
6 アラク酒	—	—	—

業種	工場数		
	大	中	小
7 醬油	—	—	—
8 麵類	—	—	—
9 製粉	—	—	—
10 水	—	—	—
11 乳	—	—	—
12 精製	—	—	—
13 煎餅	—	—	—
14 煙草	—	—	—
15 鹽漬	—	—	—
16 椰子油	—	—	—
17 料理油	—	—	—
18 石鹼	—	—	—
19 蠟燭	—	—	—
20 インク及糊	—	—	—
21 ラッカー、ペイント	—	—	—

51	50	49	48	47	46	45	44	43	42	Ⅶ	41	40	39	Ⅵ	38	37
ラ	ド	鋼	金	寢	鐵	鋼	眞	造	自	機	金	撞	箱	製	木	硝
ラ	家	屬							動		球			材	ス	テ
	具	品	臺	板	線	鎗	船	立	車	組	屬	壘	材	子	ン	ド
ム	具	品	臺	板	線	鎗	船	立	車	組	屬	壘	材	子	ン	ド

一 二 三 一五 〇 三 一 一 二 七 三 二 八 三 四

一 | 二 七 二 | 一 一 一 一 | 二 三 一 二

| 一 | 一 | | | | | 三 一 二 一 | 一

| 一 一 七 八 三 | | 一 三 二 七 四 二 一

Ⅴ	36	35	34	Ⅳ	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22
硝	石	及	ア	セ	グ	蚊	花	爆	阿	香	ク	硫	ゴ	炭	自	酸
子	灰	石	ス	メ	リ			發			レ		ム		動	
	窯	灰	フ	ン	セ						オ		製		車	
	石	ト	ア	タ	リ						リ		品		々	
			ル	イ	ン	香	火	物	片	水	ン	化	酸		體	
			ト	ル											塗	
															裝	
															素	

三 一 三 一 六 四 一 一 四 二 二 三 一 二 一

一 一 四 一 一 一 一 一 一 | 三 一 | 一

| | 四 | 一 | | | | | | | | | |

二 | 四 | 四 三 | | 三 二 二 | | 二 |

バタビア主要工場 (1941年5月)

1. 飲食料品

1) ビスケット

Ho Ho Biscuit Factory (Java) Ltd., Priokweg 2, Tpk.
 Kong Ban Ho, Biscuit en Suikerwerkfabriek, Pasar
 Pagi 91, Bt.

2) 糖菓及菓子

Eerste Bat. Eabriek v. Suikerwerkken, Priok, Tpk.
 Joe Hieng Liong, Gang Pedjagalan 2 No. 1/62, Bt.
 Kong Ban Ho, Pasar Pagi 91, Bt.
 Sluizer Confectiefabriek, Koningsplein N. Binnen 1, Wl.
 "Mevr. Kouw" Snoepwinkel en Confiturenfabriek,
 Oengaranweg 29, Wl.

3) 清涼水, レモネード, シロップ

Alternan, Kebon Sirih 3, Wl.
 Coca cola, Postweg Noord 23, Wl.
 Faam, Secretarieweg 5, Wl.
 Fraser & Neave, Molenvliet Oost 37, Wl.
 Gouw Boen Seng & Co., Petak Baroe 58, Bt.

62	61	60	59	Ⅺ	X	57	56	Ⅸ	55	54	53	52	Ⅷ
貴	ア	乾	蓄	共	58	皮	便	印	タ	織	バ	帽	布
石	ル	電	電										
研	ガ			他					オ		ッ		帛
磨	ス	池	池			革	箋	刷	ル	布	ク	子	
	(燃料)												

ニ 一 二 三 九 六 四 一 二 三 三

| | 二 | 四 二 四 | | 三 |

| | | | 一 一 八 一 二 七 |

ニ 一 | 三 四 三 六 ↓ ↓ 七 三

Lo Soe Fan, Mangga Besar,	Bt.
Pan Hiong, Pinangsia 40,	Bt.
Tjiong Ka Yam, Mangga Doea 37,	Bt.
Tjin Goan Ho, Gang Kepoe 4,	Wl.
8) 麵 類	
"Keng Goan" Fabriek Bihon, Gedong Pandjang 53,	Bt.
9) 製 粉	
"Pintoe Aer" Tapioca-fabriek, Pintoe Aer,	Tng.
10) 製 氷	
"De Arend". Tjidengweg Oost,	Wl.
"Mangga-Besar", Prinsenlaan 107,	Bt.
"Petodjo", Petodjodjoplein 1,	Wl.
"Prinsenlaan", Prinsenlaan 51,	Bt.
"Tanah Abang", Djati Baroe 45,	Wl.
11) 乳 製 品	
"Denuo" Zuivelfabrek, Kemajoran 1,	Wl.
12) 精 米	
Djatinegara,	Mc.
Klender,	Mc.
Tjipinang, Bekasiweg Oost 1,	Mc.

Landre & Zoon, Kramat 43,	Wl.
Lourdes, Sawa Besal Pontjol,	Wl.
Rathkamp, Rijswijkstraat 15,	Wl.
Tjisalak, O. Tamarindelaan 166,	Wl.
Green Spot, Merbaboe Bedrijven, Struiswijkstraat 35,	Mc.
4) シ ロ ッ プ	
De Zilveren Top, Alaydroeslaan 50,	Wl.
Hoa Tjiong Tjan, Patoeakan	Bt.
5) ビ ー ル	
Oranje Brouwerij Compagnie N. V., Amanusgracht Zuid,	Bt.
Heineken's N. I. Bierbrouwerij Mji. N. V. Soemenepweg 13,	Wl.
6) ア ラ ク 酒	
Arak Mij Batavia, Binnen Nwpoortstraat 27,	Bt.
Arakstokerij K. W. T., Kampong Baroe I.	Bt.
7) 醬 油	
Lie Tjok Fam, Merk Lie Tjin Nam, Amanusgracht Noord 11,	Bt.

"Oei", Kanaalweg 20,	Bt.
"Pangkalan", Pendjaringan 35,	Bt.
18) 石 鹼	
"De Klabat", Goenoeng Sahari 12,	Wl.
"Johnson", Djenbatan Merah,	Bt.
Lever's Zeepfabriek N. V., Angké,	Bt.
"Lila", Bosch 85,	Wl.
Thjen Khiang & Co., T. Tinggi Pontjol Gang 13 No. 3,	Wl.
Tjong & Co., Jacatraweg 38,	Bt.
"West Java", Kerkstraat 62,	Mc.
Thay Tong, Kepoeh Oost 238, Kemajoran,	Wl.
Eng Bie Ho, Angké 65,	Bt.
19) 蠟 燭	
0) マルガリン	
N. V. van den Bergh's Fabrieken (N. I.) Tanah Abang W. 12,	Wl.

III 化 學 品

20) インク及糊

N. I. Rijstpellerijenbonden Federatie, Koningsplein Oots 8,	Wl.
13) 煎 餅	
14) 煙 草	
Diëng Sigarettenfabriek, N. V. Handelsveg. "Industria", Kramat 94,	Wl.
15) 鹽 漬	
0) 罐 詰	
Jenne & Co., Goeneng Sahari 36-42,	Wl.
0) コ - ヒ	
Ban Seng Ho, Passar Senen 20,	Wl.
Hioe Hoy Kim, Stationweg 5,	Wl.

II 植 物 油 脂

16) 17) 椰子油, 料理油	
Archa, Kampeong Moeka,	Bt.
"Banjoemas" Voorij Oost 23,	Bt.
"Hap Goan", Gang Semoet 51,	Bt.
N. V. Mexolie,	Wl.
Njock Seng Kongsie, Angké 122,	Bt.

30) 爆 發 物
 Romanietfabriek N. V., Jaagpad, Bt.

31) 花 火
 Lauw Kang Boen, Djembatan Doewa 139, Angké, Bt.
 Tjiong Eng Kong, Pesajoeran 26, Bt.

32) 蚊 香
 Obat Njamoek Fabliek, H. M. Taij Tjhwan Semarang
 N. V., Agentschap Batavia, Djelakeng 26, Bt.
 Sin Hin, Petak Serani 28, Bt.

33) グリセリン
 0) 藥 品
 Dollars Chemical Manufactory, Kpg. Baroe 7, Bt.
 "The Fortuna" Chemical Manufactory, Wisnoeweg
 29, Bt.
 Pharmaceutische Fabriek D. V. G., Oranje Boulevard
 71, Wl.

0) 白 粉
 Muguet Poeder-fabriek, Juk Fen & .Co., Malakastraat
 333, Bt.

IV 建 築 材 料

H. van Gimborn N. V., Roa Malaka 7, Bt.
 Talens & Zoon N. V., Prinsenstraat 25, Bt.

21) ラッカー, ペイント
 P. A. Regnault's Verf-,Inkt-en Blikfabrieken N.
 V., Goenoeng Sahari 3, Wl.
 N. V. Lak-en Verffabriek "Batavia", Jacatraweg 5, Bt.

22) 酸 素
 N. V. W. A. Hoek's Machine-en Zuurstoffabriek,
 Veemweg, Tpk.

23) 自動車車體塗裝
 24) 炭 酸
 25) コ ム 製 品
 26) 硫 化
 27) クレオリン
 Bataviasche Creoline Industrie, Petodjo Sawah IV
 No. 113, Wl.
 "Europeesche", Amanusgracht Noord 21, Bt.

28) 香 水
 29) 阿 片
 Opiumfabriek, Salemba, Mc.

37) 硝子瓶

Bataviasche Glasfabriek Co., Amanusgracht Noord 14, Bt.
 Glasfabriekder N. V. N. I. M. V. I. (Ned. Ind. Mij. Voor Industrie,) Industrieweg, Goenoeng Sahari, Wl.
 Mansoer Tabib, Jacatraweg 8, Bt.
 "Populair", Gedong Pandjang 33, Bt.

38) ステンド・グラス (Glas-in-lood)

"Djie Hap", Gg Mishoa 67, Bt.
 De Bataafsche, Def. v. d. Bosch 20, Wl.
 P. A. J. Smits, O. Tamarindelaan 80-82, Wl.

VI 木 材

39) 製 材

Timmerfabriek "Vibo", Antjolscheweg 40, Bt.

40) 箱

Kho Tjoei Siong, Kpg. Djawa, Bt.
 Goan Bouw, Amanusgacht 3, Bt.
 Khoe Tjoen Sioe, Roa Malaka 25, Bt.
 N. V. H. M. Khouw en Lim, Zuiderboordweg 107, Tpk.

34) セメント, タイル及瓦

Abdoel Gafar, Gang Djati Baroe 28, Wl.
 "Atlas", Djati Baroe 35A, Wl.
 Bahasoean, Unielaan 15, Bt.
 Bas & Co., Tanah Abang Oost 87, Wl.
 Kho Giok Say, Djembatan Tinggiweg 10, Wl.
 Lim Gwan Laij, Gang Pasarl, Petodjo Ilir, Wl.
 "Midden-Java", Kartinweg 63, Bt.
 Njoo Seng Hoo, Jacatraweg 36, Bt.
 "J. S. Maul" N. V. Marmara Ce. -fab., Batoeweg 1, Wl.
 "Songsi", Laan Songsi 51, Bt.
 "De Ster", Petodjo Ilir Gang Pasar 19, Wl.
 "Tegal", Heerenweg 9, Bt.
 Alpubu, Matramanweg 76, Mc.

35) アスファルト

36) 石 灰 窯

"Koeripan", Dp.
 "Tjisaät", Wl.

V 硝 子

Wing On, Postweg Noord 57, Wl.

VII 金 屬

42) 機 械

"Batavia", Molenvliet Oost 108, Bt.

Hin Hoat, Gang Kebon Torong 2-4, Bt.

Kong Hing, Molenvliet West 119, Bt.

Nam Wo, Gedong Pandjang 12, Bt.

Nio Peng Long, "Hiap Tjiang", Molenvliet W.
149-155, Bt.

43) 自 動 車 組 立

General Motors Java Handel Mij, Tpk.

44) 造 船, ド ッ ク

N. V. Droogdok Mij. "Tandjong Priok", Tpk.

"Batavia", Molenvliet Oost 108, Bt.

45) 眞 鍮

46) 鋼 線

47) 鐵 板

48) 寢 臺

Charming & Co., Senen 137-141, Wl.

Khouw Ke Tjiauw, Ketapangweg 31, Wl.

"Kibodas", Djembatan Merahweg 8, Wl.

N. V. "Natal", Kali Besar Oost 4, Bt.

Serpong, Amanusgracht 2/22, Bt.

Refa Rubber-en Theekistenfabriek, Tanah Abang
West 38, Wl.

41) 撞 球 臺

Duveen, Chaulanweg 31, Wl.

0) 家 具

Ali Rais & Co., Djatnegara, Mc.

Ons Huis, Postweg Noord 31, Wl.

Het Woonhuis, Noordwijk 23, Wl.

Excello, Rijswijkstraat 30, Wl.

Van de Pol, Noordwijk 15, Wl.

Nam King, Pasar Baroe 11, Wl.

Sin Eng Hoat, Pasar Pirang 23, Wl.

Sin Heng Lie, Kebon Tengrek 168, Bt.

Sin Lie Hoo Zechaweg 70, Bt.

Sin Tek Lie, Pintoe Besar 71 A, Bt.

Sin Weng Seng & Co., Pasar Baroe 33, Wl.

52) 帽 子	
Helmhoedenfabriek "Robinson", Pasar Baroe 114,	Wl.
53) バ チ ッ ク (更紗)	
Hok Tjwan, Karet Sawah 75,	Wl.
Lauw Hian, Gang Tie Eng Soen 203,	Plm.
Lauw Hoa Pie, Palmerah 50,	Plm.
Lie Hong Sie, Karet Sawah 8,	Wl.
Lim Kie Tong, Gang Postkantoor 26,	Plm.
Oey Djiang, Karet R. 12A,	Wl.
Oeij Hoaij Giok, Pekembangan 14A, Palmerah Noord,	Plm.
Tee Kwang Beng, Palmerah 29,	Plm.
Tee Soei Kim, Palmerah 94,	Plm.
Tek Liong Ho, Karet Sawah 27A, Tanah Abang,	Wl.
Thung Kie Hin, Karet Tengsin 145,	Wl.
Tjap Hap, Karet Tengsin 34,	Wl.
54) 織 布	
Min Seng Weaving Mill, Prinsenstraat 8A,	Bt.

"Excello", Rijswijkstraat 30,	Wl.
Han Yang & Co., Pintoe Besar 77A,	Bt.
Tai Tjong & Co., Pintoe Besar 84,	Bt.
49) 金 屬 製 品	
Blikfabriek N. V. H. M. v/h H. Jenie & Co., Goenoeng Sahari 36-42,	Wl.
Cordesius en Zonen, Goenoeng Sahari 43, (Fabriek van Metaalwaren)	Wl.
Oostpannenfabriek, Lie Tjiauw Jo, Goenoeng Sahari,	Wl.
Ned. Ind. Rasterwerk Fabriek, Tjikini 69,	Wl.
Stokvis' Kon, Fabriek van Metaalwaren, Tana Ahsang West 18.	Wl.
Metaalfabrieken en Vernikkelinrichting "Excelsior", Molenvliet West 31,	Bt.
M. Hirooka, Engine Works, Werfstraat,	Bt.
T. Yoshimi Enginework, Prinsenstraat 10,	Bt.

50) 鋼 家 具

51) ド ラ ム

Ⅶ 布 帛

John Kappee, Goenoeng Sahari 46,	Wl.
Kasteel van Aemstel, Rijswijk 13,	Wl
Kenanga, Senen 46,	Wl
Keng Po, Pintoe Besar 86-88,	Bt.
Khee Boen, Kong Kwanweg 36,	Bt.
G. Kolff & Co., Petjenonganweg 72,	Wl
De Krakatau, Gang Djatibaroe, Tanah Abang,	Wl
Lie Boen, Padjagalan 81,	Bt.
"Mascotte", Gang Kali Pasir 3, Tjikini,	Wl
"May Siang", Gang Motjoei 26,	Bt.
Michiel Vervoort, Koningsplain Noord 11,	Wl
Nam Fong, Pintoe Besar, Asemka 33,	Bt.
Nam Yong, Kongsie Besar 54,	Bt.
Nitiran, Molenvliet West 48,	Bt.
Olt & Co., Gang Kenanga 4-6-8,	Wl
Pemandangan, Senen 107,	Wl
Persatoean Goeroe. Senen 51,	Wl.
Ruygrok & Co., Gedempte Leeuwinegracht,	Bt.
Toko Kitab, Kramat 38,	Wl.

Yoeng Ngi Weaving Factory, Jacatraweg, Bt.

55) タ オ ル

"Morimura" Handdoekfabriek, Werfstraat, Bt.

IX 印 刷

56) 57) 印 刷, 便 箋

"Almmamoer", Kramat 46, Wl.

J. C. van Ark & Co., Petjenonganweg 56-58-60, Wl.

Boen Vah, Toko Tiga 70, Bt.

Centrum, Sawah Besar 87, Wl.

Chinese & English Book Co., Pantjoran 29, Bt.

"De Ster", Krekot 30A, Wl.

"De Unie", Molenvliet Oost 8, Wl.

Eng Goan, Tongkangan 55, Bt.

"Gouw Thio Goan", Angkeweg 27, Bt.

"Gruno", Prinsenstraat 11-13-15, Bt.

J. H. C. Hamilton, Molemvliet West 18, Wl.

Hjap Tiga, Kongsie Besar 53, Bt.

"Indonesia", Molenvliet West 109, Bt.

Java Commissie Handel, Asemka 16, Bt.

Bataviaasch Nieuwsblad, Sluisbrugstraat 23,	Wl.
De Java Bode, Uniegebouw, Molenvliet Oost 8,	Wl.
Het Nieuws van den Dag voor N I., Molenvliet 0. 9,	Wl.
"Berita Oemoen", Kramat 96,	Wl.
Hindia Post, Kramat 124,	Wl.
Hong Po, Pintoe Besar 93,	Bt.
Kebangoenan, Pendjaringan 37,	Bt.
Keng po, Pintoe Besar 86-88,	Bt.
Morning Post, Pintoe Besar 58A,	Bt.
Onze Courant, Sluisbrugstraat 23,	Wl.
Tohindo Nippo, (Oost Indische Courant), Roa Malaka 6,	Bt.
Pemandangan, Senen 107,	Wl.
"Siang Po", Pendjaringan 37,	Bt.
Sin Po, Asemka 29-30,	Bt.
"Thien Sung Yit Po", Toko Tiga 21,	Bt.
Tjaja Timoer, Molenvliet West 98,	Bt.

X 皮 革

Sam Min, Toko Tiga 51A,	Bt.
Sam Tjin, Gang Wangseng 6,	Wl.
Samideo, Voorrij Zuid 47,	Bt.
Shin Taij, Gang Kebon Torong 2-4,	Bt.
"Siang Po", Pendjaringan 37,	Bt.
"Siliwangi", Petjenonganweg 46,	Wl.
"Sin Po", Asemka 29-30,	Bt.
F. B. Smits, Petjenoganweg 68,	Wl.
"Tan", Klientji 12,	Wl.
Tiong Seng, Gang Kenanga Noord 22,	Wl.
Tohindo Nippo, Roa Malaka 6,	Bt.
Tong Ah, Pintoe Besar 45,	Bt.
Trio, Tangerang,	Tng.
A. G. van Velthuijan, Petodjo Oedik 13,	Wl.
Michiel Vervoort, Koningsplein Noord 11,	Wl.
Visser & Co., Secretarieweg 9,	Bt.
Washington, Pasar Baroe 55,	Wl.
Wing Fat Printing Co., Ltd., Molenvliet Oost 69,	Bt.

0) 新 聞

Liebco Neon, (Chroomnikkelinrichting), Postweg
 N. 47, Wl.
 Java Neon Mij. N. V., Goenoeng Sahari 2, Wl.
 0) ガ ス
 N. V. N. I. Gas Mij., Ketapangweg 20, Wl.
 0) 網
 Eerste Ned. Ind. Cocoskabelfabriek, Tangerang, Tng.
 Touwfabriek Lampongsche Cultuur Mij. Tjisaat
 N. V., Kali Besar Oost 4, Bt.
 0) パ ラ ソ ル
 Parasolmakerij "Europa Azië", Goenoeng Sahari
 Antjol 1, Wl.
 0) 電 氣 笠
 Moenan, Lampekappenmaker, Oude Tamarindelaan 24,
 Wl.
 0) ト ラ ン ク
 Java Trunk-Coy., Buiten Tjigerrstraat 28A, Bt.
 The Sun & Co., (Staal en fibre) Gang Orpa 68, Bt.
 0) 映 畫
 The Union Film Co., Prinsenlaan 79, Bt.

58) 鞆
 "Ngian Ngian", Jacatraweg 40, Bt.
 Sun Lioeng N. V. H. M., Prinsenlaan, Bt.
 "Victory", Jacatraweg 1, Bt.
 0) 靴
 N. V. N. I. Schoengandel Miji "Bat'a", Batavia,
 Kali Bata, Mc.

XI 其 他

59) 蓄 電 池
 60) 乾 電 池
 Eveready Fabriek, (National Carbon Co., Java Ltd.),
 Pendjaringan 53, Bt.
 61) ア ル ガ ス
 62) 貴 石 研 磨
 Siersteenslijperij "Oranje", Tjikini 61, Wl.
 0) 變 壓 器
 Enitfa, (Eerste Ned. Ind. Transformatoren Fabriek),
 A. van Hatten & Co., Goenoeng Sahari 1, Wl.
 0) ネ オ ン

Anifilm, (Algemeen Ned. Ind. Filmbedrijf), Bidara
Tjina 125, Mc.

0) 寫眞製版

N. V. Drukkerij J. C. van Ark & Co., Petjenonganweg
56, Wl.

"Batoetoelis", Batoetoelis 51, Wl.

"Grafia", Molenvliet Oost 89, Bt.

Hoa A Tong, Sawah Besar, Karanganjar 22, Wl.

"Nagato", Molenvliet West 34, Bt.

De Polygraaf, Unigebouw, Molenvliet Oost 8, Wl.

"Swan", Koestraat 6, Bt.

Va Kung, Tijgerstraat 6, Bt.

Bt.—Batavia Stad. Wl.—Wetevreden.

Mc.—Mr.-Cornelis. Tpk.—Tandiong-Priok.

Tng.—Tangerang. Plm.—Palmerah.

Dp.—Depok.

四、漁業

(バタビアの邦人漁業)

日本人の「海國の民」であることを遺憾なく發揮し、其の勇敢豪膽振りを稱讃されてゐるものに沖繩漁師がある。こんな話を聞いた。南洋航路の汽船が一難破船らしいものを發見した。之に近づくとも日本の漁船であり、水と煙草の補給を受け、方角を聞いて又ボンボンと遠ざかつて行つたと。又先日飛行機から射撃を受けたのも之等漁船であり、從來共屢々スパイ嫌疑で問題を引き立てり、蘭印當局の神経を尖らしめてゐる。

バタビアにも之等日本漁師が二百人餘り居る。總て船上で生活し、時々上陸してゐるのを見かける。昭和十五年五月調によると四組、二百四十四人が之に従事し、各組共四、五十噸の母船と六噸位の漁舟を以て年産水揚高合計約二十六萬盾を擧げてゐる。

今其の詳細に就いて見れば次の如くである。

一、事業主、組織、資本

1 大昌公司 大正十四年、新嘉坡、大昌公司の支店として開設されたもので、當地代表者は小倉登氏である。

2 大城組 昭和二年、之亦新嘉坡から来たもので、代表者は大城盛行氏である。外八名との合辨になるもの。

3 金城組 昭和六年支那人鄒文發 (T'ie Boen Hoat) が當時破産せる長峯組の後を繼いで出資し、事業を續行したものであり、船籍は蘭印である。

4 中尾組 昭和十年設立、代表者は中尾辰二氏、個人經營である。

二、漁撈法、所有船舶、従業員

漁撈法は追込網が主である。所有船舶は左の如くである。

1 大昌公司 新垣組、母船 (總噸數五十噸、八十馬力) 二隻

漁船 (總噸數八噸) 四隻

周吉組 同

合計 母船四隻、漁船八隻

2 大城組

母船 (總噸數四十噸、八十馬力) 二隻
漁船 (六噸) 四隻

3 金城組

母船 (五十及四十噸、八十馬力) 二隻
漁船 (六噸) 四隻

4 中尾組

二十五噸、二十五馬力 一隻

従業員數は大昌組百二十四名、大城組五十八名、金城組五十四名、中尾組八名、計二百四十四名であり、船長、機關長には内地人もゐるが、漁夫は大部分沖繩縣人である。

三、漁場

1 十月末より三月まで (North Monsoon)

この季節は支那海からの強波があり、爪哇海は浅いため海水濁り、漁撈は不適となるので、次記の地方に漁場を求め。

A 西漁場 (スマトラ西海岸一帯) スンダ海峽からスマトラ西岸に沿ひ、北上してスマトラ北端サバン島に至る間、バタビアから最遠距離約千四百哩。

B 東漁場 (マカッサル海峽以東) バリ、ロンボク、フロレス諸島、ニューギニア西海岸等で、バタビアから約千八百哩、往復には水二十五噸を積み、十五日乃至十八日を要する。

2 四月より十月末まで (South Monsoon)

印度洋の波はスンダ列島により遮ぎられ、爪哇海以北は好漁場となる。即ち、バンカ、ピリトン、ボルネオ西海岸、ジャワ海内のバビアン、カリムンヂヤカ等が之である。之等はバタビアより往復七日乃至十日位を要し、氷十六、七噸を積んで行く。

四、漁獲物及漁獲高

追込網を使用する大昌、大城、金城組は領海外の瀬又は暗礁により漁撈するので、所謂瀬附魚(又は瀬ノ魚)である。即ち、鱧(イカン・イコル・クニン)、高砂(イカン・ピーサン)、長魚、鰻、怪魚、矢魚(プロナン)等を主とし、中尾組は曳き釣り漁業を行つてゐるので、鰹、サワラ、鰹、鮪、シイラ、カマス、長魚等である。

漁獲は前記北モンスーンの時は十五—十八日、南モンスーンの時は七日—十日の一航海に於ける水揚高は通常六百—八百箱(一箱三十八疋入)、金額約千五百盾—二千盾である。

年水揚高は大昌十二—十四萬盾、大城五—六萬盾、金城五—六萬盾、中尾約五千盾である。

五、賣 捌

漁獲物全部をバタビアに持ち歸り鮮魚の儘販賣する。

バタビアには市營の魚市場 (Pasar Ikan) があり、住民及各國人漁業者によつて競賣に

附せられ、仲買者が買取り、之をバタビア市内外、遠くはバンドン、スカブミ地方まで配給する。この際漁業者は賣上高の5%を手數料として市に納入する。

バタビア及附近地方の魚の需要は殆んど住民によつて占められ、回教の習慣と住民の懐工合によつて日々の相場は高低する。

大昌公司是嘗てバンドンの一邦人と共同し、同地方へ直接市場の開拓を圖つたが、種々の關係で永續しなかつた。

六、参 考 事 項

1、邦人以外のバタビア漁業者は二、三の和蘭人を除き總て住民である。住民の漁業は漁棚(セロ)、沖曳き(マヤン)又は養殖魚で、之等の資本は殆んど支那人(廣東、汕頭)から出てゐる。最近住民で邦人を真似て追込網を使ふものが出て來た。和蘭人の漁業者は三名であるが内二名は水産試験所に傭はれ、獨立漁業者は一名に過ぎない。支那人は住民に資本を貸付け、賣込をなすのみで漁撈には手を下さぬ。住民漁獲物はアジ、イワシ等の小魚類を主とし、養殖魚はエビ、ボラ、イカン・バンダン等である。

2、バタビア以外の蘭印に於ける邦人漁業は大城組(スマトラ北部サバン)、王城組(マカッサ)が夫々其の地方で追込網を行つてゐる。漁夫數は前者十七、八名、後三十五、六名

である。其の外セレベス北部即ちメナド、ミナハサに鯉魚を主とする日蘭漁業株式會社、
其他がある。

3、最近の緊争事件

- a、昭和十二年、リオ群島沖で徳榮丸船員射殺事件が惹起し、其際、日蘭間に漁船に關する協定が成立した。
- b、昭和十三年、バンカ島北部で大昌公司の母船が漁船を待合せ中、領海侵入の廉で拿捕され罰金二百五十盾に科せられた。又バンカ島の南に於て安福丸（大昌）が網を干してゐる罰金五百五十盾の處分を受けた。
- c、昭和十三年、バンカ海峽南口で新嘉坡大昌公司の福丸が領海侵入で船具、船體を沒收され、船長以下三ヶ月の懲役刑に處せられた。
- d、昭和十五年六月六日、ピリトン附近で大昌公司の第五號船が和蘭海軍機によつて掃射を受け、同時に監視船からはビストルを擬しつゝ監視員が乗込み、船内を検査して引揚げた。實害はなかつたが前記a項の協定もあり、日本外務省はパプスト在日本和蘭公使に抗議を行ひ陳謝せしめた。

五、商 業

（バタビアの商店街並住民商の地位）

一、概 説

バタビアに於ける商品配給組織は、大體に於て次の如く云ひ得る。即ち蘭商、其他歐米商、日本商並華商の輸入した商品を大部分華商が中間商人として引継ぎ、之を長年の地盤を有する華僑販賣網に配給するものである。故に輸入高に於ては蘭商―主として所謂五大蘭商、日本商等が斷然押へてゐるが、卸小賣方面に於ては華商の勢力たるや偉大なものである。町の角々にあるワロンを見ても總て支那人と以つて差間なからう。

又彼等は田舎の隅々まで小賣商としてはびこると共に、住民から物産を買集める源泉となつてをり、往復の商賣をやつてゐる。然も生活力は極めて旺盛なのである。

之に對し、ジャワ人は商人としては實に貧弱な地位にある。尤もスマトラ方面―特にパダンへ行けば又趣が異り、住民商が巾を利かしてゐると聞く。バタビアに於て實見する限りは住民商は未だ問題とならず、輸入業者として知られてゐるのはマラヤ・インポート及ジョハン・ジヨホールの唯二軒、小賣商としてはサロン類を賣る店がスネンに數軒を數へるのみである。

以上の事實は次に示す蘭印の職業別人口割合を見ても明かに知り得る。
 即ち歐洲人は職業人口の二四%が官公吏であり、之に次いで農、鑛、漁業が二二%、商業、自由業、運輸業が夫々二・三%宛等となつてをり、住民は農、鑛、漁業が七〇%、工業一〇%、商業五%である。之に對し支那人は商業の三七%が首位にあり農、鑛、漁業が三〇%、工業二〇%となつてゐる。

蘭印人種別職業別人口 (一九三〇年調)

	歐洲人	東印度人	支那人	其他アジア人
農 鑛 漁 業	一、八八〇	一四、三五六	一四、四八八	七〇〇
工 業	四、六七六	二〇、五二九	九、三九八	五〇五六
運 輸 業	一、〇八五	一、〇九二〇	一、一七五	一、七一一
商 業	一、一四五	一〇、〇八八	一七、一九七	一、〇五四
自 由 業	一、二二〇	一五、〇三三	七、六一	八四一

官 公 吏	二、〇七二	四九、一九二	三〇三九	四九五
其 他	七四元	一五、七六元	五七三	一九二
不 明	—	一五、九三六	二、八七八	七九
計	八、五三二	二〇七、九六四	四六、九三三	三、六五三

二、商店街

バタビアに於ける商店街は、市の北部に位置する舊バタビア方面の輸入商、卸問屋商街並に銀行會社街と市の中央部ウエルト・フレیدن方面の小賣街とに二大別し得る。即ち前者に屬するものはカリ・ブツサル、アセムカ等であり、後者はノルドワイク、ライスワイク、パツサル・バルー、スネン、クラマツト等である。

以下之等各商店街の概況を誌すことにより、バタビア商賣往來の一端を紹介することとする。

一、カリ・ブツサル方面

○カリ・ブツサル・チナ(大川支那町) 支那街の大通りパンチョーランを通り抜けると橋がある。そこで川は九十度に曲つてゐる。流れの内側には丁度日本の田舎に見る肥溜の表面の様

に浮流物が厚い層を作つて溜つてゐて、缺茶瓶、靴の片方等が乗つてゐる。芭蕉の緑の葉、椰子の實の皮、藤椅子の黒く腐つたのや等々がメタンガスの泡をブクブク吹き出しつゝ流れてゐる。黒褐色の泥川に浮いて来る。黒い油もギラギラと浮いてゐる。それ等を押し分ける様にして竹の筏や荷物を積んだ舳が通ることもある。それでも住民、支那人等はこの川で食器を洗ひ米を研ぎ、洗濯し、川屋も突き出してある。こんな川に落ちては大變と云ふのか歩道と川との間には赤く塗つた鐵柵が續いてゐる。アスファルトを敷いた車道を隔てゝ二階建或は三階建の商店が並び何れも黒漆に金文字を配した漢字の店名を掲げてゐる。日覆等にはローマ字で譯してある。金物屋、瀬戸物屋、雜貨屋等々の卸問屋で店先には木箱が積み上げてある。車道には馬車、自動車、自轉車、人等が溢れて、烈日の下、砂塵と共に馬糞を交へた熱風に馬の小便の臭がたゞよつてゐる。こんな風景が一丁半程續いてゐるのが華僑問屋筋のカリ・ブツサル・チナである。

○アセムカ

聽て電車道に突當る、橋を渡つて右に曲ればアセムカ、この通りも華商の雜貨輸入問屋が並び排日紙「新報」もこゝで印刷されてゐる。

○ピント・ケチル(小門町)

カリ・ブツサル・チナを眞直に電車道を踏切るとピント・ケチルである。幾分道が狭くなり兩側に店が向ひ合つてゐるので暗い感じを受ける。こゝは二、三の金物屋を除き、軒並に綿布屋である。大部分華商で所々ボンベイ人の顔も見られる。それが約一丁。

○カリ・ブツサル・ウエスト(大川西町)

ピント・ケチルを抜けると視界はパツと擴がりカリブツサル・ウエストに出る。川中も廣くなり、建物も歐風になつて来る。チャータード・バンクを角にして中國銀行が之に隣し、横濱正金、臺灣銀行も並んでゐる。其他保險會社、茶、ゴム等物産輸出商社等があり、銀行會社街を成してゐる。

○カリ・ブツサル・オースト(大川東町)

カリ・ブツサル・ウエストの川向ひがカリ・ブツサル・オースト、こゝにはインター・ナショナルの塔が聳え、ボルスミ等があり貿易の中心地を形成してゐる。又それ丈に保險會社、船會社J・C・J・L(ジャバ・チャイナ、ヂヤパン・ライン)等も見られる。

○スタシオン・ブレーション(驛前廣場)ビネン・ニウブールト・ストライト(新門内町)

白聖のバタビア終點驛も戦時の黒色に塗り潰され、聊か暑苦しい感じを受ける。この向ひがハンデルス・バンク、電車道を隔てゝファクトレイ、其の隣がジャワ銀行と云ふ様に、こ

KALI BESAR TJINA

店名	番地	取扱品
Kong Tek Tjiong.	(廣徳昌) 14.15.	磁器, 瑠璃鐵器
Tjen Tong & Co.	(振東公司) 16.	ベルト
Tek Hin Kong Sie.	(徳興公司) 18.	金物
Hok Hing Kong Sie.	(福興公司) 19.	"
Firma "Kong Lie Sang".	(廣利生) 20.	瑠璃鐵器
Tay Tek.	(大徳) 22.	"
Sauw Liong.	(兆隆) 23.	雜貨, 陶磁器
H. M. Thay Tong.	(大同) 26.	雜貨
Nanyo Shoko.	(南洋商行) 27.	陶磁器, 硝子器
Lie Goan Hien.	(利源興) 28.29.	"
Toko "Ka Tjhong".	(嘉昌) 30.	金物
Djoe Thoeng & Co.	(裕通公司) 31.	"
Kian Hoat Kong Sie.	(建發公司) 32.	"
Vereeniging Boemipoetera.	33.	雜貨
Nam Hoa Tjong & Co.	(南華昌) 34.	"
Firma "Khing Seng".	(慶成公司) 35.	"
N. V. H. M. Tek Miauw.	(徳茂) 36.	"

の一角はバタビアの大銀行街をなしてをり建物も新しく立派である。
○ピント・ブツサル(大門町)

ジャワ銀行の前を電車道に添ひ南下すれば、ピント・ブツサルである。こゝは支那人の寢臺屋が兩側に軒を列ねてをり、其の間に點々と金物屋、塗料屋がある。「競報」「洪報」の華字紙もこの通りにあり、こゝも亦支那街である。

○其他

カリ・ブツサル・ウエストの裏にはマラツカ・ストライトがあり、三井、三菱、大同等の邦商が頑張り、其他ロア・マラツカ、ユトレヒツシ・ストライト等には中流所の貿易商が集つてゐる。

カリ・ブツサル・オーストの裏はヘデムプト・リウエンネフラハトで、南洋倉庫ビルがあり、其の奥には五大蘭商の一たるゲオ・ウエリイがある。

Java Commisie Handel.		16.	文具
Daishin & Co.	(大信洋行)	17.	雜貨
N. V. H. M. Kian Gwan.	(建源)	18.	輸出部
	(華渣銀號)	20.	銀行
Rathkamp.		21.	藥品
Batavia Bank.		23.	銀行
N. V. H. M. Yoeng Sheng.	(榮盛)	24.	綿布
U Seng An & Co.	()	25.	ランプ
C. Hirai & Co.	(平井商店)	26.	陶磁器, 硝子器
Thocasco.	(涂克士可藥 店)	27.	藥
Java Holland Conbinatie.	(爪哇荷蘭商 行)	28.	
Sin Po.	(新報)	29,30.	新聞社

PINTOE BESAR

Star.		14.	自動車タイヤ
Ping Hin.		28.	金物, 塗料
Tek Sin.	(德新)	50.	"
Joen Hoat Kongsie.	(潤發公司)	62.	"
Tek Seng & Co.	(德成)	95.	"
Ang Sioe Tjiang.	(翁秀章)	80.	"

Soeij Hoat.	(瑞發)	33.	ペイント,
Khoen Ho Tjiang & Co.	(昆和昌)	40,1.	雜貨
Firma "Hiap Tong Tjiang."	(協同昌)	42,43.	"
Njan Seng.	(元成)	44.	"
Sauw Cheong & Co.	(肇昌公司)	46.	"
Firma "Djin Keng".	(登慶公司)	47.	"
N. V. H. M. Yoeng Hien.	(榮興)	48.	"

A S E M K A

Soen Ho Loeng & Co.	(順和隆)	1.	雜貨
Khin Sin & Co.	(競新)	2.	"
Firma "Hiap Yee Sep".	(協治生)	3.	"
Fen Foeng.	(宏豐公司)	4.	"
N. V. H. M. Foe Thoeng.	(阜通有限公 司)	5.	"
N. V. H. M. Loek Joen Kie.	(陸潤記公司)	6.	"
N. V. H. M. Joeng Ho.	(榮和公司)	7.	"
N. V. H. M. Ying Hwa.	(英華)	8.	"
N. V. H. M. Goan Seng Hoat.	(源成發有限 公司)	13.	"
Firma "Joen Tek".	(永德)	14.	"

○Rahman Tamin.	(インドネシア人)	35.	"
Tjong Goan & Co.	(莊源公司)	37.	"
Firma "Kian Seng & Co".	(堅生公司)	39.	綿布
○Chandanmal-Harialmal.	(ボンベイ商)	2.	"
Sin Tjoan Hin Kong Sie.	(新泉興公司)	4.	"
○T. M. Sobhrajmal.	(ボンベイ商)	8.	"
○China Java Trading Co., Ltd.	(中華爪哇有限公司)	10.	"
Hong Bie & Co.	(鴻美公司)	12.	"
Firma "Tong Hien".	(同興棧)	14.	"
Firma "Tong Hin".	(同興)	16.	"
Hiap Hong & Co.	(協豐公司)	18.	"
○N. V. H. M. Tan Tjoan.	(新禮南有限公司)	20.	"
Nam An Kongsie.	(南安公司)	22.	"
Gouw Siuw Kie.	(吳首記)	24.	"
Lim Ho Goan.	(和源)	26.	"
○N. G. Melwani & Sons.	(ボンベイ商)	28.	"
○Khouw Keng Sen.	(許景成興號)	32.	"
○Toko Viroomal.	(ボンベイ商)	34.	"
○Pohoomull Brothers.	(")	36.	"

Kengpo.	(競報)	86/88.	新聞
Oversea Chinese Banking Corporation.	(華僑銀行)	90.	銀行
Hong Po.	(洪報)	93.	新聞

BUITEN KAAIMAN STRAAT

S. Ando & Co.		20.	綿布, 物産
---------------	--	-----	--------

PINTOE KETJIL

N. V. H. M. Tek Hoat.	(德發)	1.	金物
Khouw Keng Hin.*	(計景興)	3.	綿布
U. Moolchand-Sons.	(ボンベイ商)	9.	"
H. V. H. M. Ho. Nin Goan.	(和興源)	13.	"
Lie Kong Ho.	(振發號)	15.	金物
○P. Odernamall & Co.	(ボンベイ商)	17.	綿布
Sin Tjoe Thay.	(新春泰)	19.	"
Lian Sheng Hien & Co.	(聯盛興公司)	21.	"
○Firma "Gehimall".	(ボンベイ商)	23.	"
Tjoan Lie.	(泉利)	25.	"
Ie Kin Tjong.	()	27.	"
N. V. H. M. Lian Hoat.	(聯發有限公司)	29.	"
Kim Loei & Co.	(金蕾公司)	31.	"

Kian Gwan.	"	建源(輸入部)
Toa Kigyo Co., Ltd. 東亞企業株式會社	"	食料, 雜貨
Mc Anliffe, Turquand, Yonugs & Co.	"	會計士
Ross Taylor & Co., Ltd.	"	船會社代理店
Zeluva.	"	海空航行保險
Handelsagent van ToKio. 東京市經濟局出張所	"	取引紹介, 市場調査
Chinese Consulate General.	3.	支那總領事館
Bank of China.	4.	中國銀行
The Manufacturers Life Insurance Co.	5.	保險
Jacobson van den Berg & Co.	11.	一般輸出入
N. V. Reiss & Co.	13.	"
The Hongkong & Shanghai Bank Corporation.	14.	滙豐銀行
Asia Life Insurance Co.	15.	保險
Sun Life Assurance Co. of Canada.	"	"
The China United Assurance Society Ltd.	17.	華安合群保壽
Yokohama Specie Bank Ltd.	18.	橫濱正金銀行
Rowley Davies & Co., Ltd.	20.	茶, ゴム
Mirandolle, Voute & Co.	22.	"
Firma Crone.	23.	"

○N. V. H. M. Lian Yoeng.	(聯 榮)	38.	"
○J. Parsram.	()	40.	"
Gouw Boen Seng & Co.	()	46.	食料品, 雜貨輸入
Hiap Hin.	(協 興)	50.	綿布
Tjoan Hin & Co.	(全興公司)	54.	"

PASAR PAGI

Sum Aik & Co.	(三 益)	11.	海產物
○N. V. H. M. Tjoan Bie.	(全 美)	10.	綿布

○印は直接輸入を行つてゐる店, 即ち輸入ライセンスを有する店

KALI BĒSAR WEST

Chartered Bank of India, Australia & China.	1.	銀行
Frese & Hogeweg.	"	會計士
Loyens & Volkmaars.	"	"
Union Insurance Society Canton Ltd.	"	保險
Mitsubishi Shoji Kaisha Ltd.	"	三菱商事株式會社
The United Scottish Insurance Co. Ltd.	"	保險
Great Eastern Life Assurance Co., Ltd.	"	"

O. W. J. Schlencker.	36.	"
H. M. Optorg.	36.	鐵製品, 其他輸入
Bankers & Traders Insurance Co., Ltd.	43.	保險

KALI BESAR OOST

N. V. Langeveldt-Schröder.	1.	保險
De Nederlanden.	5/7.	"
Tiedeman & van Kerchem.	5/7.	"
Borneo Sumatra H/M.	9.	輸出入一般
Revimij. (N. V. Radio en Velichtings Import Mij.)	9.	ラヂオ輸入
Java-China-Japan Lijn N. V.	10/12.	船會社
Blom & van der AA.	10.	保險
Conbinatie Sluyters & Co.	10.	"
Java Sumatra H. M.	19.	輸出入一般
Internationale Crediet-en Hvg "Rotterdam", N. V. (Lloydstraat.)		
G. Kolff & Co.	19.	書籍文具
Nozaki Bros. & Co., Ltd. 野崎商店	22.	罐詰, 雜貨
Hadden & Co., Ltd.	22.	保險
Dunlop & Kolff.	22.	輸出入一般

The Bank of Taiwan.	25.	臺灣銀行
Matsubara Shoten	26.	松原商店, 綿布
Gijsselman & Steup.	26.	茶, ゴム
Sin Khay Hie & Co.	27.	綿布
Devid & Co.	31.	農園經營
Schotel & Co.	32.	機械金物其他輸入
Kasho Co., Ltd. 加商株式會社	34.	ゴム
Maintz Producten Handel N. V.	37.	物產輸出
Francis Peek Co., Ltd.	38.	茶, ゴム, キナ
John Peet & Co.	40.	"
Van Nierop & Twijzel.	"	"
Ch. Takeda & Co. 武田長兵衛商店	"	藥品
Java-China-Japan Lijn.	43.	船會社
N. V. H. M. Hoppenstedt.	45.	一般輸出入
Heath & Co., Ltd.	46.	茶
Maclaine, Watson & Co.	50.	物產輸出
Malaya Import Mij.	16.	綿布雜貨
H. V. Ghandas & Co.	16.	運動用品輸入
Nanyang Insurance Agency.	28.	保險

Daido Boeki Kaisha Ltd. 大同	3.	綿布, 雜貨
The Hall Trading Corp.	5.	"
N. V. H. M. Deli-Atjeh.	7.	輸入一般
Mitsui Bussan Kaisha Ltd. 三井	14.	輸出入一般
Sin Hoe Kongsie. 信孚	19.	物産ブローカー

ROA MALAKA

Società Commissionaria di Esportazione e di Importazione.	21.	輸出入一般
Everard & Co's Handelszaken N. V. Mij.	45.	"

UTRECHTSCHÉ STRAAT

G. W. Kieboom.	1.	物産ブローカー
H. Müller & Co. N. V.	5.	船會社代理
J. Th. van Taalingen.	7.	綿布
N. V. H. M. Sun Lioeng. (順隆)	6/8.	輸入一般
Brannndon Mesritz & Co.	10.	"
Monod Diephuis & Co.	15.	物産ブローカー
Dhanamall Co., Ltd.	25.	綿布
H. M. Hong Seng. 鴻成	41.	綿布

The Ocean Accident & Gurantee Corp. Ltd.	23.	保險
Harrisons & Crosfield Ltd.	25.	茶, ゴム輸出, 保險
Mercantile Trading Co., Ltd.	26.	輸出入一般
Hagemeyer & Co's H. M.	30.	"

GEDEMPTE LEEUWINNEGRACHT

N. V. Nanyo Veem.	5.	倉庫
C. Itoh & Co., Ltd.	5.	綿絲布
N. V. "Nankoku" Handelsvereeniging.	5.	ゴム, 茶, キナ栽培
Geo. Wehry & Co.		輸出入一般

JAVA BANK STRAAT

Djohan Djohor.	8.	綿布, 雜貨輸入
----------------	----	----------

PRINSEN STRAAT

Takata & Co., Ltd. 高田商會	4.	機械
Mataiti Kabusikikaisha. 又一株式會社	5.	綿布
Harmsen Verwey & Dunlop N. V.	21.	輸出入一般

MALAKA STRAAT

BINNEN NIEUWPOORT STRAAT

De Javasche Bank.		銀行
Ned. Ind. Escompto Maatschappij.		銀行
H. M. de Lange.	18.	輸入一般
Holland-Colombo Trading Snc. Ltd.	27.	ゴム、皮輸出

STATION PLEIN

Factory der Nederlandsche Handel Mij., N. V.	銀行
Nederlandsch-Indische Handelsbank, N. V.	"

二 ウェルトフレーデン方面

○パッサル・バルー(新市町)

或る祭日の午後バタバアの心齋橋筋とでも稱すべきパッサル・バルーを歩いて見た處、各店共、和蘭の三色旗が翻り、そして其の大部分が支那の青天白日旗を並べて掲げてゐる。其間に點々として朱白緑の旗の出てるのはボンベイ人の店である。日本人の小賣商もこの通りには八軒數へられるが、こゝも亦支那人の數が目立つ。

この通りの商況は和蘭人大衆の景氣のバロメーターとなり、月初から月央頃までが繁昌する。朝十時頃から一時までは家庭の主婦達の買物時間、一時から四時迄は大きな店は閉める。四時から八時まで、殊に七時頃は最も人が出る時で、狭い車道の兩側には自家用の自動車がズラリと一列に行儀よく並んでゐる。交通巡査は専ら其の整理に當つてゐるかの如く見える。それも一と時のことで八時にはピツタリと店を閉める。

扱、この通りには約百軒餘りの店舗があり、業種別に見ると「家具屋」が一番多く、十五軒を數へる。之を以て見ても如何に和蘭人が家庭の裝飾に熱心であるか知られる。次位が「靴屋」の十三軒、並に「百貨店或は雜貨屋」の十三軒、其の次に多いのが「眼鏡、時計、銀

細工店」等の十軒及「婦人服」の十軒、其他「服装貨雜店」の六軒、「みやげ物店」五軒、「レストラン」五軒、「運動具店」四軒、「文具店」四軒、「金物屋」三軒、「藥屋」二軒、「本屋」二軒及「食料品店」「小供服店」「シンガミシン」「パーカー萬年筆」「電燈の笠」等の店が各一軒宛外に理髪屋、洗濯屋等もある。

○スネン(月曜市町)、クラマツト(聖町)

パツサル・バルーが和蘭人大衆市場であるのに對し、スネン、クラマツトは住民、支那人の大衆市場である。

スネンの公設市場はバタビアで一番賣上が多いと云はれ、この並びに小さな小賣屋が櫛比してゐる。そのはづれは廣場になつてをり、毎晩夜店が出る。其の反對側の並びは軒並に寢臺、寢具等の製造、再生、古物屋である。この裏通と云ふか、表通と云ふかには丸福、武田の雜貨輸入卸屋や日本商會(機械、硝子瓶輸入)がある。

クラマツトはトコ・岡村、トコ・三用、トコ・オリオン等殆んど日本人の雜貨店で占められてをり、買物時には自轉車が列を作り、住民達の人氣を呼んでゐる。

○ノルドウエイク(北區町)

バタビアの上流商店街とも云ふべきで、道中も廣くケンペンの豪華な銀器店、大きな本屋

のゴルフ等があり、婦人流行服屋の美しい飾窓も目をひく、さすがにこの通りには支那人の店は少い様である。川向の通りはホテル街とも稱すべきで、パーク・ホテル、ジャワ・ホテル、デル・ネーデルランデン等が列り、又司法省の嚴しい建物もある。和蘭人倶樂部の「ハルモニイ」もこの通りの角にある。

○レイスウエイク・ストラート

この通りも一流の商店街で藥で有名なラトカンブが大店を張つてをり、唯一の冷房店ジャワ・ストアもこゝにある。

○モーレンフリート(水車川街)

舊バタビアとウエルト・フレードンとを結ぶ一直線の通りで、真中に運河を挟み、東西兩通りに分れてゐる。こゝの運河は住民達の水浴場、洗濯場、川屋を兼ね、壯觀を呈してゐる。いつ通つて見ても女達がサロン一枚でシャボンの泡をとばしてゐる。又、夕方等勤め歸りの住民が自轉車を止め、一寸錢湯と云つた様子でマンデーしてゐるのもほゞ笑ましい風景である。之等の風景はホテル・デス・インデスやホテル・ギヤラリー等の近代的建物の下に於ても行はれ、面白い對象を見せてゐる。經濟省、爲替管理局もこの通りである。

この通りにもホテルが相當あり前記一流のホテル・デス・インデス及ギヤラリーの外ピウ

PASAR BAROE

Sporthuis Ajax.	1.	運動用品
Alfa Sports.	3.	"
De Oriental.	"	洗濯屋
Toko Chung King.	5.	家具
De Gedeh.	7.	薬
Djiliong.	9.	家具
Nam King.	11.	"
Sin Siong Bouw.	13.	百貨店
Toko Boroboedoer.	15.	みやげ物
Djocja 'Zilver.	15.	"
Het Centrum.	17.	家具
Toko Java.	19.	靴
Famous & Co.	21.	"
Toko Sakura. 櫻	23.	洋品雑貨, きもの
Het Ocularium.	25.	眼鏡, 時計
Parker.	27.	万年筆, タイプライター
Great Eastern.	29.	靴
Nan King.	31.	"

トリックス、諏訪、クラーメル、中華、華僑、レックス(力士)、セントラム等々がある。
 舊バタビアに近づく處には五大蘭商の一たるリンデテベスがあり、其の邊には大小鐵工所
 が蘭印工業化の原動力として勢よい作業を行つてゐる。

○其

他

パッサル・バルーの裏通り、所謂ガン・パッサルバルー、正しく云へばスルイスブルフ・
 ストラートには日本人雜貨輸入商の東明、綿屋及電氣器機輸入の鹿島洋行がある、北へ抜け
 た電車道には綿布の江商、雜貨輸入の南商洋行、陶磁器硝子器輸入の安全商會等がある。

Firma "Nam Sin"	75.	文具
Toko Winner.	77.	洋品雜貨
Jong & Co.	79.	時計
Sin Sin.	81.	靴
C. Fielen, O. D.	83.	時計
De Nederlandshe Stoom Wasscherij.	85.	洗濯
Karoehoen.	85.	藥
Toko Lay.	89.	食料品, 酒
Populair.	93.	百貨店, ラヂオ, 寫真器
Ho Seng.	99.	金物
Tjoen Lie.	101.	眼鏡
Bat'a.	103.	靴
Diana.		金物
Aga Sports.	2.	運動用品
Toko Jong.	4.	時計
Nahar & Co.	8.	運動用品
Sin Lan Seng & Co.	10.	家具
Toko Shanghai.	12.	支那骨董
Toko Rex.	14A.	家具

Sin Weng Seng & Co.	33.	家具
De Ster.	35.	靴
Hen Lim.	37.	雜貨, 金物
Het Warenhuis.	39.	百貨店
Mikasa. 三笠	41.	"
Tjiyoda. 千代田	43.	"
Victory.	45.	靴
Sien Liong Thaij.	47.	
Toko Midden Java.	49.	みやげ物
Bat'a.	51 53.	靴
Toko Washington.	55.	文具
Banzai. 萬歲	57.	百貨店
Naraindas.	59.	婦人服生地
Badios.	61.	時計, 蓄音器, 自轉車
Restaurant de Snoeper.	63.	レストラン
Byenkorf.	65.	百貨店
Luilekkerland.	69.	レストラン
Noord & Zuid.	71.	時計
Mitsuboshi. 三星	73.	洋品雜貨, きもの

Toko Uyetake.	植竹	60.	"
Toko Liberty.		62.	婦人服地
Toko London.		64.	文具, 化粧品
Toko Djawa.		66.	みやげ物
Chotirmall & Co.		70.	婦人服地
Toko Weltevreden.		72/76.	"
Toko Hok Liang.		78.	男子用品
Toko Europa.		80.	百貨店
Nam Hin Ho.		86.	靴
Khouw & Lie.		88.	寶石
Lie & Co.		90.	電燈笠
De Elegant.		90B.	小供服
Nam Tjoen & Co.		92.	時計, 金細工
Toko Batavia.		94.	ワイシャツ
Toko Bombaij		96.	婦人服
Inten Moestika.		98.	時計, 寶石
Keradjinankita.		100.	みやげ物
Toeng Nam.		102.	靴
Tiong Hoa.		104.	婦人服

Tay Hin & Co.		14B.	"
Wen Wo Loeng.		16A.	"
Kong Lie.		16B.	"
Sin Sing Bouw.		18A.	"
Wing Hap.		18B.	"
Woo Lie & Co.		20.	"
Toko Soerabaia.		22.	家具
Toko Tjiba.	千葉	24.	百貨店
Daruma.	達磨	26.	"
Singer Sewing Maching Co.		28A.	ミシン
Toko Bombay.		28B.	敷物
Firma A. B. G.		30.	文具
Sin Lie Seng.		32.	家具
Toko Nam & Co.		34.	靴
Gehimall.		38.	婦人服地
Gero.		40.	銀器
Hollywoods.		42.	靴
Wassiamull.		44.	婦人服地
Karamchand.		50.	"
Toko de Zon.		52/58.	百貨店

Toko Kenanga. 46. 文具

KRAMAT

Krsmat Apotheke. 2. 藥
Toko Okamura. 岡村商店 4. 百貨店
Toko Sanyo. 三用商店 10. "
Artic Ice Cream Palace. 12. アイスクリーム
Toko Orion. オリオン堂 14. 百貨店
Asia Yoko. 亞細亞洋行 14B. 眼鏡
Fa Tjong & Co. 16. 自轉車
Bat'a. 靴

Gg .KENANGA NOORD

Ariso Shokai. 有磯商會 31. 食料品
Lauw Tjin. 13/25. "

NOORDWIJK

Greta Lenz. 1. 花
Cafe. 2. カフェー
Fotoco. 3. 寫眞
G. Kolff & Co. 3. タイプライター,
計算器

Rose & Co., Ltd. 106. 運動用品
Book. 108. 本
Mickey Mous. 110. レストラン
Coiffur. 112. 散髮屋
Robinson, Yo Tek Liong. 114. 帽子(ヘルメット)
Yo Beng Keng. 116. 婦人服
Favoritas. 120. 眼鏡, 寶石
Ming Sun & Co. 122. 金物

SENEE

Marufuku & Co. 丸福洋行 49. メリヤス, 雜貨
Toko Oishi & Co. 大石商店 79. 百貨店
Takeda & Co. 武田商店 125. 雜貨輸入
Kamimura. 上村 177. 運動具
Umeno. 梅野商店 183. 食料品, 藥
Kyodo. 協同商會 177. メガネ
Nippon Shokai. 日本商會 60. 機械, 硝子瓶
S. Fuse Shoten. 布施商店 56. タイヤー
Mikushi Dentist. 三串 52. 齒科醫
Ban Sien Hien & Co. 48. 自轉車

Nederlandsche Handel Mij.	18.	銀行
Gebr van Swaay.	19.	電氣機器
Begeer van Kempen en Vos.	19.	銀器, 時計
Handelsbank.	20.	銀行
J. H. Goldberg.	21.	眼鏡, 測量器, ラヂオ
K. K. Knies.	22.	ピアノ
Woonhuis.	23.	家具
Oen.	24.	レストラン
Escompt.	25.	銀行
N. V. Luyks.	27.	蓄音器, タイプライター, 寫真器
Maison Versteeg.	28.	レストラン
School.	29.	學校
Samarangsche Zee & brand Assurance Mij.	30.	保險
Jiep Ging & Co.	31C.	家具
Bataviasche Spaar Bank.	34.	銀行
N. V. Ruys'.	34.	タイプライター, レターケース
Brand Waarborc Mij. N. I.	34.	
Modes Maison Foorman.	34.	婦人服
M. C. Paauwe & Co.	34.	印刷

N. I. G. M.	4.	ガス會社陳列所
Gebr Cramer.	5.	百貨店
Modehuis Noordwijk.	6.	婦人服
Wing Bin & Co.	6A.	家具
Modern.	7.	男子服
Java Mode Magazyn.	8A.	婦人服
Gero.	8B.	銀器, 時計
Cosy Corner Dancing.	9.	バー
Viribus Unitis.	10.	本
Buisson.	10A.	みやげ物
V. Orlislaeger & Co.	11.	銀器, 時計
A. S. Roth.	11A.	家具
Gerzons' Modemagazijnen.	12.	婦人服
G. Kolff & Co.	13.	本, 文具
H. J. Sneep.	14G.	自轉車
Sapi-ie.	14H.	婦人服
Toko van de pol.	15.	百貨店
Stam en Weijns.	16.	食料品
M. de Koning.	17.	

Ganeça.	10.	骨董品
Lijsten.	12.	繪畫
La Maison Moderne.	14.	婦人用品
Gazelle.	16.	ラヂオ, 自轉車
Leesbibliotheek.	16A.	書物
Rathkamp.	18.	藥品, 醫療器
Au Bon Marché.	20.	婦人用品
Hollandia.	22.	藥品
Kero.	26.	家具
Beatrix.	28.	婦人用品
Bat'a.	28.	靴
Excello.	30.	家具
Lee Cheong.	32.	骨董
W. Naessens & Co.	32.	ラヂオ
De Kock, Sparkes & Co.	32.	機械

TANAH ABANG WEST

Western Electric Co. of Asia.	2.	電氣機器
N. V. v/h Ruhaak & Co.	6.	機械
N. V. H. M. v/h Goote & Scholtz.	18.	

M. Ezekiel & Sons.	35A.	眼鏡, 時計
Weissberg Modes.	35B.	婦人服
N. V. Velodrome.	37.	自動車
Ondeldeelen Centrale.	38A.	自動車部分品
De Tabaks Plant.	38B.	タバコ
Australian Government Commissioner.	40.	濠洲商品陳列所
Bonefaas.	42.	婦人下着類, 手藝用品

SLUISSBRUG PLEIN

"Gana"	1.	みやげ物
Handelskommissaaries van die Unie van Suid-Afrika.	1.	南阿聯邦商品陳列所
Kodak Limited.	1.	寫真器

RIJSWIJK STRAAT

NITOUR	2.	旅行案内所
Oger Frères.	2A.	男子用品, ネクタ イ, ワイシャツ
Bloemen.	4.	骨董品
Bonneterie.	6.	婦人用品
Java Store.	8.	男子用品

Postspaarbank in N. I.	1.	郵便貯金銀行
Hotel des Indes.	3/5.	ホテル
Department van Econmiche Zaken.	8.	經濟省
Hotel Hoa Kiauw. 華僑旅社	26.	ホテル
Nitiran Insatu Sho. 日蘭印刷所	48.	印刷
Hotel Rex. 力士旅社	112.	ホテル
Nio peng Long.	149/155.	鐵工所
Hotel Centrum.	174.	ホテル
K. Ito & Co. 伊藤商店	203.	賣藥, 雜貨
Eng Aun Tong Kow Kie.	212.	賣藥
Chineesche Handelsvereniging. (中華總商會)	175.	商工會議所

SLUISBRUG STRAAT

The Kashima Yoko. 鹿島洋行	11.	電氣器具
Tohmei & Co. 東明商會	21.	雜貨輸入
Wataya Yoko. 綿屋洋行	45.	"

PINTOE BESIE

Gosho Kabushiki Kaisha Ltd. 江商	39.	綿布
--------------------------------	-----	----

MOLENVLIET OOST

Nanyo Kyokai. 南洋協會	1.	斡旋, 紹介
Hotel des Galeries.	1.	ホテル
Nederlandsch-Indisch Deviezeninstuut.	2.	爲替管理局
Mascotte.	4.	自動車
Hotel Beatrix.	5.	ホテル
De Java-Bode.	8.	新聞
Suwa Hotel. 諏訪ホテル	27.	ホテル
Salomon.	34.	輸入一般
Hotel Cramer.	35.	ホテル
Fraser en Neave.	37.	清涼飲料水
Sato Shokai, "Star". 佐藤商會	68.	タイヤ
Pin Ho.	77.	寢臺, 自轉車, ラヂオ
H. M. Schulte.	99.	機械
Hotel Tjong Hoa. 中華旅社	104.	ホテル
Batavia.	108.	鐵工所
Imperiaal.	124.	機械, 自動車部分品
Lindeteves Stokvis.		機械, 金物, 染塗料

MOLENVLIET WEST

Nansho Yoko. 南商洋行 41. 雜貨輸入

KREKOT

Anzen & Co. 安全商會 6. 陶磁器, 硝子器輸入

SAWAH BESAR

Annoshita & Co. 庵ノ下商店 9. 玩具卸小賣

Sakurai Yoko. 櫻井洋行 18. 綿布, 雜貨輸入

GOENOENSAHARI

Nanri Trading Co. 南里貿易 85A. 雜貨輸入

三、住民商人の地位

一九四〇年八月二十七日夜、蘭印經濟省テコ技師は、バタビアのインドネシア・クラブに於て「東印度の小賣商」と題し、住民一般業者に對し獎勵演説を行つた。其の要旨は次の如くである。

「東印度人の小賣業者は當然達すべき地位にまで未だ達してゐない。之は東印度人の考へ方が尙其の子弟を官吏或は月給取に養育しやうとする事から離れ得ないでゐる爲である。然し今後東印度人の健全な發展の爲には東印度人小賣業者の増加が絶対に必要であつて、子弟をこの方面に教育する様心掛けねばならぬ。而して東印度には東印度人が小賣業者として發展すべき餘地は充分あるのである。

小賣業者はある意味に於て社會の脊髓的作用を爲すものであり、この層の貧困は一般社會全般の貧弱を意味する程の重要性を有してゐるのである。

而して小賣層の發展の爲には有能な指導者が必要であり、常に其の後輩の啓發に留意し、自らの確實な後繼者を得て自分の仕事を引繼ぐ様心掛けるべきである。東印度人と雖も歐洲

人或ひは支那人の如き優秀な小賣商たり得るの性能を有してをり、且つ東印度の經濟は東印度人のこの種の進展を充分に容認し得るのである。」(「東印度日報」昭和十五年八月二十九日附)

斯くの如く東印度人小賣商の低地位と今後の發展希望が述べられてをり、又東印度人輸入商の地位に關しては昨年末經濟關係豫算討議質問に於てファン・モーク經濟長官は次の如き答辯を爲してゐる。

「東印度人の輸入品取扱率は甚だ低級であることを認めねばならない。之は東印度人自身過去に於て一人も輸入業者として營業してゐなかつたのであつて、最近漸く之が端緒を見たに過ぎない。この事情からすれば一躍して各地人種と比肩する様な輸入量の保持者たり得ないことは明瞭である。」と。(「東印度日報」昭和十五年十二月九日附)

次に前述の住民商ジョハン・ジョホールの傳記とでも稱すべき一文の翻譯を私の友人太塚氏から得たので、之を次に借りて一住民商が踏んで來た經路と其の周圍の事情とを述べ認識の一助としたいと思ふ。尙原書は次記のものである。

Pelangi II 1937 (Dari Volksalmanak Melajoe 1937)

“Handelsvereniging Djohan Djohor”

ジョハン・ジョホール商店記

一九二〇年頃のバタビア土民商

ジョハン氏はバタビア及西部ジャワに於ける東印度人商業界に一劃期を齎らした土民商人の一人である。即ちこのジョハン・ジョホール商會こそ土民商人で初めて輸入業をも營んだのである。この商店の話が始める前に先づ約二十年前のバタビア並に西部ジャワの商業状態に就いて一瞥しよう。

この時代の商業は大商社は勿論小商店まで悉く外國人の掌中に握られ、土民の唯一の商賣たるワロンや氷賣までも外國人(「譯者註」主として支那人)が競争し、挑戦して來ると云ふ有様であつた。バタビア市へ出てくる土民達にとつて土民經營の屋臺飯屋とかレストラン等を見掛ける處か、捜すのも思ひもよらぬ事であつた。

世界大戰中、又戦後パダン(スマトラ西海岸)の商人が止むなくバタビアへ商品を仕入に來た事は變則的現象であつて、之を苦々しく眺めてゐる外國人達は大小商店悉く買ひに來る土民に對して常に不當に賣り付けてゐた。勿論全部が全部そうだと云ふのではなく、例へばボンペイ商とか華商の一、二は例外であつた。一般に見て正當に仕入れてゐる土人は見られなかつ

た。又商店へ仕入に行く土民も少く、一般に彼等は食物はワロン、衣類はクロントンやアラビア人から買つてゐたと云ふより、事實は借金してゐたのである。

この有様を見たバダン商人達はバタビア土民は現金買と云ふ事を知らないであらうか、馬鹿らしい事だと感じた。そして彼等は商店に入り商賣を覚えようとの強い希望に驅られた。それ等の商店は不當の取引をして法外の利益を得てゐたのである。例へば一エル(約七十糶)の賣値は一ヤード(約一米)の買値の一割増になつてをり、賦拂の場合には更に追加され、又バテイツクの値は普通品の二倍となつてをり、結局小賣値は卸値の四割増と云ふ事になる。

ジョハン氏の來バ

一九二二年頃、即ちバダン商人が一擧にバタビア商品買出しに來た頃、ジョハン氏も亦このバタビアにやつて來た。彼は商賣の目的ではなく、仕事を探す爲であつた。と云ふのは其の頃のバタビアは仕事が非常に多く容易に得られると云はれてゐたからである。それで氏は元手を持たずにバタビアへ來た。

斯くして彼は仕事を探し乍らも、上記の様な商業状態を眺め、バタビアに於て商賣すべしとの希望に轉向した。其の理由は商賣による利益は確實で月給生活よりも有利であり、更に彼が

月給取になるにしても小學校を二年しか行つてゐない彼にどれ丈の月給が與へられるかと云ふ事をよく知つてゐたからである。

果して彼はどんな方法を考へたのが、資本は全く一文もないのである。然し希望を以て商賣生活に入つた。即ち先づ商品を或るアラビア商から借受け、人通りの多い賑かな路傍に一枚の藪を延べ、その上に商品を並べ商品所有者の代理として商賣する。夕方には荷物をたゞみ、殘品と賣上高を持つてアラビア人の店に歸り、利益を差引き引渡すのである。其の利益を要心深く出来る丈貯蓄して他人の商品を俟つまでもなく現金を以て自ら商品を仕入れ得る様になつた。斯くして購入費を安くし得、従つて賣値を適當に安くしても利益を得る様になり、賣行は良好になつた。

ジョホール氏の呼寄

其後幾何もなく目的通りに店舗を構へる事も出来、尙當時サワールの工業學校にゐた弟のジョホールを呼び寄せて兄弟協力のトコ・ジョハン・ジョホールは繁榮の一路を辿り、其の名は他の一軒の土民商ハジー・ウスマンの經營するトコ・バダンと共にバタビア中は勿論、ブリアンガン方面にまで知られる様になつた。斯くしてバタビアに於ける土民商は現金買が上手